

学 年

3

令和7年度

シラバス

令和7年度

シラバス

SYLLABUS
for
STUDENTS



第3学年



日本歯科大学生命歯学部

日本歯科大学生命歯学部

番号		氏名	
----	--	----	--

令和7年度 第3学年
シラバス Syllabus for students

本書の使い方	1
授業時間表	2
授業科目の履修時期と単位数	4
前学期授業科目	7
後学期授業科目	6 7

本書の使い方

本書は、学生諸君が履修すべき授業の概要をあらかじめ把握し、自ら積極的に受講する意欲を起こし、勉学の習慣を培うために作成した。

各授業を系統的に理解できるように、アウトラインをまとめてあるので、下記のとおり活用されたい。

記

- 1) 授業に際し、事前に該当授業のページに目を通しておくこと。
- 2) 授業に際し、本書を必ず持参し、必要に応じてチェックすること。
- 3) 欠席した場合には、該当授業のページを確認し、事後の補習に備えること。
- 4) やむを得ざる事情により休講した場合には、該当授業の変更を確認しておくこと。
- 5) 予習と復習の指針とすること。
- 6) 試験に際し、試験範囲等の系統的勉強の指針とすること。

令和7年度（第3学年 前学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00)	10:40)	13:10)	14:50)	16:30)
	10:30	12:10	14:40	16:20	18:00
月	病理学 (添 野)	全部床義歯補綴学 (隅 田)	組 織 学 (菊 池)	組 織 学 (実習：菊 池)	
火	口腔保健学 (講座代表者)	微生物学 (高 橋)	微生物学 (実習：高 橋)		※
水	歯冠補綴学 (五 味)	生 理 学 (佐 伯)	薬 理 学 (実習：筒 井)		※
木	歯科放射線学 (河 合)	生 化 学 (今 井)	歯科理工学 (新 谷)	歯 科 理 工 学 (実習：新 谷)	
金	薬 理 学 (筒 井)	口腔外科学 (里 見)	歯科硬組織修復学 (講座代表者)	解 剖 学 (春 原)	※

- 1) 授 業 期 間 令和 7年 4月 4日(金)～令和 7年 7月23日(水)
 (令和 7年 7月17日(木)～令和 7年 7月18日(金)及び
 令和 7年 7月23日(水)は授業予備日)
 (令和 7年 7月24日(木)～令和 7年 8月19日(火)は夏期休業)

2) 講 堂 1 5 1 講堂

3) そ の 他 ①「※」は補講，特別授業，相互学習（ピア・サポート）等。

令和7年度（第3学年 後学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00)	10:40)	13:10)	14:50)	16:30)
	10:30	12:10	14:40	16:20	18:00
月	口腔外科学 (里 見)	全部床義歯補綴学 (隅 田)	歯科矯正学 (新 井)	歯科放射線学 (河 合)	※
火	歯科硬組織修復学 (実習：講座代表者)		歯科硬組織修復学 (講座代表者)	歯周病学 (沼 部)	※
水	歯冠補綴学 (五 味)	歯内療法学 (講座代表者)	小児歯科学 (荏 部)	外 科 学 (櫻 井)	※
木	高齢者歯科学 (菊 谷)	口腔保健学 (田 中)	衛生学・口腔衛生学 (実習：講座代表者)		※
金	内 科 学 (谷)	病 理 学 (添 野)	病 理 学 (実習：添 野)		※

- 1) 授 業 期 間 令和 7年 9月22日(月)～令和 7年12月23日(火)
 令和 8年 1月 5日(月)～令和 8年 1月 9日(金)
 (令和 8年1月 7日(水)～令和 8年 1月 9日(金)は授業予備日)
 (令和 7年12月24日(水)～令和 8年 1月 4日(日)は冬期休業)

- 2) 講 堂 151 講堂

- 3) そ の 他 ①「※」は補講，特別授業，相互学習（ピア・サポート）等。
 ②12月23日（火）は，月曜日時間割を実施する。

- 4) 年間総合単位数 50.0 単位

授業科目の履修時期と単位数

【2025年度第3学年以降】

授 業 科 目	単 位	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		学士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
心理学概論	3													
医療コミュニケーション学	1.5													
法学	1.5													
社会福祉学	1.5													
人類学	1.5													
医学英語	3													
国語表現	3													
数学	1.5													
スポーツ・健康学実技	1													
物理学	3													
基礎化学	1.5													
化学	3													
化学実習	1													
基礎生物学	1.5													
生物学	3													
生物学実習	1													
医学統計学	1.5													
歯科医療情報学実習	1													
プロフェッショナリズム1	1.5													
話し合い基盤型問題解決演習	1													
学習法基本概論	1.5													
病院医療概論	1.5													
歯科医療概論	1.5													
食育学	1.5													
生命歯学概論	2													
医の倫理	1.5													
発生と再生	1.5													
行動科学	1.5													
歯学英语	3													
解剖学	4.5													
解剖学実習	2													
歯の解剖学	3													
歯の解剖学実習	1													
組織学	4.5													
組織学実習	1													
生理学	4.5													
生理学実習	1													
生化学	4.5													
生化学実習	1													
微生物学	4.5													
微生物学実習	1													

授 業 科 目	単 位	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		学 士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
薬理学	4.5													
薬理学実習	1													
衛生・公衆衛生学	3													
口腔保健学	3													
口腔衛生学	1.5													
衛生学・口腔衛生学実習	1													
歯科理工学	4.5													
歯科理工学実習	1													
病理学	4.5													
病理学実習	1													
スポーツ歯学	1													
プロフェッショナルリズム 2	1.5													
臨床につなげる基礎学と教養	1.5													
地域連携・在宅医療概論	1.5													
歯科法医学	1.5													
生命歯学探究	1.5													
生命歯学探究実習	1													
コミュニケーション概論実習	1													
歯科硬組織修復学	4.5													
歯科硬組織修復学実習	1													
歯内療法学	4.5													
歯内療法学実習	1													
歯周病学	4.5													
歯周病学実習	1													
全部床義歯補綴学	3													
全部床義歯補綴学実習	1													
部分床義歯補綴学	3													
部分床義歯補綴学実習	1													
歯冠補綴学	4.5													
歯冠補綴学実習	1													
口腔外科学	3													
口腔内科学	3													
口腔外科の基本手技実習	1													
歯科矯正学	3													
歯科矯正学実習	1													
小児歯科学	3													
小児歯科学実習	1													
歯科放射線学	4.5													
高齢者歯科学	1.5													
外科学	1.5													

授 業 科 目	単 位	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		学 士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
内科学	1.5													
歯科麻酔・救急処置	3													
総合基礎歯学	2													
統合臨床基礎学実習	1													
障害者歯科学	1													
口腔インプラント学	1.5													
総合歯科医学	3													
臨床実習	5													
基礎医学演習 1	1													
基礎医学演習 2	1													
総合基礎医学演習 1	1													
総合基礎医学演習 2	1													
臨床歯学探究	1													
総合科目①②③	3													
包括歯科医学①②	1													

単位合計数	199.5単位
-------	---------

前学期授業科目

病理学	20
全部床義歯補綴学	22
組織学	26
組織学実習	30
口腔保健学	34
微生物学	36
微生物学実習	38
歯冠補綴学	40
生理学	42
薬理学実習	44
歯科放射線学	46
生化学	48
歯科理工学	50
歯科理工学実習	52
薬理学	54
口腔外科学	56
歯科硬組織修復学	60
解剖学	64
(計 18科目)	

Pathology	20
Complete Denture Prosthodontics	22
Histology	26
Practice of Histology	30
Oral Health	34
Microbiology	36
Practice of Microbiology	38
Crown and Bridges	40
Physiology	42
Practice of Pharmacology	44
Oral Radiology	46
Biochemistry	48
Dental Materials Science	50
Practice of Dental Materials Science	52
Pharmacology	54
Oral Surgery	56
Operative Dentistry	60
Anatomy	64
(計 18科目)	

令和7年度（第3学年 前学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時 間 曜 日	9 : 0 0 }	1 0 : 4 0 }	1 3 : 1 0 }	1 4 : 5 0 }	1 6 : 3 0 }
	1 0 : 3 0	1 2 : 1 0	1 4 : 4 0	1 6 : 2 0	1 8 : 0 0
月	病 理 学 (添 野)	全部床義歯補綴学 (隅 田)	組 織 学 (菊 池)	組 織 学 (実習：菊 池)	
火	口腔保健学 (講座代表者)	微 生 物 学 (高 橋)	微 生 物 学 (実習：高 橋)		※
水	歯冠補綴学 (五 味)	生 理 学 (佐 伯)	薬 理 学 (実習：筒 井)		※
木	歯科放射線学 (河 合)	生 化 学 (今 井)	歯科理工学 (新 谷)	歯 科 理 工 学 (実習：新 谷)	
金	薬 理 学 (筒 井)	口 腔 外 科 学 (里 見)	歯科硬組織修復学 (講座代表者)	解 剖 学 (春 原)	※

- 1) 授 業 期 間 令和 7年 4月 4日(金)～令和 7年 7月23日(水)
 (令和 7年 7月17日(木)～令和 7年 7月18日(金)及び
 令和 7年7月23日(水)は授業予備日)
 (令和 7年 7月24日(木)～令和 7年 8月19日(火)は夏期休業)

2) 講 堂 1 5 1 講堂

3) そ の 他 ①「※」は補講，特別授業，相互学習（ピア・サポート）等。

準備学習 課題一覧

使い方

授業内容を確実に理解・修得できるよう、事前に各自で取り組んでおく課題を掲載します。各授業ユニットの受講前に確認・実施してください。単位科目の修得には、受講のみならず予習・復習を含めた十分な学習時間が必要です。

病理学

月曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「新スタンダード口腔病理学 第2版」p127—136を読み、要点を確認する。	
ユニット2	「新スタンダード口腔病理学 第2版」p143—152を読み、要点を確認する。	
ユニット3	「新スタンダード口腔病理学 第2版」p153—161, p182を読み、要点を確認する。	
ユニット4	「新スタンダード口腔病理学 第2版」p164—168を読み、要点を確認する。	
ユニット5	「新スタンダード口腔病理学 第2版」p169—178を読み、要点を確認する。	
ユニット6	「新スタンダード口腔病理学 第2版」p26—28, p118—119, p177, p190—192を読み、要点を確認する。	
ユニット7	「新スタンダード口腔病理学 第2版」p107—111を読み、要点を確認する。	
ユニット8	「新スタンダード口腔病理学 第2版」p9—25, p79, p80を読み、要点を確認する。	
ユニット9	「新スタンダード口腔病理学 第2版」p69—83を読み、要点を確認する。	
ユニット10	「新スタンダード口腔病理学 第2版」p45—61を読み、要点を確認する。	
ユニット11	「新スタンダード口腔病理学 第2版」p85—106を読み、要点を確認する。	
ユニット12	「新スタンダード口腔病理学 第2版」p29—43を読み、要点を確認する。	
ユニット13	「新スタンダード口腔病理学 第2版」p1—7を読み、要点を確認する。	

全部床義歯補綴学

月曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	無歯顎補綴治療学 1～19頁を読み、要点を確認する。	
ユニット2	無歯顎補綴治療学 20～30, 42～55頁を読み、要点を確認する。	
ユニット3	無歯顎補綴治療学 31～35, 56頁を読み、要点を確認する。	
ユニット4	無歯顎補綴治療学 35～42頁を読み、要点を確認する。	
ユニット5	ユニット1～4の講義内容の資料と教科書を読み、要点を確認する。	
ユニット6	無歯顎補綴治療学 57～63, 291～295頁を読み、要点を確認する。	
ユニット7	無歯顎補綴治療学 66～93頁を読み、要点を確認する。	
ユニット8	無歯顎補綴治療学 94～107頁を読み、要点を確認する。	
ユニット9	無歯顎補綴治療学 108～138頁を読み、要点を確認する。	
ユニット10	無歯顎補綴治療学 138～146頁を読み、要点を確認する。	
ユニット11	無歯顎補綴治療学 146～161頁を読み、要点を確認する。	
ユニット12	無歯顎補綴治療学 161～172頁を読み、要点を確認する。	
ユニット13	前期の講義内容の資料と教科書を読み、要点を確認する。	

組織学

月曜日 3 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」, 第2学年前期組織学配付プリントの内容を確認する。	
ユニット2	ダウンロードした講義資料と「口腔組織・発生学 第3版」p50-61を読み, 組織学実習テキストの内容を確認する。	
ユニット3	ダウンロードした講義資料と「口腔組織・発生学 第3版」p62-72を読み, 組織学実習テキストの内容を確認する。	
ユニット4	ダウンロードした講義資料と「口腔組織・発生学 第3版」p72-76, p88-92, p125-133を読み, 組織学実習テキストの内容を確認する。	
ユニット5	ダウンロードした講義資料と「口腔組織・発生学 第3版」p93-111を読み, 組織学実習テキストの内容を確認する。	
ユニット6	ダウンロードした講義資料と「口腔組織・発生学 第3版」p207-210, 「組織学 改訂20版」p330-331を読み, 組織学実習テキストの内容を確認する。	
ユニット7	ダウンロードした講義資料と「口腔組織・発生学 第3版」第8章 顎関節を読み, 組織学実習テキストの内容を確認する。	
ユニット8	ダウンロードした講義資料と「口腔組織・発生学 第3版」第9章 II 口腔粘膜を読み, 組織学実習テキストの内容を確認する。	
ユニット9	ダウンロードした講義資料と「口腔組織・発生学 第3版」第9章 II-4-1) 口唇, IV 舌を読み, 組織学実習テキストの内容を確認する。	
ユニット10	ダウンロードした講義資料と「口腔組織・発生学 第3版」第9章 III 唾液腺を読み, 組織学実習テキストの内容を確認する。	
ユニット11	ダウンロードした講義資料と「口腔組織・発生学 第3版」第2章 II・III・IV・V(p22-44) を読み, 組織学実習テキストの内容を確認する。	
ユニット12	ダウンロードした講義資料と「口腔組織・発生学 第3版」第2章 II・III・IV・V(p22-44)を読み, 組織学実習テキストの内容を確認する。	
ユニット13	ダウンロードした講義資料と「口腔組織・発生学 第3版」第2章 I 顔面と口腔の発生を読み, 要点を確認する。	

組織学実習

月曜日 4・5 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	実習資料をダウンロードし, 実習の心得を確認する。顕微鏡操作を熟知し, 組織像(顕微鏡像)の図示を予習する。	
ユニット2	ダウンロードした実習資料と第2学年時の組織学配付プリント, 組織学実習テキストを参考に観察項目を確認する。	
ユニット3	ダウンロードした実習資料と第2学年時の組織学配付プリント, 組織学実習テキストを参考に観察項目を確認する。	
ユニット4	ダウンロードした実習資料と第2学年時の組織学配付プリント, 組織学実習テキストを参考に観察項目を確認する。	
ユニット5	ダウンロードした実習資料と第2学年時の組織学配付プリント, 組織学実習テキストを参考に観察項目を確認する。	
ユニット6	ダウンロードした実習資料と第3学年 組織学講義の配付プリント, 組織学実習テキストを参考に観察項目を確認する。	
ユニット7	第3学年 組織学講義の配付プリントと第3学年 組織学実習テキストを参考に観察項目を確認する。	
ユニット8	第3学年 組織学講義の配付プリントと第3学年 組織学実習テキストを参考に観察項目を確認する。	
ユニット9	ダウンロードした実習資料と第3学年 組織学講義の配付プリント, 組織学実習テキストを参考に観察項目を確認する。	
ユニット10	第3学年 組織学講義の配付プリント, 組織学実習テキストを参考に観察項目を確認する。	
ユニット11	ダウンロードした実習資料と第2・3学年 組織学講義の配付プリント, 組織学実習テキストを参考に観察項目を確認する。	
ユニット12	ダウンロードした実習資料と第3学年 組織学講義の配付プリント, 組織学実習テキストを参考に観察項目を確認する。	
ユニット13	ダウンロードした実習資料と第3学年 組織学講義の配付プリント, 組織学実習テキストを参考に観察項目を確認する。	

口腔保健学

火曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット2	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット3	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット4	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット5	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット6	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット7	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット8	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット9	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット10	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット11	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット12	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット13	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	

微生物学

火曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	配付資料および教科書 p.58-63 70-74 282-299 364-368 を参照し予習する。	
ユニット2	配付資料および教科書 p.58-63 70-74 282-299 364-368 を参照し予習する。	
ユニット3	配付資料および教科書 p.300-309 319-331 を参照し予習する。	
ユニット4	配付資料および教科書 p.309-318 332-350 を参照し予習する。	
ユニット5	配付資料および教科書 p.210-226 を参照し予習する。	
ユニット6	配付資料および教科書 p.227-231 247-248 253-254 を参照し予習する。	
ユニット7	配付資料および教科書 p.232-244 を参照し予習する。	
ユニット8	配付資料および教科書 p.245-256 を参照し予習する。	
ユニット9	配付資料および教科書 p.255-261 を参照し予習する。	
ユニット10	配付資料および教科書 p.262-275 を参照し予習する。	
ユニット11	配付資料および教科書 p.241-244 276-280 を参照し予習する。	
ユニット12	ユニット5～11の復習と配付資料および教科書 p.179-185 を参照し予習する。	
ユニット13	配付資料および教科書 p.319-367 を参照し予習する。	

微生物学実習

火曜日 3・4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	配付資料および実習書 p.2-5 および関連ページを参照し予習する。	
ユニット2	配付資料および実習書 p.4-5 および関連ページを参照し予習する。	
ユニット3	配付資料および実習書 p.6-9 および関連ページを参照し予習する。	
ユニット4	配付資料および実習書 p.6-9 および関連ページを参照し予習する。	
ユニット5	配付資料および実習書 p.6-9 および関連ページを参照し予習する。	
ユニット6	配付資料および実習書 p.4-9 および関連ページを参照し予習する。	
ユニット7	配付資料および実習書 p.10-11 および関連ページを参照し予習する。	
ユニット8	配付資料および実習書 p.10-11 および関連ページを参照し予習する。	
ユニット9	配付資料および実習書 p.12-13 および関連ページを参照し予習する。	
ユニット10	配付資料および実習書 p.12-13 および関連ページを参照し予習する。	
ユニット11	配付資料および実習書 p.14 および関連ページを参照し予習する。	
ユニット12	配付資料および実習書 p.15 および関連ページを参照し予習する。	
ユニット13	ユニット1～12を復習する。	

歯冠補綴学

水曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	前期・後期のシラバスを確認し、学習項目の概要を予習する。	
ユニット2	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.1-7, 37-42を予習する。	
ユニット3	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.68-71を予習する。	
ユニット4	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.43-56, 60-67を予習する。	
ユニット5	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.19-31を予習する。	
ユニット6	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.72-82を予習する。	
ユニット7	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.264-269を予習する。	
ユニット8	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.281-291を予習する。	
ユニット9	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.257-263を予習する。	
ユニット10	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.270-280を予習する。	
ユニット11	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.124-125, 290-291を予習する。	
ユニット12	講義資料をダウンロードし、予習する。	
ユニット13	前期の講義内容を復習する。	

生理学

水曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	講義資料をダウンロードする。教科書p16-49を参考に要点を確認する。	
ユニット2	講義資料をダウンロードする。教科書p301-321を参考に要点を確認する。	
ユニット3	講義資料をダウンロードする。教科書p356-372を参考に要点を確認する。	
ユニット4	講義資料をダウンロードする。教科書p76-102を参考に要点を確認する。	
ユニット5	講義資料をダウンロードする。教科書p81-83を参考に要点を確認する。	
ユニット6	講義資料をダウンロードする。教科書p59-75を参考に要点を確認する。	
ユニット7	教科書、講義資料等に目を通してこれまでの授業内容を把握する。	
ユニット8	講義資料をダウンロードする。教科書p279-294を参考に要点を確認する。	
ユニット9	講義資料をダウンロードする。教科書p322-355を参考に要点を確認する。	
ユニット10	講義資料をダウンロードする。教科書p426-441を参考に要点を確認する。	
ユニット11	講義資料をダウンロードする。教科書p400-412, p419-425を参考に要点を確認する。	
ユニット12	講義資料をダウンロードする。教科書p272-278, p442-462を参考に要点を確認する。	
ユニット13	講義資料をダウンロードする。教科書p103-122を参考に要点を確認する。	

薬理学実習

水曜日 3・4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	薬理学実習書 p1-2, p12-13を読み, 目的等を理解する。	
ユニット2	薬理学実習書 p2-11, p14-16を読み, 目的等を理解する。	
ユニット3	薬理学実習書 p20-44, p65-71を読み, 目的等を理解する。	
ユニット4	薬理学実習書 p20-44を読み動画を視聴し, 目的等を理解する。	
ユニット5	薬理学実習書 p28-42, p65-71を読み動画を視聴し, 目的等を理解する。	
ユニット6	薬理学実習書 p65-71を読み, 目的等を理解する。	
ユニット7	薬理学実習書 p65-71を読み, 目的等を理解する。	
ユニット8	歯科薬物療法学 p165-169, p194-195を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット9	薬理学実習書 p53-64を読み, 目的等を理解する。	
ユニット10	薬理学実習書 p45-52を読み, 目的等を理解する。	
ユニット11	特別講義	
ユニット12	薬理学実習書 p17-19を読み, 目的等を理解する。	
ユニット13	実習試験の準備をする。	

歯科放射線学

木曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	教科書(歯科放射線学第7版)・第1章p1-18で講義内容の確認を行う。	
ユニット2	教科書・第2章p19-27で講義内容の確認を行う。	
ユニット3	教科書・第4章p93-114で講義内容の確認を行う。	
ユニット4	教科書・第4章p93-114で講義内容の確認を行う。	
ユニット5	教科書・第2章p28-32で講義内容の確認を行う	
ユニット6	教科書・第3章p63-72で講義内容の確認を行う	
ユニット7	教科書・第4章p114-120で講義内容の確認を行う。	
ユニット8	教科書・第4章p121-133で講義内容の確認を行う。	
ユニット9	教科書・第4章p121-133で講義内容の確認を行う。	
ユニット10	教科書・第4章p148-159で講義内容の確認を行う。	
ユニット11	教科書・第3章p88-92で講義内容の確認を行う	
ユニット12	教科書・第3章p73-87で講義内容の確認を行う	
ユニット13	1～12ユニットまでの総復習を行う。	

生化学

木曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	口腔生化学(第6版)の第4章を読んで要点を確認する。	
ユニット2	口腔生化学(第6版)の第4章を読んで要点を確認する。	
ユニット3	口腔生化学(第6版)の第5章を読んで要点を確認する。	
ユニット4	口腔生化学(第6版)の第5, 6章を読んで要点を確認する。	
ユニット5	口腔生化学(第6版)の第4章を読んで要点を確認する。	
ユニット6	口腔生化学(第6版)p111—118,124—126を読み, 要点を確認する。	
ユニット7	口腔生化学(第6版)p234—236を読み, 要点を確認する。	
ユニット8	口腔生化学(第6版)p8—12,25—27,30—33を読み, 要点を確認する。	
ユニット9	口腔生化学(第6版)p188—229を読み, 要点を確認する。	
ユニット10	口腔生化学(第6版)p67—86,163—174,181—188を読み, 要点を確認する。	
ユニット11	口腔生化学(第6版)p231—248を読み, 要点を確認する。	
ユニット12	口腔生化学(第6版)p249—294を読み, 要点を確認する。	
ユニット13	口腔生化学(第6版)p295—333を読み, 要点を確認する。	

歯科理工学

木曜日 3 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	スタンダード歯科理工学第8版の「接着・合着用材料」の「概要」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット2	スタンダード歯科理工学第8版の「接着・合着用材料」の「レジンセメント」、「グラスアイオノマーセメント」、「ポリカルボキシレートセメント」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット3	スタンダード歯科理工学第8版の「接着・合着用材料」の「リン酸亜鉛セメント」、「酸化亜鉛ユージオールセメント」、「仮着用セメント」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット4	スタンダード歯科理工学第8版の「歯冠用セラミックス」の「概要」、「歯科用陶材」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット5	スタンダード歯科理工学第8版の「歯冠用セラミックス」の「歯科用陶材」、「歯科用ニューセラミックス」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット6	スタンダード歯科理工学第8版の「歯科用金属材料」の「金属の接合」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット7	スタンダード歯科理工学第8版の「切削・研削・研磨剤」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット8	スタンダード歯科理工学第8版の「歯内療法関連材料」、「矯正用材料」、「インプラント用材料」の「組織工学用材料」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット9	スタンダード歯科理工学第8版の「インプラント用材料」の「概要」、「歯科インプラント用材料」、「骨補填用材料」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット10	スタンダード歯科理工学第8版の「歯科用器械」の「歯科用CAD/CAMシステム」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット11	スタンダード歯科理工学第8版の「歯科用器械」の「歯科用CAD/CAMシステム」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット12	スタンダード歯科理工学第8版の「歯科用器械」の「概要」、「診療用器械」、「技工用器械」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット13	ユニット1～12の学習テーマについて復習する。	

歯科理工学実習

木曜日 4・5 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	新版歯科理工学実習指針 第2版の「石膏」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット2	新版歯科理工学実習指針 第2版の「印象材」の「基礎知識」と「印象材の弾性ひずみと永久ひずみ」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット3	新版歯科理工学実習指針 第2版の「印象材」の「基礎知識」と「連合印象による模型の寸法精度」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット4	新版歯科理工学実習指針 第2版の「歯科用レジン」の「基礎知識」と「加熱重合レジンの粉・液反応時間」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット5	新版歯科理工学実習指針 第2版の「歯科用レジン」の「基礎知識」と「加熱重合レジン重合時の温度上昇と気泡の発生状態の観察」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット6	新版歯科理工学実習指針 第2版の「ワックス」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット7	新版歯科理工学実習指針 第2版の「埋没材」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット8	新版歯科理工学実習指針 第2版の「歯科精密鑄造」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット9	新版歯科理工学実習指針 第2版の「成形充填材」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット10	新版歯科理工学実習指針 第2版の「成形充填材」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット11	新版歯科理工学実習指針 第2版の「合着材・接着剤」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット12	新版歯科理工学実習指針 第2版の「合着材・接着剤」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット13	新版歯科理工学実習指針 第2版の「合着材・接着剤」を参考に学習テーマについて学習する。	

薬理学

金曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	歯科薬物療法学 p148-154を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット2	歯科薬物療法学 p154-161を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット3	歯科薬物療法学 p162-173を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット4	歯科薬物療法学 p174-179を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット5	歯科薬物療法学 p179-185を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット6	歯科薬物療法学 p186-196を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット7	歯科薬物療法学 p196-200を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット8	歯科薬物療法学 p201-209を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット9	歯科薬物療法学 p209-226を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット10	歯科薬物療法学 p234-245を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット11	中間試験の準備をする。Key Words (p227-233の範囲)を理解する。	
ユニット12	歯科薬物療法学 p121-133を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット13	歯科薬物療法学 p246-249を読み, Key Wordsを理解する。	

口腔外科学

金曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P1～26, 標準口腔外科学(第5版)P86～94(P94～120)を読む。	
ユニット2	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P448～456, 標準口腔外科学(第5版)P94～120を読む。	
ユニット3	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P31～43, P457～469, 標準口腔外科学(第5版)P133～151を読む。	
ユニット4	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P61～71, 標準口腔外科学(第5版)P192～198, P202～203を読む。	
ユニット5	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P71～83, 標準口腔外科学(第5版)P204を読む。	
ユニット6	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P83～95, 標準口腔外科学(第5版)P204～216を読む。	
ユニット7	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P96～101, 標準口腔外科学(第5版)P216～221を読む。	
ユニット8	試験範囲 ユニット1～7を復習する。	
ユニット9	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P211, P409～415, 標準口腔外科学(第5版)P474～479を読む。	
ユニット10	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P144～52標準口腔外科学(第5版)P155～160, P176を読む。	
ユニット11	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P56, P487, 標準口腔外科学(第5版)P162を読む。	
ユニット12	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P58～62, 標準口腔外科学(第5版)P162～171を読む。	
ユニット13	標準口腔外科学(第5版)P80を読む。	

歯科硬組織修復学

金曜日 3 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	教科書P1～14の要点を確認する。	
ユニット2	教科書P61～79の要点を確認する。	
ユニット3	教科書P97～98, P110～112, P129～135の要点を確認する。	
ユニット4	教科書P14～22の要点を確認する。	
ユニット5	教科書P29～48の要点を確認する。	
ユニット6	教科書P48～59の要点を確認する。	
ユニット7	教科書P98～104, P109～110の要点を確認する。	
ユニット8	教科書P104～109の要点を確認する。	
ユニット9	教科書P117～122の要点を確認する。	
ユニット10	教科書P122～127の要点を確認する。	
ユニット11	教科書P81～96の要点を確認する。	
ユニット12	教科書P136～155の要点を確認する。	
ユニット13	前学期履修の要点を再確認する。	

解剖学

金曜日 4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	第2学年で学習したレジュメと口腔解剖学第2版P94-120を読み頭蓋骨の要点を確認する。	
ユニット2	第2学年で学習したレジュメと口腔解剖学第2版P170-188を読み頭頸部の内臓の要点を確認する。	
ユニット3	Moodle上にあるレジュメを読みよみ要点を確認する。	
ユニット4	口腔解剖学第2版P60-85を読み要点を確認する。	
ユニット5	ユニット4の内容を復習する。	
ユニット6	口腔解剖学第2版P130-132を読み要点を確認する。	
ユニット7	口腔解剖学第2版P133-134を読み要点を確認する。	
ユニット8	口腔解剖学第2版P208-211を読み要点を確認する。	
ユニット9	口腔解剖学第2版P175-184を読み要点を確認する。	
ユニット10	第2学年で学習したレジュメと口腔解剖学第2版P121-129を読み要点を確認する。	
ユニット11	第2学年で学習したレジュメと口腔解剖学第2版P5-30, P57-69, P79-84を読み要点を確認する。	
ユニット12	第2学年で学習したレジュメと口腔解剖学第2版P121-129を読み頭頸部の筋の要点を確認する。	
ユニット13	第2学年で学習したレジュメと口腔解剖学第2版P159-169を読み頭頸部の神経の要点を確認する。	

病理学

月曜日 9:00~10:30

本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師として必要な病理学に関する知識と教養を身につけるために、2年次の病理学で学んだ疾患概念や病態の分類に基づき、口腔顎顔面領域の硬組織と軟組織に生じる病変の成り立ちを理解する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
槻木恵一・岡田康男 編	新スタンダード口腔病理学	第1版	学建書院
日本歯科大学病理学講座 編 (添野雄一 監修)	ポイントレビュー 病理学・口腔病理学	第1版	キタ・メディア出版
井上 孝・岡田康男・ 長谷川博雅・前田初彦 編	病理学総論にもとづく口腔病理学	第3版	永末書店
日本歯科大学病理学講座 編 (青葉孝昭 監修)	歯学生のための最新・病態病理学入門(冊子版)	第1版	キタ・メディア出版
日本歯科大学病理学講座 編 (青葉孝昭 監修)	歯学生のための最新・病態病理学入門(epub版)	第1版	杏林舎
日本歯科大学病理学講座 編 (青葉孝昭 監修)	講義ノート 歯と歯周組織の病理学(epub版)	第1版	杏林舎
	Webサイト http://www.ndu.ac.jp/~pathhome/patho06.html		

担当者一覧

添野雄一, 田谷雄二, 工藤朝雄

学習方略

☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [50%]
 ☒ 論述試験 [30%]
 ☐ 口頭試験
 ☐ レポート
 ☐ ポートフォリオ
 ☐ シミュレーションテスト
 ☐ 実地試験
 ☐ 観察記録
 ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☒ その他 (中間試験 [20%])

オフィスアワー

日時: 毎週月曜日 16:30~19:00
 場所: 本館 6 階 病理学講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月7日	添野 雄一	ユニット1: 歯の形成不全	1) 歯の発育異常の病因と表現型を関連付ける。(E-3-1)-① 2) 歯の数, 大きさ, 形の異常を列記する。(E-3-1)-① 3) 歯の構造異常を生じる機序を説明する。(E-3-1)-①, (E-3-1)-③
4月14日	添野 雄一	ユニット2: 齲 蝕	1) 齲蝕の発症機序を説明する。(E-3-2)-① 2) エナメル質, 象牙質, セメント質に生じる齲蝕の病態を対比する。(E-3-2)-① 3) 急性齲蝕と慢性齲蝕を対比する。(E-3-2)-①
4月21日	添野 雄一	ユニット3: 歯髄の病変	1) 歯髄の退行性病変・進行性病変を分類する。(E-3-2)-② 2) 歯髄の炎症性病変を分類する。(E-3-2)-② 3) 歯髄炎の病理組織学的特徴を述べる。(E-3-2)-②
5月12日	添野 雄一	ユニット4: 根尖歯周組織の病変	1) 根尖部に生じる病変を列記する。(E-3-2)-② 2) 歯根肉芽腫・歯根嚢胞の病態を説明する。(E-3-2)-② 3) 歯性病巣感染を概説する。(E-2-4)-(3)-②

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月19日	添野 雄一	ユニット5：辺縁歯周組織の病変	1) 歯肉炎と慢性歯周炎を対比する。(E-3-2)-③) 2) 慢性歯周炎の病態と成り立ち、治癒機転を説明する。(E-3-2)-③) 3) 侵襲性歯周炎の原因と病態を述べる。(E-3-2)-③)
5月26日	添野 雄一	ユニット6：骨の代謝と顎骨の病変	1) 骨代謝異常にともなう病変を分類する。(E-2-4)-(10)-⑧) 2) 顎骨骨髓炎の病態を説明する。(E-2-4)-(3)-②) 3) 咬合性外傷と矯正移動にともなう組織変化を概説する。(E-2-4)-(3)-②)
6月2日	田谷 雄二	ユニット7：口腔奇形 [中間試験予定]	1) 口腔奇形の原因と発症機序を関連付ける。(E-2-4)-(1)-①) 2) 奇形成立の臨界期を述べる。(E-2-4)-(1)-①) 3) 唇裂と口蓋裂の発症機序を説明する。(E-2-4)-(1)-②)
6月9日	工藤 朝雄	ユニット8：口腔粘膜疾患	1) 水疱形成性病変を類別する。(E-2-4)-(4)-①) 2) 潰瘍形成性病変を列記する。(E-2-4)-(4)-①) 3) 白色病変を識別する。(E-2-4)-(4)-①) 4) 口腔潜在的悪性疾患（前癌状態と前癌病変）を列記する。(E-2-4)-(6)-④, ⑥) 5) 口腔上皮性異形成の組織学的特徴を説明する。(E-2-4)-(6)-④, ⑥)
6月16日	工藤 朝雄	ユニット9：口腔領域の腫瘍	1) 口腔領域の腫瘍を分類する。(E-2-4)-(6)-①) 2) 良性・悪性腫瘍を識別する。(E-2-4)-(6)-①) 3) 口腔扁平上皮癌の組織学的特徴を説明する。(E-2-4)-(6)-①) 4) 腫瘍性病変での細胞異型や構造異型を示す機序を説明する。(E-2-4)-(6)-④, ⑥)
6月23日	工藤 朝雄	ユニット10：歯源性腫瘍	1) 歯源性腫瘍を分類する。(E-2-4)-(6)-①) 2) 歯源性腫瘍の病理組織学的特徴を説明する。(E-2-4)-(6)-①) 3) エナメル器・歯乳頭の構成細胞と腫瘍細胞との類似性を述べる。(E-2-4)-(6)-①)
6月30日	工藤 朝雄	ユニット11：唾液腺の病変	1) 唾液腺に生じる病変を整理する。(E-2-4)-(10)-②, ③, ⑤, ⑧) 2) 唾液腺腫瘍を分類する。(E-2-4)-(6)-①) 3) 唾液腺腫瘍の病理組織学的特徴を説明する。(E-2-4)-(6)-①)
7月7日	工藤 朝雄	ユニット12：口腔領域の嚢胞	1) 顎骨内と軟組織に生じる嚢胞を列挙する。(E-2-4)-(5)-①) 2) 歯原性と非歯原性の嚢胞を類別する。(E-2-4)-(5)-①) 3) 嚢胞壁の組織学的特徴を説明する。(E-2-4)-(5)-①)
7月14日	工藤 朝雄	ユニット13：病理検査と診断	1) 病理検査法を列記する。(E-1-1)-①) 2) 細胞診と組織診を対比する。(E-1-1)-①) 3) 病理組織診断に用いる染色法を列記する。(E-1-1)-①)

全部床義歯補綴学

月曜日 10:40~12:10

本学期的学習目標 (GIO)

咀嚼系の形態と機能を理解するために、基礎学科で履修した知識を整理するとともに、歯科補綴学の概念および基礎的知識を修得する。また、無歯顎における形態と機能の変化に対する全部床義歯補綴の考え方を理解する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

市川哲雄・大川周治・平井敏博・細井紀雄編

無歯顎補綴治療学

第4版

医歯薬出版

担当者一覧

隅田由香, 横山正起, 上杉華子, 小見野真梨恵, 水橋 史

学習方略

- ☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- ☒ 客観試験 [50%] ☒ 論述試験 [30%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☒ その他 (中間テスト [20%])

オフィスアワー

日時: 第1, 第3月曜日 16:30~17:30

場所: 100周年記念館4階 歯科補綴学第1講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月7日	隅田 由香	ユニット1: 全部床義歯と無歯顎補綴学	1) 健康・QOLの考え方を説明する。(E-3-4)-(2)①) 2) 歯科補綴学と補綴歯科臨床について説明する。(E-3-4)-(2)②) 3) 全部床義歯と無歯顎補綴学について説明する。(E-3-4)-(2)②) 4) 歯科補綴学・補綴歯科治療と咬合について説明する。(E-2-2)-(4) 5) 無歯顎の病因と病態を説明する。(E-3-4)-①)
4月14日	上杉 華子	ユニット2: 頭頸部, 口腔と咽頭, 顎と顎関節	1) 頭頸部, 口腔と咽頭, 顎と顎関節の形態, 構造, 機能を述べる。(E-2-1)-③) 2) 顎運動のメカニズムを説明する。(E-2-1)-②) 3) 咀嚼運動の制御機構を説明する。(E-2-1)-⑧) 4) 嚥下機能に関連する基礎的事項を述べる。(E-2-1)-⑨) 5) 発音機能に関連する基礎的事項を述べる。(E-2-2)-⑧)
4月21日	上杉 華子	ユニット3: 下顎位	1) 中心咬合位の概念を述べる。(E-2-2)-(4) 2) 中心位の定義を述べる。(E-2-2)-(4) 3) 下顎安静位の補綴学的意義を述べる。(E-2-2)-(4)
5月12日	上杉 華子	ユニット4: 下顎運動, 基準平面	1) 下顎限界運動を説明する。(E-2-2)-(4) 2) 各種下顎運動を説明する。(E-2-2)-(4) 3) 顎路を説明する。(E-2-2)-(4) 4) 各種基準平面を説明する。(E-2-2)-(4)
5月19日	上杉 華子	ユニット5: 中間テスト	1) 中間テストにより学習内容の理解度を評価する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月26日	隅田 由香	ユニット6：全部床義歯の要件・構成、種類	1) 全部床義歯の機能的要件（吸着，粘着，筋圧維持，維持と安定）を説明する。(E-3-4)-(2)-(2)) 2) 全部床義歯の解剖学的要件（筋，顎堤，粘膜）を説明する。(E-3-4)-(2)-(2)) 3) 全部床義歯の審美的要件（顔貌，審美性）を説明する。(E-3-4)-(2)-(2)) 4) 全部床義歯の各構成要素について，その意義を述べる。(E-3-4)-(2)-(3)) 5) 義歯床の審美的形態，機能的形態，衛生的形態を説明する。(E-3-4)-(2)-(3)) 6) 人工歯の種類，形態，色調を説明する。(E-3-4)-(2)-(9)) 7) 金属床義歯の特徴を説明する。(E-3-4)-(2)-(4)) 8) 即時義歯，治療用義歯，移行義歯の意義と目的を述べる。(E-3-4)-(2)-(4))
6月2日	横山 正起	ユニット7：診察・検査・診断	1) 無歯顎補綴治療における医療面接とインフォームドコンセントについて述べる。(E-3-4)-(2)-(1)) 2) 一般的検査の項目を挙げる。(E-3-4)-(2)-(1)) 3) 一般的検査（全身状態）について，実際の臨床においてどのように活用するかを述べる。(E-3-4)-(2)-(1)) 4) 現症（顔貌，口腔周辺，口腔内，機能，残存歯，模型，エックス線）の検査について，実際の臨床においてどのように活用するかを述べる。(E-3-4)-(2)-(1))
6月9日	横山 正起	ユニット8：治療計画と前処置	1) 診断に基づいた治療計画の立案について述べる。(E-3-4)-(2)-(1)) 2) 口腔内状態を改善するための外科的処置，補綴的処置，薬物的処置などの前処置について，その意義を説明する。(E-3-4)-(2)-(1)) 3) 前処置の種類を挙げる。(E-3-4)-(2)-(1)) 4) 前処置の方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(1))
6月16日	小見野真梨恵	ユニット9：無歯顎の印象採得	1) 印象法の種類を挙げる。(E-3-4)-(2)-(6)) 2) 各印象法の特徴を述べる。(E-3-4)-(2)-(6)) 3) 印象に使用する材料の種類を挙げる。(E-3-4)-(2)-(6)) 4) 概形印象による研究用模型の製法を説明する。(E-3-4)-(2)-(6)) 5) 個人トレーの意義を述べる。(E-3-4)-(2)-(6)) 6) 個人トレーの製作手順を説明する。(E-3-4)-(2)-(6)) 7) 精密印象の術式を説明する。(E-3-4)-(2)-(6)) 8) 個人トレーを用いた筋圧形成による辺縁形成の術式とその理論を説明する。(E-3-4)-(2)-(6))
6月23日	小見野真梨恵	ユニット10：作業用模型・咬合床の製作	1) ボクシングの意義を述べる。(E-3-4)-(2)-(6)) 2) 作業用模型の製作手順を説明する。(E-3-4)-(2)-(6)) 3) スプリットキャストの目的を挙げる。(E-3-4)-(2)-(6)) 4) 作業用模型上での診査項目を挙げる。(E-3-4)-(2)-(6)) 5) リリーフ・ブロックアウトの意義を述べる。(E-3-4)-(2)-(6)) 6) 後堤法を説明する。(E-3-4)-(2)-(6)) 7) 咬合床の製作手順を説明する。(E-3-4)-(2)-(6))

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
6 月 30 日	上杉 華子	ユニット11：咬合採得①（仮想咬合平面の決定，垂直的顎間関係の記録）	1）咬合採得の目的を述べる。（E-3-4）-（2）-⑦） 2）仮想咬合平面の決定の意義，術式を説明する。（E-3-4）-（2）-⑦） 3）垂直的顎間関係に対する考え方を述べる。（E-3-4）-（2）-⑥） 4）垂直的顎間関係の決定法を列挙し，術式を説明する。（E-3-4）-（2）-⑥）
7 月 7 日	水橋 史	ユニット12：咬合採得②（水平的顎間関係の記録）	1）水平的顎間関係に対する考え方を述べる。（E-3-4）-（2）-⑦） 2）水平的顎間関係の決定法を列挙し，術式を説明する。（E-3-4）-（2）-⑦） 3）ゴシックアーチ描記法の生理学的意義，術式，評価法について説明する。（E-3-4）-（2）-⑦）
7 月 14 日	小見野真梨恵	ユニット13：前期授業まとめ	1）前期学習内容を整理・再確認し，学習内容の習熟度を評価する。

本学期的学習目標 (GIO)

第2学年で学んだ細胞と組織の基本構造と比較して、口腔およびそれと隣接する諸器官の細胞や組織の発生、構造と機能を理解し、歯科領域との関連性を深める。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
解剖学第2講座編集	組織学実習テキスト	2025年度版	日本歯科大学
脇田 稔 他	口腔組織・発生学	第3版	医歯薬出版(株)
磯川桂太郎 他	カラーアトラス 口腔組織発生学	第4版	わかば出版(株)
阿部和厚・牛木辰男 著	組織学	改訂20版	南山堂

担当者一覧

菊池憲一郎, 岡田裕之, 山本 仁, 池田利恵, 小川清美, 藤澤有香

学習方略

☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [60%]
 ☒ 論述試験 [30%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☐ レポート [--%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
 ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☒ その他 (プレ・ポストテスト [10%])

オフィスアワー

日時: 毎週金曜日 16:30~18:00
 場所: 本館6階 解剖学第2講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月7日	池田 利恵	ユニット1: 組織学概論	1) 組織学・口腔組織学の概要を説明する。(A-2-2)-① 2) 上皮組織を分類し, 基本的構造と機能について述べる。(C-3-4)-(1)-①, ② 3) 皮膚や口腔粘膜の基本構造を説明する。(C-3-4)-(1)-①, ② 4) 支持組織を列挙し, 構成する細胞と細胞間質について説明する。(C-3-4)-(2)-②
4月14日	小川 清美	ユニット2: 歯の組織構造 (1)	1) エナメル質の物理的, 化学的性状について述べる。(E-3-1)-④ 2) エナメル質の物理的, 化学的性状について述べる。(E-3-1)-④ 3) エナメル小柱の微細構造と走行について述べる。(E-3-1)-④ 4) エナメル質のアパタイトと有機成分について述べる。(E-3-1)-④ 5) エナメル質の成長線について述べる。(E-3-1)-④
4月21日	小川 清美	ユニット3: 歯の組織構造 (2)	1) 象牙質の物理的, 化学的性状について述べる。(E-3-1)-④ 2) 象牙細管の微細構造と走行について述べる。(E-3-1)-④ 3) 象牙質の組織構造と分類について述べる。(E-3-1)-④ 4) 象牙質の成長線について述べる。(E-3-1)-④

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月12日	小川 清美	ユニット4：歯の組織構造（3）	1）セメント質の物理的，化学的性状について述べる。（E-3-1）-⑥） 2）無細胞セメント質と有細胞セメント質の微細構造と分布について述べる。（E-3-1）-⑥） 3）セメント質の成長線について述べる。（E-3-1）-⑥） 4）セメント質の特性および加齢変化について述べる。（E-3-1）-⑥） 5）歯髄の細胞と細胞間質について述べる。（E-3-1）-⑤） 6）歯髄の血管および神経線維の分布と走行について述べる。（E-3-1）-⑤） 7）歯髄の組織学的特性と加齢変化について述べる。（E-3-1）-⑤）
5月19日	藤澤 有香	ユニット5：歯周組織	1）歯周組織の構成成分を列挙する。（E-3-1）-⑥） 2）歯根膜を構成する細胞と線維を述べる。（E-3-1）-⑥） 3）歯根膜に分布する血管と神経線維を述べる。（E-3-1）-⑥） 4）歯根膜の機能特性について述べる。（E-3-1）-⑥） 5）歯肉を構成する上皮と結合組織について述べる。（E-3-1）-⑥） 6）固有歯槽骨・支持歯槽骨の構成部位と組織学的特性について述べる。（E-3-1）-⑥）
5月26日	池田 利恵	ユニット6：扁桃，副鼻腔	1）扁桃の種類を列記する。（E-2-1）-⑫） 2）扁桃の組織構造を述べる。（E-2-1）-⑫） 3）副鼻腔の種類を列記する。（E-2-2）-⑦） 4）副鼻腔の組織構造を説明する。（E-2-2）-⑦）
6月2日	小川 清美	ユニット7：顎関節の組織構造	1）顎関節の構造を説明する。（E-2-1）-⑥） 2）関節円板の組織構造について述べる。（E-2-1）-⑥） 3）関節頭の組織構造について述べる。（E-2-1）-⑥） 4）関節包の組織構造について述べる。（E-2-1）-⑥） 5）顎関節に分布する血管と神経線維について述べる。（E-2-1）-⑥）
6月9日	岡田 裕之	ユニット8：口腔粘膜	1）口腔粘膜を分類する。（E-2-2）-②） 2）口腔粘膜の存在部位と組織構造を説明する。（E-2-2）-①，②）
6月16日	菊池憲一郎	ユニット9：舌，口唇	1）舌乳頭の組織構造を説明する。（E-2-2）-③） 2）味蕾の組織構造を述べる。（E-2-2）-③，⑩） 3）口唇の組織構造を述べる。（E-2-2）-②）
6月23日	池田 利恵	ユニット10：唾液腺	1）唾液腺を分類する。（E-2-2）-⑥） 2）唾液腺の基本構造を説明する。（E-2-2）-⑤，⑥） 3）唾液腺の発生部位を説明する。（E-2-3）-①） 4）唾液腺の発生過程を述べる。（E-2-3）-①） 5）分泌部（腺房）の構造を述べる。（E-2-2）-⑥） 6）導管の構造を述べる。（E-2-2）-⑥） 7）唾液腺の神経支配を説明する。（E-2-2）-⑥）

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
6月30日	山本 仁	ユニット11：歯の発生	1) 歯胚の形成にたずさわる胚葉について述べる。 (E-2-3)-①, E-3-1)-① 2) 歯胚を構成する組織について述べる。 (E-2-3)-①, E-3-1)-① 3) 歯胚の発生にともなう組織、構造変化について述べる。 (E-2-3)-①, E-3-1)-①
7月7日	菊池憲一郎	ユニット12：歯冠・歯根の形成	1) 歯胚を構成する上皮－間葉の相互作用について述べる。 (E-2-3)-①, E-3-1)-① 2) 歯冠エナメル質の形成、発育と石灰化について述べる。 (E-3-1)-①, C-3-4)-(2)-⑤ 3) 歯冠象牙質の形成と石灰化について述べる。 (E-3-1)-①, C-3-4)-(2)-⑤ 4) Hertwig上皮鞘の形成とその作用について述べる。 (E-3-1)-⑥ 5) 歯根象牙質の形成、発育について述べる。 (E-3-1)-⑥ 6) 歯根セメント質の形成、発育について述べる。 (E-3-1)-⑥
7月14日	菊池憲一郎	ユニット13：顔面と口腔の発生	1) 発生第1・2週における発生過程について説明する。 (E-2-3)-① 2) 発生第3週以降における発生過程について説明する。 (E-3-1)-① 3) 外・中・内胚葉について説明する。(E-3-1)-① 4) 顔面と口唇、口蓋の発生過程を説明する。 (E-2-3)-①

組織学実習

月曜日 14:50~18:00

本学期的学習目標 (GIO)

人体を構成している諸器官の細胞や組織の構造，口腔および口腔に隣接する諸器官を構成する細胞と組織の構造を，実物と顕微鏡観察を通してよりいっそう理解する。課題として設定された細胞と組織の構造を確認し，必要に応じてスケッチと記録を行い，これによって，理解度を高め，臨床においても必要な観察眼と集中力を身につける。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
解剖学第2講座編集	組織学実習テキスト	2025年度版	日本歯科大学
脇田 稔 他	口腔組織・発生学	第3版	医歯薬出版(株)
磯川桂太郎 他	カラーアトラス 口腔組織発生学	第4版	わかば出版(株)
阿部和厚・牛木辰男 著	組織学	改訂20版	南山堂
	第2学年「組織学」講義の配付プリント		

担当者一覧

菊池憲一郎，池田利恵，小川清美，川村浩樹，池上公章，青木一之，藤澤有香，大沢弘一，犬飼善雄，黒木淳也

学習方略

☐ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☒ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☐ 客観試験 [--%] ☐ 論述試験 [--%] ☐ 口頭試験 [--%] ☒ レポート [30%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☒ 観察記録 [30%]
☒ 態度 (授業態度，遅刻，欠席を含む) [減点式] ☒ その他 (小テスト [40%])

オフィスアワー

日時：実習終了時に実習担当者と確認する。
 場所：実習終了時に実習担当者と確認する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SB0s)
4月7日	池田 利恵	ユニット1：実習オリエンテーション，顕微鏡操作と組織の観察	1) 組織学実習の心得を確認する。 (A-2-1)-①, ②, ③, A-2-2)-③) 2) 顕微鏡を正しく操作し，顕微鏡像から組織(血管，神経組織)を図示し，基本構造について説明する。 (C-3-4)-(4)-③, C-3-4)-(5)) 3) 実習内容の習熟度を評価する。 (A-2-1)- ①, ②, ③, ④, ⑤)
4月14日	池田 利恵	ユニット2：免疫系	1) 脾臓の微細構造と機能について述べる。 (C-4-2)-③) 2) リンパ節の微細構造と，構造上の特性について述べる。 (C-3-4)-(4)-⑤) 3) 胸腺の微細構造と機能について述べる。 (C-4-2)-③) 4) 実習内容の習熟度を評価する。 (A-2-1)- ①, ②, ③, ④, ⑤)
4月21日	池田 利恵	ユニット3：消化器系(消化管)	1) 食道の微細構造を説明する。(C-3-4)-(7)-①) 2) 小腸の微細構造を説明する。(C-3-4)-(7)-①) 3) 大腸の微細構造を説明する。(C-3-4)-(7)-①) 4) 胃の微細構造と機能について述べる。 (C-3-4)-(7)-①) 5) 実習内容の習熟度を評価する。 (A-2-1)- ①, ②, ③, ④, ⑤)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月12日	池田 利恵	ユニット4：消化器系(消化腺)，内分泌系	1) 膵臓の微細構造と機能について述べる。 (C-3-4)-(7)-(3)) 2) 肝臓の微細構造と機能について述べる。 (C-3-4)-(7)-(2)) 3) 甲状腺の基本構造と特徴を述べる。 (C-3-4)-(9)-(1)) 4) 実習内容の習熟度を評価する。 (A-2-1)- ①, ②, ③, ④, ⑤)
5月19日	菊池憲一郎	ユニット5：呼吸器系，泌尿器系	1) 肺の微細構造と機能について述べる。 (C-3-4)-(8)-(2)) 2) 気管支の微細構造と機能について述べる。 (C-3-4)-(8)-(1)) 3) 腎臓の微細構造と機能について述べる。 (C-3-4)-(10)-(1)) 4) 実習内容の習熟度を評価する。 (A-2-1)- ①, ②, ③, ④, ⑤)
5月26日	池田 利恵	ユニット6：副鼻腔，鼻粘膜	1) 上顎洞の組織構造を示す。(E-2-2)-(7)) 2) 下鼻甲介の構造を示す。(E-2-2)-(7)) 3) 上顎洞と下鼻甲介の粘膜上皮の構造を対比する。 (E-2-2)-(7)) 4) 実習内容の習熟度を評価する。 (A-2-1)- ①, ②, ③, ④, ⑤)
6月2日	小川 清美	ユニット7：エナメル質，象牙質，歯髄	1) エナメル質の構造，機能を説明する。(E-3-1)-(4)) 2) 象牙質の構造，機能を説明する。(E-3-1)-(4)) 3) 歯髄の層区分，細胞と線維，脈管と神経線維を確認する。(E-3-1)-(5)) 4) 実習内容の習熟度を評価する。 (A-2-1)- ①, ②, ③, ④, ⑤)
6月9日	青木 一之	ユニット8：歯周組織1	1) セメント質の構造，機能を説明する。(E-3-1)-(6)) 2) 歯根膜の細胞，線維，血管，神経線維を図し，基本構造について説明する。(E-3-1)-(6)) 3) 実習内容の習熟度を評価する。 (A-2-1)- ①, ②, ③, ④, ⑤)
6月16日	藤澤 有香	ユニット9：歯周組織2	1) 歯周組織の組織構造，機能を説明する。 (E-3-1)-(6)) 2) 上皮組織の形態と機能について説明する。 (C-3-4)-(1)-(1)) 3) 歯肉の組織構造について述べる。(E-3-1)-(6)) 4) 固有歯槽骨と支持歯槽骨の存在部位と構造上の特徴を確認する。(E-3-1)-(6)) 5) 実習内容の習熟度を評価する。 (A-2-1)- ①, ②, ③, ④, ⑤)
6月23日	小川 清美	ユニット10：顎関節，骨の発生と組織構造	1) 顎関節の組織構造，機能について述べる。 (E-2-1)-(6)) 2) 骨の発生と骨の吸収，改造について述べる。 (C-3-4)-(2)-(3, 4)) 3) 実習内容の習熟度を評価する。 (A-2-1)- ①, ②, ③, ④, ⑤)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
6 月 30 日	菊池憲一郎	ユニット11：舌体・舌根，筋組織	1) 舌乳頭の種類，分布，組織構造を示す。 (E-2-2)-③) 2) 味蕾の分布と組織構造を示す。(E-2-2)-③, ⑩) 3) 内舌筋の配列と組織構造について述べる。 (E-2-2)-③) 4) 舌腺の種類，分布，組織構造について述べる。 (E-2-2)-③) 5) 舌扁桃の組織構造について述べる。(E-2-1)-⑫) 6) 筋の構造について述べる。(C-3-4)-(3)- ①, ②) 7) 実習内容の習熟度を評価する。 (A-2-1)- ①, ②, ③, ④, ⑤)
7 月 7 日	池田 利恵	ユニット12：唾液腺	1) 唾液腺の組織構造を説明する。(E-2-2)-⑤, ⑥) 2) 三大唾液腺の組織構造を比較する。(E-2-2)-⑥) 3) 実習内容の習熟度を評価する。 (A-2-1)- ①, ②, ③, ④, ⑤)
7 月 14 日	菊池憲一郎	ユニット13：歯の発生	1) 歯堤と口腔上皮の発生学上の関連について説明する。 (E-2-3)-①, E-3-1)-①) 2) 上皮と間葉の相互作用について述べる。 (E-2-3)-①, E-3-1)-①) 3) エナメル器，歯乳頭，歯小囊の形成，発育，分化について説明する。(E-2-3)-①, E-3-1)-①) 4) 象牙質の形成と石灰化について説明する。 (E-3-1)-④) 5) エナメル質形成と石灰化について説明する。 (C-3-4)-(2)-⑤, E-3-1)-④) 6) Hertwig 上皮鞘の構造と歯根形成を図示する。 (E-3-1)-⑥) 7) 実習内容の習熟度を評価する。 (A-2-1)- ①, ②, ③, ④, ⑤)

口腔保健学

火曜日 9:00~10:30

本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師法第1条が定める歯科医師最大の任務「公衆衛生の向上に寄与する歯科医師」に必須の公衆衛生を、一層深く洞察する能力修得のため、予防医学と歯科疫学の基本、そして歯科予防医学を学び、口腔健康管理のための方法論を修得する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

杉原直樹, 福田雅臣, 川戸貴行 編	口腔衛生学2024	第1版	一世出版
小松崎 明, 藤井一維, 浅沼直樹	歯学生のための健康科学	第4版	一世出版

担当者一覧

田中とも子, 大島克郎, 一宮頼子, 山下万美子, 林田尚斗, 佐藤勝弘, 奥平晴子

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [60%] ☐ 論述試験 [40%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 毎週火曜日 16:00~17:00 および登校日は随時
 場所: 本館5階 衛生学講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月8日	林田 尚斗	ユニット1: 口腔保健学概論	1) 日常臨床の基本思想となる口腔保健学を述べる。(B-1-①) 2) プライマリーヘルスケア・ヘルスプロモーションと口腔保健の関係を説明する。(B-1-③) 3) 疾病の自然史と歯科疾患の関係を説明する。(B-1-①)
4月15日	田中とも子	ユニット2: 母子歯科保健	1) 母子保健関連の法律を列挙する。(B-2-1)-⑤) 2) わが国の母子保健水準の現状を説明する。(B-3-2)-⑥) 3) 母子保健・歯科保健対策について述べる。(B-3-2)-⑥) 4) 妊産婦の口腔保健管理を説明する。(B-3-2)-⑥) 5) 乳幼児の歯科保健管理を説明する。(B-3-2)-⑥)
5月13日	大島 克郎	ユニット3: 学校歯科保健	1) 学校保健関連の法律を説明する。(B-2-1)-⑤) 2) 学校感染症を説明する。(B-2-2)-①) 3) 保健管理組織を説明する。(B-2-2)-①) 4) 学校 (歯科) 保健制度について述べる。(B-2-2)-①) 5) 学校 (歯科) 健康診断について説明する。(B-3-2)-⑥) 6) 歯科保健教育と歯科保健指導を具体的に述べる。(B-3-2)-⑥)
5月20日	佐藤 勝弘	ユニット4: 産業歯科保健	1) 産業歯科保健関連の法律を列挙する。(B-2-1)-⑤) 2) 産業歯科保健制度について述べる。(B-2-2)-①) 3) 産業歯科保健活動について説明する。(B-3-2)-⑥) 4) 歯にみられる職業性疾患について述べる。(B-3-2)-⑥) 5) 労働者の健康保持増進対策と口腔保健について関係づける。(B-3-2)-⑥)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月27日	大島 克郎	ユニット5：高齢者歯科保健・障害児・者口腔保健	1) 成人・高齢者歯科保健関連法律を列挙する。 (B-2-1)-⑤) 2) 成人・高齢者歯科保健制度を述べる。(B-2-2)-①) 3) 成人・高齢者歯科保健活動を説明する。(B-3-2)-⑥) 4) 要介護者の歯科保健制度を説明する。(B-2-2)-⑥) 5) 要介護者の歯科保健管理について述べる。 (B-3-2)-⑥) 6) 障害の定義について説明する。(B-2-2)-⑤) 7) 障害児・者に関する法令を列挙する。(B-2-1)-⑤) 8) 障害児・者の口腔保健管理法について述べる。 (B-3-2)-⑥)
6月3日	一宮 頼子	ユニット6：歯の付着物	1) 歯の付着物を列記する。(B-3-2)-③) 2) ペリクルの口腔保健的意義を述べる。(B-3-2)-③) 3) 歯垢の形成について説明する。(B-3-2)-③) 4) 歯垢の口腔保健的意義を記述する。(B-3-2)-③) 5) 歯石の形成について説明する。(B-3-2)-③) 6) 歯石の口腔保健的意義を記述する。(B-3-2)-③)
6月10日	一宮 頼子	ユニット7：齲蝕の発生要因・発生機序	1) 齲蝕の発生要因を列記する。(B-3-2)-①) 2) 齲蝕発生機序について述べる。(B-3-2)-①) 3) 口腔環境と齲蝕との関係を説明する。(B-3-2)-①) 4) 齲蝕を社会環境要因から述べる。(B-3-2)-①)
6月17日	奥平 晴子	ユニット8：齲蝕の予防(1)	1) 齲蝕リスクファクターを列挙する。(B-3-2)-⑤) 2) 齲蝕活動性試験を説明する。(B-3-2)-⑤) 3) 齲蝕予防発病論に基づく基本的な予防法を説明する。 (B-3-2)-⑤) 4) コミュニティーケア、セルフケアそしてプロ フェッショナルケアを説明する。(B-3-2)-⑤)
6月24日	一宮 頼子	ユニット9：齲蝕の予防(2)	1) 微生物要因に対する予防法について説明する。 2) (B-3-2)-③) 3) 食事要因に対する予防法について説明する。 (B-3-2)-③) 4) 宿主要因に対する予防法について説明する。 (B-3-2)-③)
7月1日	山下万美子	ユニット10：歯周病の予防	1) 歯周疾患の発生要因を列記する。(B-3-2)-⑤) 2) 歯周疾患発生機序について述べる。(B-3-2)-⑤) 3) 歯周疾患を社会環境要因から述べる。(B-3-2)-⑤) 4) 歯周疾患の予防法を説明する。(B-3-2)-⑤)
7月8日	田中とも子	ユニット11：不正咬合・口臭の予防	1) 不正咬合の原因・機序・予防法について記述する。 (B-3-2)-⑤) 2) 口臭の発生要因・発生機序について記述する。 (B-3-2)-⑤) 3) 口臭の予防法について具体的に述べる。(B-3-2)-⑤) 4) 口臭と心身医学について述べる。(B-3-2)-⑤) 5) 口臭物質の毒性を述べる。(B-3-2)-⑤)
7月15日	山下万美子	ユニット12：歯科疫学の特徴と特性	1) 歯周疾患の疫学的特性について述べる。(B-4-1)-③) 2) その他の疾患の疫学的特性について述べる。 (B-4-1)-③) 3) 歯科疫学の特徴を具体的に述べる。(B-4-1)-③) 4) 齲蝕の疫学的特性について述べる。(B-4-1)-③)
7月22日	佐藤 勝弘	ユニット13：歯科疫学概論	1) 歯科疾患実態調査報告の概要を具体的に述べる。 (B-4-2)-②) 2) わが国の歯科保健の現状を具体的に述べる。 (B-4-2)-②) 3) わが国の歯科保健の方向性を予測する。 (B-4-2)-②)

本学期的学習目標 (GIO)

口腔環境に棲息する常在微生物の由来, 定着機序, 種類, 性状, 口腔内分布について基礎的知識を身につけ, 口腔内疾患に際して増加する微生物の種類, それらの一般性状, 病原因子について理解する。また, 生体防御機構としての免疫反応, 感染免疫, アレルギー, 主な免疫不全症・自己免疫疾患を理解する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
石原和幸 他 編集	口腔微生物学	第8版	学建書院

担当者一覧

高橋幸裕, 才木桂太郎, 立川 愛

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [50%] ☒ 論述試験 [40%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☒ その他 (小テスト [10%])

オフィスアワー

日時: 月~金 16:30~18:00
 場所: 本館5階 微生物学研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月8日	高橋 幸裕	ユニット1: 口腔微生物叢	1) 口腔微生物学の歴史を述べる。(C-4-1)-①) 2) 口腔微生物叢の由来と成立を説明する。(C-4-1)-②) 3) 口腔微生物の定着機序を説明する。(C-4-1)-②)
4月15日	高橋 幸裕	ユニット2: 口腔バイオフィルム	1) バイオフィルムの定義を述べる。(C-4-1)-②) 2) デンタルプラークの形成過程を説明する。(C-4-1)-②) 3) 口腔微生物叢の変化を説明する。(C-4-1)-②)
5月13日	高橋 幸裕	ユニット3: グラム陽性口腔細菌	1) 口腔に常在するグラム陽性菌を分類する。(C-4-1)-①) 2) 口腔に常在するグラム陽性菌の形態学的特徴と生理学的性状を説明する。(C-4-1)-①) 3) ミュータンスレンサ球菌のう蝕病原性を説明する。(C-4-1)-②)
5月20日	高橋 幸裕	ユニット4: グラム陰性口腔細菌	1) 口腔に常在するグラム陰性菌を分類する。(C-4-1)-①) 2) 口腔に常在するグラム陰性菌の形態学的特徴と生理学的性状を説明する。(C-4-1)-①) 3) <i>Porphyromonas gingivalis</i> および <i>Aggregatibacter actinomycetemcomitans</i> などの歯周病原性細菌の歯周病原性を説明する。(C-4-1)-②)
5月27日	才木桂太郎	ユニット5: 免疫担当細胞	1) 生体防御に関わる組織について説明する。(C-4-2)-③) 2) 免疫担当細胞とその分化について説明する。(C-4-2)-③)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
6月3日	才木桂太郎	ユニット6：抗原提示細胞	1) 主要組織適合抗原複合体とその遺伝子、疾患との関連を説明する。(C-4-2)-④) 2) 抗原提示と抗原認識について説明する。(C-4-2)-④) 3) T細胞レセプターとB細胞表面免疫グロブリンの構造と機能について述べる。(C-4-2)-②)
6月10日	才木桂太郎	ユニット7：体液性免疫	1) B細胞の活性化機構について説明する。(C-4-2)-③) 2) 免疫グロブリンの種類と構造を述べる。(C-4-2)-②) 3) 免疫グロブリンの遺伝子と発現について説明する。(C-4-2)-②)
6月17日	才木桂太郎	ユニット8：細胞性免疫	1) T細胞の活性化機構について説明する。(C-4-2)-③) 2) T細胞の種類と役割について記述する。(C-4-2)-②) 3) 免疫寛容を説明する。(C-4-2)-④)
6月24日	才木桂太郎	ユニット9：移植片やがんに対する応答	1) 移植免疫の機構を説明する。(C-4-2)-②) 2) 移植片対宿主病を説明する。(C-4-2)-②) 3) 腫瘍免疫について知る。(C-4-2)-④) 4) 粘膜免疫を説明する。(C-4-2)-⑦)
7月1日	才木桂太郎	ユニット10：免疫疾患	1) アレルギーを分類する。(C-4-2)-⑤) 2) アレルギーの成因を説明する。(C-4-2)-⑤) 3) アレルギーによる生体反応と疾患について説明する。(C-4-2)-⑤) 4) 自己免疫疾患の発症を説明する。(C-4-2)-⑥) 5) 先天性原発性免疫不全症について述べる。(C-4-2)-⑥)
7月8日	才木桂太郎	ユニット11：免疫学的試験法・ワクチン	1) 免疫学的試験法を分類する。(C-4-2)-②) 2) 免疫学的試験法の原理を説明する。(C-4-2)-②) 3) 臨床で汎用される免疫学的試験法を列挙する。(C-4-1)-③) 4) ワクチンの意義と種類、特徴及び副反応を説明する。(C-4-2)-⑧)
7月15日	立川 愛	ユニット12：HIVと免疫	1) HIVに対する感染防御におけるT細胞の役割について説明する。(C-4-2)-③) 2) 免疫担当細胞に対するHIVの回避機構について説明する。(C-4-1)-②)
7月22日	高橋 幸裕	ユニット13：口腔感染防御学	1) 口腔化膿性疾患の原因菌の特徴を述べる。(C-4-1)-①) 2) 放線菌、結核菌、梅毒トレポネーマの形態学的特徴と生理学的性状を説明する。(C-4-1)-①) 3) 顎放線菌症、結核、梅毒の口腔に現れる症状を説明する。(C-4-1)-③) 4) 口腔細菌が原因となるバクテリアルトランスロケーションについて説明する。(C-4-1)-③) 5) 口腔微生物に対する自然免疫および獲得免疫について説明する。(C-4-2)-①) 6) 口腔感染症に対する感染防御について説明する。(C-4-2)-③)

微生物学実習

火曜日 13:10~16:20

本学期的学習目標 (GIO)

一般、および口腔微生物学について学んでいる知識を基礎にして、自分の手で実際に微生物を培養し、染色してその形態を自分の目で観察する。その他に抗菌薬感受性のテスト、免疫学の基本的手技などを自分でやることにより、単なる丸暗記の知識としてではなく、今後の歯科医としての人生において何時までも長もちがする身についた実力を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
才木桂太郎 他 編集	感染微生物学実習書	2025年版	日本歯科大学

担当者一覧

高橋幸裕, 才木桂太郎, 外崎美香, 田代有美子, 中西生美, 中田智之, 山中 幸

学習方略

☐ 講義 ☒ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☒ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [10%] ☒ 論述試験 [10%] ☐ 口頭試験 [10%] ☒ レポート [50% (未提出は減点)]
☐ ポートフォリオ [10%] ☐ シミュレーションテスト [10%] ☐ 実地試験 [10%] ☒ 観察記録 [30%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ()

オフィスアワー

日時: 月~金 16:30~18:00
 場所: 本館5階 微生物学研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月8日	高橋 幸裕 才木桂太郎 田代有美子 山中 幸	ユニット1: 滅菌・消毒とブドウ球菌の検査	1) 白衣の実習室での着衣, 退出時の脱衣を実施する。(C-4-1)-④) 2) 実習の開始時と終了時に手指の消毒を実施する。(C-4-1)-④) 3) オートクレーブを操作する。(C-4-1)-④) 4) ブドウ球菌を分離培養する。(C-4-1)-③)
4月15日	高橋 幸裕 才木桂太郎 田代有美子 山中 幸	ユニット2: ブドウ球菌の検査	1) ブドウ球菌のマニット食塩培地上の発育を対比する。(C-4-1)-②) 2) ブドウ球菌のDNase産生能およびコアグラゼ産生能を対比する。(C-4-1)-②)
5月13日	高橋 幸裕 才木桂太郎 田代有美子 山中 幸	ユニット3: 歯周病原細菌の観察	1) <i>Porphyromonas gingivalis</i> の血液寒天培地上の発育を記述する。(C-4-1)-①) 2) <i>mitis-salivarius</i> 培地を作製する。(C-4-1)-③)
5月20日	高橋 幸裕 才木桂太郎 田代有美子 山中 幸	ユニット4: 口腔細菌の酸素要求性	1) GAM半流動寒天培地での発育により, 口腔細菌の酸素要求性を対比する。(C-4-1)-①)
5月27日	高橋 幸裕 才木桂太郎 田代有美子 山中 幸	ユニット5: 口腔レンサ球菌の性質	1) 口腔レンサ球菌のMS寒天培地上の発育を対比する。(C-4-1)-①) 2) レンサ球菌のヒツジ血液寒天培地での溶血性について記述する。(C-4-1)-①) 3) 口腔レンサ球菌の酸産生およびグルカン産生能を対比する。(C-4-1)-③)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
6月3日	高橋 幸裕 才木桂太郎 田代有美子 山中 幸	ユニット6：グラム染色	1) <i>Staphylococcus aureus</i> と <i>Escherichia coli</i> およびデンタルブラックをグラム染色し観察する。 (C-4-1)-①)
6月10日	高橋 幸裕 才木桂太郎 田代有美子 山中 幸	ユニット7：スピロヘータの観察	1) スピロヘータをFontana鍍銀法，墨汁法，および暗視野顕微鏡法により観察する。(C-4-1)-①)
6月17日	高橋 幸裕 才木桂太郎 田代有美子 山中 幸	ユニット8：特殊染色法	1) <i>Bacillus subtilis</i> を芽胞染色する。(C-4-1)-①) 2) <i>Mycobacterium bovis</i> を抗酸菌染色する。 (C-4-1)-①) 3) <i>Corynebacterium matruchotii</i> を異染小体染色する。 (C-4-1)-①) 4) <i>Klebsiella pneumoniae</i> を莢膜染色する。 (C-4-1)-①) 5) <i>Proteus mirabilis</i> を鞭毛染色する。(C-4-1)-①)
6月24日	高橋 幸裕 才木桂太郎 田代有美子 山中 幸	ユニット9：腸内細菌科の菌種の検査	1) 腸内細菌科に属する細菌の菌種を分離培養および確認培養により同定する。(C-4-1)-①) 2) 培養に用いる培地の特徴を説明する。 (C-4-1)-③) 3) 腸内細菌科に属する菌種の性状を比較する。 (C-4-1)-①)
7月1日	高橋 幸裕 才木桂太郎 田代有美子 山中 幸	ユニット10：スライド凝集反応	1) スライド凝集反応により腸内細菌科の細菌の血清型を同定する。 (C-4-2)-②) 2) スライド凝集反応の臨床的意義について説明する。 (C-4-1)-③)
7月8日	高橋 幸裕 才木桂太郎 田代有美子 山中 幸	ユニット11：真菌および抗菌薬感受性試験－1	1) <i>Candida albicans</i> をスライドカルチャー法により培養する。(C-4-1)-③) 2) <i>Candida albicans</i> の形態的特徴を記述する。 (C-4-1)-①) 3) 供試菌の抗菌薬感受性をディスク法により判定する。 (C-4-1)-⑤)
7月15日	高橋 幸裕 才木桂太郎 田代有美子 山中 幸	ユニット12：抗原抗体反応	1) RPRテストによる梅毒血清診断を行なう。 (C-4-2)-②) 2) 受身凝集反応の臨床的意義について説明する。 (C-4-1)-③)
7月22日	高橋 幸裕 才木桂太郎 田代有美子 山中 幸	ユニット13：総括	1) 実習の学習内容を総括し，総合的な知識を習得する。

本学期的学習目標 (GIO)

歯冠補綴学の概要を理解するために、基礎科目で履修した知識を整理し、歯科補綴臨床で求められる知識を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
矢谷博文 他編	クラウンブリッジ補綴学	第6版	医歯薬出版

担当者一覧

五味治徳, 新谷明一, 八田みのり, 海渡智義, 山崎長郎

学習方略

☒ 講義	☐ 示説 (デモンストレーション)	☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)	☐ 実習
☐ その他 ()			

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [70%]	☒ 論述試験 [30%]	☐ 口頭試験 [--%]	☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%]	☐ シミュレーションテスト [--%]	☐ 実地試験 [--%]	☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])			

オフィスアワー

日時: 毎月第1, 第3火曜日 17:30~18:30
場所: 100周年記念館4階 歯科補綴学第2講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月9日	山崎 長郎	ユニット1: 先端技術を援用した歯冠補綴と臨床技術のイノベーション	1) 人工臓器としての重要性を説明する。(D-1-①) 2) 人工移植との違いを述べる。(D-1-①) 3) 80歳における修復装置の役割を説明する。(D-1-①) 4) 先進歯科医療による補綴装置製作の意義を説明する。(D-1-①)
4月16日	八田みのり	ユニット2: クラウン・ブリッジ補綴学の意義	1) 補綴治療による健康維持について説明する。(E-3-2)-(1)-①) 2) 病態の主要症候を述べる。(E-3-2)-(1)-①) 3) 補綴治療による利益と不利益を列挙する。(E-3-3)-(1)-①) 4) 診断のプロブレムリストを記述する。(E-3-3)-(1)-①)
5月7日	五味 治徳	ユニット3: クラウン・ブリッジの要件	1) クラウン・ブリッジの生物学的要件を列記する。(E-3-4)-(1)-①) 2) クラウン・ブリッジの機能的要件を列記する。(E-3-4)-(1)-①) 3) クラウン・ブリッジの力学的要件を説明する。(E-3-4)-(1)-①) 4) クラウン・ブリッジの材料学的要件を列記する。(E-3-4)-(1)-①) 5) クラウン・ブリッジの審美的要件を判断する。(E-3-4)-(1)-⑥)
5月14日	八田みのり	ユニット4: 歯冠補綴の検査・診断・治療計画・診療録の記載	1) 医療面接と診断を説明する。(E-3-3)-(1)-①) 2) 検査を説明する。(E-3-3)-(1)-①) 3) 評価と診断を説明する。(E-3-3)-(1)-①) 4) 治療計画を左右する因子を列記する。(E-1-1)-⑩)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月21日	八田みのり	ユニット5：歯冠補綴の咬合検査	1) 歯冠補綴の治療の位置づけを説明する。 (E-3-2)-(1) 2) 歯冠修復装置の製作過程を説明する。 (E-3-4)-(1)-(2) 3) 補綴診療のステップを述べる。(E-3-4)-(1)-(2) 4) 補綴治療の咬合理論を説明する。 (E-2-4)-(11)-(1)
5月28日	海渡 智義	ユニット6：全部被覆冠と部分被覆冠	1) 全部被覆冠と部分被覆冠の意義を述べる。 (E-3-4)-(1)-(2) 2) 全部被覆冠と部分被覆冠の種類を列記する。 (E-3-4)-(1)-(2) 3) 全部被覆冠と部分被覆冠の適応症を説明する。 (E-3-4)-(1)-(2) 4) 全部被覆冠と部分被覆冠を比較する。 (E-3-4)-(1)-(2)
6月4日	海渡 智義	ユニット7：レジンジャケットクラウンとポーセレンジャケットクラウン	1) ジャケットクラウンの特徴を列記する。 (E-3-4)-(1)-(2) 2) ジャケットクラウンの適応症を説明する。 (E-3-4)-(1)-(2) 3) ジャケットクラウンの支台歯形態を説明する。 (E-3-4)-(1)-(2) 4) ジャケットクラウンの製作法を記述する。 (E-3-4)-(1)-(2)
6月11日	海渡 智義	ユニット8：オールセラミッククラウン	1) オールセラミッククラウンの材料を列記する。 (E-3-4)-(1)-(2) 2) オールセラミッククラウンの適応症を記述する。 (E-3-4)-(1)-(2) 3) オールセラミッククラウンの支台歯形態を説明する。 (E-3-4)-(1)-(2) 4) オールセラミッククラウンの製作法を説明する。 (E-3-4)-(1)-(2)
6月18日	八田みのり	ユニット9：前装冠（1）	1) レジン前装冠と陶材焼付冠の特徴を列記する。 (E-3-4)-(1)-(2) 2) レジン前装冠と陶材焼付冠の適応症を説明する。 (E-3-4)-(1)-(2)
6月25日	八田みのり	ユニット10：前装冠（2）	1) レジン前装冠と陶材焼付冠の支台歯形態を説明する。 (E-3-4)-(1)-(2) 2) 陶材と金属の結合機序を述べる。(E-3-4)-(1)-(2)
7月2日	八田みのり	ユニット11：ラミネートベニアと接着理論	1) ラミネートベニアを説明する。(E-3-4)-(1)-(2) 2) 接着のメカニズムを述べる。(D-2-3) 3) ラミネートベニアの支台歯形態を説明する。 (E-3-4)-(1)-(2) 4) 前歯部の審美性について述べる。(E-3-4)-(1)-(1)
7月9日	新谷 明一	ユニット12：先進医療技術による補綴修復	1) CAD/CAMの理論を述べる。(E-3-4)-(1)-(2) 2) ファイバー補強材料を説明する。(D-2-2) 3) ジルコニアの性質を述べる。(D-2-2) 4) 先進医療技術の医療効果を述べる。(D-2-2)
7月16日	五味 治徳	ユニット13：問題演習および解説	1) 問題演習により学習内容の習熟度を評価する。

本学期的学習目標 (GIO)

歯科医学と歯科医療を理解するために必要なヒトの生理機能をより深く学び、正常な全身および口腔機能に関する概念を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
岩田幸一, 井上富雄, 舩橋 誠, 加藤隆史 編	基礎歯科生理学	第7版	医歯薬出版
黒川 清, 春日雅人, 北村 聖, 大西宏明 編	臨床検査データブック [コンパクト版]	第12版	医学書院

担当者一覧

佐伯周子, 肖 黎, 井出良治, 平島潤子, 池田水脈, 牧野真也

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [70%] ☒ 論述試験 [20%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☒ その他 (中間試験 [10%])

オフィスアワー

日時: 月～金曜日 16 : 30 ~ 17 : 30
場所: 本館5階 生理学講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月9日	池田 水脈	ユニット1: 興奮性組織	1) ニューロンとグリアの構造と機能を説明する。(C-3-4)-(5)-(7) 2) 活動電位発生の機序を説明する。(C-3-4)-(5)-(8) 3) 静止膜電位の成因を説明する。(C-3-4)-(5)-(8) 4) 興奮伝導の機構を説明する。(C-3-4)-(5)-(8)
4月16日	井出 良治	ユニット2: 顎・口腔・顔面の感覚	1) 口腔内の感覚受容器の特徴を述べる。(E-2-2)-(9) 2) 粘膜に分布する感覚受容器を説明する。(E-2-2)-(9) 3) 歯痛, 象牙質知覚について記述する。(E-2-2)-(9) 4) 歯根膜感覚について説明する。(E-2-2)-(9)
5月7日	井出 良治	ユニット3: 顎反射・顎運動	1) 反射や姿勢維持における骨格筋の役割について説明する。(E-2-1)-(7) 2) 顎運動と咀嚼筋の関連について述べる。(E-2-1)-(3), (6) 3) 咀嚼運動の神経機構について説明する。(E-2-1)-(8)
5月14日	肖 黎	ユニット4: 心臓と循環	1) 心臓の構造と心筋の興奮伝導性を説明する。(C-3-4)-(4)-(1) 2) 血液循環の経路と特徴について具体的に説明する。(C-3-4)-(4)-(2) 3) 循環調節機構を具体的に列挙する。(C-3-4)-(4)-(3)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月21日	佐伯 周子	ユニット5：心電図	1) 心臓の構造と機能を説明する。(C-3-4)-(4)-(①) 2) 心電図の記録法について述べる。(E-1-3)-(③) 3) 心電図の概念を説明する。(C-3-4)-(4)-(①) 4) 心電図の結果と疾患の関係を説明する。 (E-1-3)-(⑤)
5月28日	佐伯 周子	ユニット6：体液と腎機能	1) 体液調節について述べる。(C-3-4)-(10)-(②) 2) 腎機能の概要を列挙する。(C-3-4)-(10)-(①) 3) 糸球体濾過と再吸収、分泌について述べる。 (C-3-4)-(10)-(①) 4) 腎不全を評価する。(C-3-4)-(10)-(③)
6月4日	佐伯 周子	ユニット7：中間試験	1) 前回までの学習内容を整理・再確認する。
6月11日	肖 黎	ユニット8：自律神経	1) 自律神経の機能的特徴を列記する。 (C-3-4)-(5)-(②, ③) 2) 各臓器に対する自律神経の作用を記述する。 (C-3-4)-(5)-(③) 3) 自律神経系の神経伝達物質を列記する。 (C-3-4)-(5)-(⑨)
6月18日	肖 黎	ユニット9：味覚・嗅覚	1) 味覚閾値に影響する因子を説明する。 (E-2-2)-(⑩) 2) 味覚の伝達経路を説明する。(E-2-2)-(⑩) 3) 味覚受容器の構造について説明する。 (C-3-4)-(6)-(①) 4) 嗅覚細胞における嗅いの受容機構を説明する。 (C-3-4)-(6)-(①)
6月25日	井出 良治	ユニット10：唾液腺	1) 唾液の作用を具体的に列挙する。(E-2-2)-(⑤) 2) 唾液の分泌機序を説明する。(E-2-2)-(⑥) 3) 唾液分泌反射経路を説明する。(E-2-2)-(⑥) 4) 唾液分泌量と性状の変化について説明する。 (E-2-2)-(⑤)
7月2日	牧野 真也	ユニット11：摂食・嚥下・嘔吐	1) 嚥下・嘔吐反射について説明する。 (C-3-4)-(5)-(⑥), (E-2-1)-(⑩) 2) 摂食・嚥下機構について説明する。 (E-2-1)-(⑧, ⑨) 3) 摂食・嚥下機能障害について説明する。 (E-2-4)-(11)-(②)
7月9日	井出 良治	ユニット12：言語・発声・構音	1) 言語中枢について説明する。(C-3-4)-(5)-(④) 2) 発音・構音・発語について説明する。(E-2-2)-(⑧) 3) 発音・構音・発語障害の原因、検査、診断を説明できる。 (E-2-4)-(11)-(③)
7月16日	平島 潤子	ユニット13：呼吸	1) 呼吸の概念を説明する。(C-3-4)-(8)-(②) 2) 肺の形態と機能を具体的に述べる。 (C-3-4)-(8)-(①, ②) 3) 肺におけるガス交換を説明する。(C-3-4)-(8)-(②) 4) 呼吸調節機構を具体的に列挙する。 (C-3-4)-(8)-(②)

薬理学実習

水曜日 13:10~16:20

本学期的学習目標 (GIO)

実験を通して、薬物に対する認識を深めるとともに、薬物の生体におよぼす作用（薬理作用）についての知識を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
薬理学講座	薬理学実習書	改訂44版	一世印刷

担当者一覧

筒井健夫, 神 唯, 鳥居大祐, 石垣佳希, 石川祥一, 石川葉仁, 稲葉智弘, 笠島生也, 熊倉伸一, 熊田光利, 福田真也, 本田 健, 三橋昭子, 八木英一, 安田卓史, 伊藤亜希, 矢久保修嗣, 柳田俊彦

学習方略

☒ 講義
 ☐ 示説（デモンストレーション）
 ☐ グループワーク（PBL, TBLを含む）
 ☒ 実習
 ☐ その他（ ）

成績評価（比率は概算であり若干の変更が行われます）

☒ 客観試験 [30%]
 ☐ 論述試験 [--%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☒ レポート [40% (未提出は減点)]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☒ 観察記録 [30%]
 ☒ 態度（授業態度, 遅刻, 欠席を含む） [減点式]
 ☐ その他

オフィスアワー

日時：毎週月曜日 12:10~13:10
 場所：本館5階 薬理学研究室

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月9日	筒井 健夫	ユニット1：実習説明	1) 本実習の進め方, 実習中の規則などを説明する。 (A-1-1)-④, ⑥)
4月16日	筒井 健夫	ユニット2：動物実験講習会, 歯科用薬物 (1)	1) 動物を扱う上での基本的な操作を説明する。 (A-1-1)-④, ⑥) 2) 歯の脱灰に使用する薬物の作用機序とその実際について理解する。(C-6-2)-①, ②)
5月7日	本田 健 福田 真也 筒井 健夫	ユニット3：吸入麻酔, 八木式カニューレによるウシガエル摘出心臓灌流実験, ウシガエル後肢血管灌流法	1) イソフルランによる全身麻酔の進行を観察する。 (C-6-2)-①, ②, ③) 2) 全身麻酔薬の奏効に影響を与える因子を理解する。 (C-6-2)-①, ②, ⑤) 3) 自律神経系の神経伝達物質とその受容体を列記する。 (C-6-2)-①, ②, ③, ⑤) 4) 自律神経系に作用する薬物ののはたらきを述べる。 (C-6-2)-①, ②, ③, ⑤) 5) 摘出心臓に対する薬物の作用を説明する。 (C-6-2)-①, ②, ③, ⑤) 6) 末梢血管に対する薬物の作用を述べる。 (C-6-2)-①, ②, ③, ⑤)
5月14日	本田 健 筒井 健夫	ユニット4：八木式カニューレによるウシガエル摘出心臓灌流実験, ウシガエル後肢血管灌流法	1) 自律神経系の神経伝達物質とその受容体を列記する。 (C-6-2)-①, ②, ③, ⑤) 2) 自律神経系に作用する薬物ののはたらきを述べる。 (C-6-2)-①, ②, ③, ⑤) 3) 摘出心臓に対する自律神経作動薬とその拮抗薬の作用を記録する。(C-6-2)-①, ②, ③, ⑤) 4) 摘出心臓に対する漢方薬の作用を記録する。 (C-6-2)-①, ②, ③) 5) 末梢血管に対する薬物の作用を述べる。 (C-6-2)-①, ②, ③, ⑤)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月21日	福田 真也 筒井 健夫	ユニット5：吸入麻酔, 八木式カニューレによるウシガエル摘出心臓灌流実験	1) イソフルランによる全身麻酔の進行を観察する。(C-6-2)-①, ②, ③) 2) 全身麻酔薬の奏効に影響を与える因子を理解する。(C-6-2)-①, ②, ⑤) 3) 摘出心臓に対する自律神経作動薬とその拮抗薬の作用を記録する。(C-6-2)-①, ②, ③, ⑤) 4) 摘出心臓に対する漢方薬の作用を記録する。(C-6-2)-①, ②, ③)
5月28日	福田 真也 筒井 健夫	ユニット6：全身麻酔, Virtual reality (VR)	1) 全身麻酔薬による外科手術の歴史を述べる。(C-6-1)-①) 2) 麻酔前投薬の種類と作用を説明する。(C-6-2)-①, ②, ⑤) 3) 全身麻酔薬の奏効に影響を与える因子を理解する。(C-6-2)-①, ②, ⑤) 4) 中枢神経興奮薬が起こす痙攣について述べる。(C-6-2)-①, ②, ③) 5) 抗痙攣薬の作用を説明する。(C-6-2)-①, ②, ⑤)
6月4日	福田 真也 筒井 健夫	ユニット7：全身麻酔, Virtual reality (VR)	1) 全身麻酔薬による外科手術の歴史を述べる。(C-6-1)-①) 2) 麻酔前投薬の種類と作用を説明する。(C-6-2)-①, ②, ⑤) 3) 全身麻酔薬の奏効に影響を与える因子を理解する。(C-6-2)-①, ②, ⑤) 4) 中枢神経興奮薬が起こす痙攣について述べる。(C-6-2)-①, ②, ③) 5) 抗痙攣薬の作用を説明する。(C-6-2)-①, ②, ⑤)
6月11日	柳田 俊彦 筒井 健夫	ユニット8：九州歯科大学との二大学合同ロールプレイ	1) 抗凝固薬と抗真菌薬の相互作用について述べる。(C-6-2)-⑤) 2) 抗リウマチ薬について説明する。(C-6-2)-①, ②)
6月18日	筒井 健夫	ユニット9：局所麻酔薬	1) 表面麻酔作用と浸潤麻酔作用を比較する。(C-6-3)-①) 2) 局所麻酔薬の作用を説明する。(C-6-2)-①, ②, ③) 3) 血管収縮薬の作用を説明する。(C-6-2)-①, ②, ⑤)
6月25日	熊倉 伸一	ユニット10：ウサギ摘出腸管を用いるマグヌス法	1) 摘出腸管に対する自律神経作動薬とそれに対する拮抗薬の作用を記録する。(C-6-2)-①, ②, ③, ⑤) 2) 平滑筋弛緩薬の効果を評価する。(C-6-2)-①, ②, ⑤)
7月2日	石垣 佳希 石川 祥一	ユニット11：特別講義	1) 歯科治療に影響を及ぼす全身疾患とその治療薬を理解する。(C-6-4)-①) 2) 歯科医療における多職種連携について説明する。(A-5-1)-①, ②, ③, ④)
7月9日	神 唯	ユニット12：歯科用薬物 (2)	1) DNA合成阻害剤について作用機序とその実際について理解する。(C-6-2)-①, ②, ③)
7月16日	筒井 健夫	ユニット13：実習試験	1) 薬理学実習全体を通しての知識について修得度を確認する。
7月23日		ユニット14：授業予備日	

歯科放射線学

木曜日 9:00~10:30

本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師として臨床に必要な画像検査・診断の基本を理解するために、医学における放射線の意義、歯・安護・顔面領域に対する種々のエックス線検査法、画像形成原理の基本を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
岡野友宏 他 編	歯科放射線学	第7版	医歯薬出版
日本歯科放射線学会 編	歯科臨床における画像診断アトラス	第2版	医歯薬出版
S. Mallya & E. W. N. Lam	White & Pharoah's Oral Radiology	8th Ed.	Mosby
有地榮一郎 他 監修	わかりやすい歯科放射線学	第3版	学建書院

担当者一覧

河合泰輔, 神尾 崇, 永浦まどか, 前野雅一, 西川慶一, 香川豊宏

学習方略

☒ 講義	☐ 示説 (デモンストレーション)	☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)	☐ 実習
☐ その他 ()			

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [70%]	☒ 論述試験 [30%]	☐ 口頭試験 [--%]	☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%]	☐ シミュレーションテスト [--%]	☐ 実地試験 [--%]	☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])			

オフィスアワー

日時: 木曜日, 12:10~13:00, 17:00~18:30
場所: 100周年記念館 3階 歯科放射線学講座 (この他の時間は必ずアポイントを取ること)

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月10日	河合 泰輔	ユニット1: 歯科放射線学の概要	1) 歯科放射線学の概要を述べる。(E-1-2) 2) 放射線利用の歴史を説明する。(E-1-2) 3) 生活環境に存在する放射線を分類する。(E-1-2)-①) 4) 放射線の医学利用を説明する。(E-1-2)-①) 5) 電離放射線を説明する。(E-1-2)-①)
4月17日	河合 泰輔	ユニット2: エックス線の発生と装置	1) エックス線の発生を説明する。(E-1-2)-①) 2) エックス線発生装置の構造を説明する。(E-1-2)-①) 3) エックス線発生装置の管電圧や管電流などの撮影条件を記述する。(E-1-2)-①)
4月24日	神尾 崇	ユニット3: 口内法撮影法①	1) 口内法撮影法の分類を述べる。(E-1-2)-⑥, F-2-2)-⑤) 2) 平行法・二等分法を説明する。(E-1-2)-⑥, F-2-2)-⑤) 3) 咬合法・咬翼法を説明する。(E-1-2)-⑥, F-2-2)-⑤) 4) 偏心投影法を説明する。(E-1-2)-⑥, F-2-2)-⑤)
5月8日	神尾 崇	ユニット4: 口内法撮影法②	1) 口内法撮影法の分類を述べる。(E-1-2)-⑥, F-2-2)-⑤) 2) 平行法・二等分法を説明する。(E-1-2)-⑥, F-2-2)-⑤) 3) 咬合法・咬翼法を説明する。(E-1-2)-⑥, F-2-2)-⑤) 4) 偏心投影法を説明する。(E-1-2)-⑥, F-2-2)-⑤)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月15日	河合 泰輔	ユニット5：エックス線の特徴	1) 電磁波を説明する。(E-1-2)-①) 2) エックス線の特徴を理解する。(E-1-2)-①) 3) エックス線の線量を説明する。(E-1-2)-①) 4) エックス線の単位を記述する。(E-1-2)-①) 5) エックス線の線質を説明する。(E-1-2)-①)
5月22日	河合 泰輔	ユニット6：エックス線画像の形成	1) エックス線と物質の相互作用（微視的）を説明する。(E-1-2)-④) 2) 被写体コントラストを説明する。(E-1-2)-④) 3) 散乱線とその除去を説明する。(E-1-2)-④) 4) 画像の幾何学的関係を説明する。(E-1-2)-④)
5月29日	河合 泰輔	ユニット7：口内法エックス線画像の読影	1) 読影に必要な用語を説明する。(E-1-2)-⑦) 2) 異常像の認識の方法を説明する。(E-1-2)-⑦) 3) 口内法読影の限界点を評価する。(E-1-2)-⑦) 4) 口内法でみられる正常像を説明する。(E-1-2)-⑦)
6月5日	香川 豊宏	ユニット8：パノラマエックス線撮影法	1) パノラマエックス線撮影法の歴史を述べる。(E-1-2)-⑥) 2) パノラマエックス線撮影の方法を記述する。(E-1-2)-⑥) 3) パノラマエックス線画像の特徴を列記する。(E-1-2)-⑥)
6月12日	神尾 崇	ユニット9：パノラマエックス線画像の読影	1) パノラマエックス線画像の正常像を説明する。(E-1-2)-⑦) 2) パノラマエックス線画像の特徴を理解する。(E-1-2)-⑦)
6月19日	神尾 崇	ユニット10：口外法エックス線撮影法	1) 口外法撮影の種類を列記する。(E-1-2)-⑧) 2) 各種口外法の撮影方法を述べる。(E-1-2)-⑧) 3) 各種口外法でみられる画像の特徴を列記する。(E-1-2)-⑧)
6月26日	前野 雅一	ユニット11：撮影用器材、フィルム処理、およびエックス線画像形成	1) フィilmと増感紙の特徴を説明する。(E-1-2)-⑤) 2) フィilm処理過程を分類する。(E-1-2)-⑤) 3) 現像液と定着液を説明する。(E-1-2)-⑤) 4) 線量－黒化度曲線（特性曲線）を説明する。(E-1-2)-⑤) 5) 鮮鋭度を説明する。(E-1-2)-⑤) 6) 散乱線の影響を説明する。(E-1-2)-⑤)
7月3日	西川 慶一	ユニット12：歯科用デジタルエックス線診断システム	1) 歯科用デジタルエックス線診断システムの原理と構造を説明する。(E-1-2)-⑤) 2) 歯科用デジタルエックス線診断システムの画像の特徴を説明する。(E-1-2)-⑤)
7月10日	永浦まどか	ユニット13：エックス線撮影（演習）	1) 問題演習を通じて口内法撮影、パノラマエックス線撮影、各種口外法撮影の種類、適応、画像解釈について説明する。(E-1-2)-⑥⑦)

本学期的学習目標 (GIO)

歯科医学・医療の基礎を生化学的・分子生物学的基盤に立脚して理解するために、生体を構成する分子の生化学的な特徴とその異常について考察する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

早川太郎 他

口腔生化学

第6版

医歯薬出版

担当者一覧

今井一志, 美原希美, 根岸 翼

学習方略

- ☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- ☒ 客観試験 [70%] ☒ 論述試験 [30%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 毎週月曜日 17:00~18:00

場所: 本館6階 生化学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月10日	美原 希美	ユニット1: 細胞外マトリックス1	1) 主なECMタンパク質を列記する。(C-2-4)-③) 2) 糖タンパク質の構造とRGD配列を説明する。(C-2-4)-③) 3) プロテオグリカンの特徴を述べる。(C-2-4)-③) 4) グルコサミノグリカンの構造を記述する。(C-2-4)-③)
4月17日	美原 希美	ユニット2: 細胞外マトリックス2	1) コラーゲンの種類と構造を述べる。(C-2-4)-③) 2) コラーゲンの合成機序を説明する。(C-2-4)-③) 3) エラスチンとフィブリンの特徴を述べる。(C-2-4)-③)
4月24日	美原 希美	ユニット3: 硬組織の細胞外マトリックス	1) 非コラーゲン性タンパク質の種類と性質を記述する。(C-2-4)-③) 2) ヒドロキシアパタイト血漿の特徴を説明する。(C-2-4)-③) 3) 硬組織無機成分の特徴を記述する。(C-3-4)-(3)-⑤)
5月8日	美原 希美	ユニット4: 歯と歯周組織の細胞外マトリックス	1) 幼若エナメル質タンパクの種類と脱却を記述する。(C-2-4)-③) 2) 硬組織タンパクを記述する。(C-2-4)-③) 3) 歯周組織のコラーゲン代謝回転を説明する。(C-2-4)-③)
5月15日	美原 希美	ユニット5: 細胞外マトリックスタンパク質の分解	1) ECM分解酵素の種類と特徴を説明する。(C-2-4)-④) 2) マトリックスメタロプロテアーゼの種類と性質を述べる。(C-2-4)-④) 3) ECM破壊の臨床的意義を述べる。(C-2-4)-④) 4) 線維素溶解系に働く酵素を説明する。(C-2-4)-④)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月22日	根岸 翼	ユニット6：細胞接着機構	1) 細胞骨格の種類と特徴を記述する。(C-2-4)-① 2) 細胞接着分子の種類と特徴を記述する。(C-2-4)-① 3) 白血球と血管内皮細胞の接着を説明する。(C-2-4)-①
5月29日	根岸 翼	ユニット7：シグナル伝達と増殖因子	1) 受容体の種類と特徴を説明する。(C-2-4)-② 2) セカンドメッセンジャーとGタンパク質を記述する。(C-2-4)-② 3) 受容体シグナルと血糖調整の仕組みを説明する。(C-2-4)-② 4) 増殖因子を列記する。(C-2-4)-②
6月5日	根岸 翼	ユニット8：細胞の動態と幹細胞	1) 細胞周期とその制御機構を記述する。(C-2-3)-③ 2) 幹細胞の種類と特徴を記述する。(C-3-2)-② 3) アポトーシスとネクローシスを比較する。(C-2-3)-④ 4) 細胞周期と細胞分化を説明する。(C-2-3)-③
6月12日	根岸 翼	ユニット9：カルシウム代謝と骨改造	1) 血清カルシウム調節ホルモンの種類と機能を記述する。(C-3-4)-(9)-① 2) 破骨細胞による骨吸収のメカニズムを記述する。(C-3-4)-(2)-④ 3) 骨芽細胞と破骨細胞のコミュニケーションを説明する。(C-3-4)-(2)-④
6月19日	根岸 翼	ユニット10：組織の石灰化機構	1) 組織石灰化の基本要件を説明する。(C-3-4)-(2)-⑤ 2) 石灰化反応初期に働くメカニズムを記述する。(C-3-4)-(2)-⑤ 3) 基質小胞性石灰化反応を説明する。(C-3-4)-(2)-⑤ 4) 成長板軟骨の特徴を述べる。(C-3-4)-(2)-④ 5) 軟骨内骨化と膜内骨化を説明する。(C-3-4)-(2)-④
6月26日	根岸 翼	ユニット11：唾液の性状と機能	1) 唾液タンパク質の種類と特徴を説明する。(E-2-2)-⑤ 2) 唾液の抗菌因子を列記する。(E-2-2)-⑤ 3) アミラーゼによる糖質の消化を説明する。(E-2-2)-⑤ 4) 唾液の無機成分の種類と特徴を述べる。(E-2-2)-⑤ 5) 唾液の一般的性状を説明する。(E-2-2)-⑤
7月3日	根岸 翼	ユニット12：プラークの形成とう蝕	1) ペリクルの形成機序と特徴を述べる。(E-3-2)-④ 2) プラークの形成機序を記述する。(E-3-2)-④ 3) 菌体外多糖の構成と特徴を説明する。(E-3-2)-④ 4) 細菌による有機酸産生機序を述べる。(E-3-2)-① 5) う蝕の形成と歯質の脱灰を説明する。(E-3-2)-①
7月10日	根岸 翼	ユニット13：歯周組織破壊と生体防御	1) 歯石の形成機序と組成を述べる。(E-3-2)-④ 2) 歯周疾患の生体防御機構を説明する。(E-3-2)-③ 3) 歯周疾患による組織破壊の分子的背景を記述する。(E-3-2)-③

本学期的学習目標 (GIO)

2年生で学んだ歯科理工学の知識を深めるために、その作製法や使用法についての知識を修得する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

中畠 裕, 宮崎 隆,
米山隆之: 編集幹事

スタンダード歯科理工学
—生体材料と歯科材料—

第8版

学建書院

担当者一覧

新谷明一, 石田祥己, 三浦大輔, 青柳有祐, 高橋英和, 半田威徳, 小峰 太

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [60%] ☒ 論述試験 [30%] ☐ 口頭試験 [—%] ☐ レポート [—%]
☐ ポートフォリオ [—%] ☐ シミュレーションテスト [—%] ☐ 実地試験 [—%] ☐ 観察記録 [—%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☒ その他 (プレ・ポストテスト [10%])

オフィスアワー

日時: 毎週 火曜日 12:10~13:00

場所: 本館4階 歯科理工学講座実習室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月10日	小峰 太	ユニット1: 接着技術	1) 歯質被着面処理を説明する。(D-2-③) 2) セラミックス被着面処理を説明する。(D-2-③) 3) 金属被着面処理を説明する。(D-2-③)
4月17日	新谷 明一	ユニット2: 合着・接着用材料Ⅰ	1) 歯科用セメントを分類する。(D-2-③) 2) グラスアイオノマーセメントの組成, 硬化機構, 性質を説明する。(D-2-③) 3) ポリカルボキシレートセメントの組成, 硬化機構, 性質を説明する。(D-2-③) 4) レジン系セメントの組成, 硬化機構, 性質を説明する。(D-2-③)
4月24日	新谷 明一	ユニット3: 合着・接着用材料Ⅱ	1) リン酸亜鉛セメントの組成, 硬化機構, 性質を説明する。(D-2-③) 2) 酸化亜鉛ユージオールセメントおよびEBAセメントの組成, 性質を説明する。(D-2-③) 3) 粉液比, 硬化時間, 強さ, 被膜厚さ, 溶解性と崩壊性, pH, 寸法変化, 生物学的性質, 被着面処理について説明する。(D-2-③)
5月8日	石田 祥己	ユニット4: 陶材Ⅰ	1) 陶材の組成および物性を説明する。(D-2-②) 2) 陶材の焼付機構を説明する。(D-2-②) 3) 陶材の焼成法について説明する。(D-2-②) 4) 陶材の強化法を列記する。(D-2-②)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月15日	石田 祥己	ユニット5：陶材Ⅱ	1) 陶材焼付鑄造冠の特徴を説明する。(D-2-②) 2) 陶材焼付鑄造冠の製法を説明する。(D-2-②) 3) 陶材と金属の焼付機構について説明する。(D-2-②) 4) 全部陶材冠の種類を列記する。(D-2-②) 5) 全部陶材冠の作製法を説明する。(D-2-②) 6) 陶材焼付用合金焼付処理について説明する。(D-2-②) 7) ファインセラミックスの種類を列記する。(D-2-②) 8) セラミックスの強度と組成の関係を説明する。(D-2-②)
5月22日	青柳 有祐	ユニット6：ろう付け	1) ろう付け用合金の所要性質を列記する。(D-2-②) 2) ろう付け用合金の種類を列記する。(D-2-②) 3) ろう付け法の概要を説明する。(D-2-②) 4) 溶接について説明する。(D-2-②) 5) 鋳接について説明する。(D-2-②)
5月29日	三浦 大輔	ユニット7：切削，研削，研磨，腐食	1) 研削，研磨材の種類と使用法を列記する。(D-1-③) 2) 研磨の能率を説明する。(D-1-③) 3) 電解研磨を説明する。(D-1-③) 4) 腐食を説明する。(D-1-③) 5) 切削，研磨に用いる機器とその特徴を説明する。(D-1-③)
6月5日	三浦 大輔	ユニット8：歯内・歯周・矯正用材料	1) 仮封材の種類，性質を列挙する。(D-2-③) 2) 裏層材の種類を説明する。(D-2-⑥) 3) 根管充填材の種類，ポイント，シーラーを記述する。(D-2-⑥) 4) ポスト材の種類を列記する。(D-2-⑥) 5) 矯正治療用装置を分類する。(D-2-④)
6月12日	青柳 有祐	ユニット9：インプラント材料	1) 歯科インプラントの変遷を説明する。(D-2-⑤) 2) 人工歯根の種類，所要性質を列挙する。(D-2-⑤) 3) 骨補填材料の種類，所要性質を列挙する。(D-2-⑤) 4) GTR，GBR，細胞遮断膜を説明する。(D-2-⑤)
6月19日	半田 威徳	ユニット10：CAD/CAM用器材	1) コンピューター応用機器を説明する。(D-1-③) 2) CAD/CAMの手技，工程を説明する。(D-1-③) 3) CAD/CAM用いた歯科診療の説明する。(D-1-③)
6月26日	高橋 英和	ユニット11：CAD/CAM用材料	1) 除去加工で用いられる材料を説明する。(D-1-③) 2) 付加製造の種類を列記する。(D-1-③) 3) 付加製造で用いられる材料を説明する。(D-1-③)
7月3日	青柳 有祐	ユニット12：歯科用機器・器具	1) エアタービン，エアモーター，マイクロモーターの構造と特性を説明する。(D-1-③) 2) レーザーの分類と歯科用途を説明する。(D-1-③) 3) 超音波，バレル，サンドブラスト，レーズを説明する。(D-1-③)
7月10日	新谷 明一	ユニット13：問題演習および解説	1) 小テストによりユニット1～12の理解度を認識する。(D-1-③)

歯科理工学実習

木曜日 14:50~18:00

本学期的学習目標 (GIO)

材料に関する知識を有機的に結びつけて理解するために、歯科理工学の講義で履修した知識をもとに、材料の使用法を修得する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

大熊一夫・新谷明一

新版歯科理工学実習指針

第2版

医歯薬出版

担当者一覧

新谷明一, 堀田康弘, 石田祥己, 三浦大輔, 丸田久美子, 須田勇己, 高木邦明, 長谷川有紀, 青柳有祐, 原田唯生, 渡邊 慧, 高橋英和, 長谷英明, 海渡智義, 半田威徳, 原 新子

学習方略

☐ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☒ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☐ 客観試験 [一%] ☐ 論述試験 [一%] ☐ 口頭試験 [一%] ☒ レポート [50%]
☐ ポートフォリオ [一%] ☐ シミュレーションテスト [一%] ☐ 実地試験 [一%] ☒ 観察記録 [40%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☒ その他 (小テスト [10%])

オフィスアワー

日時: 毎週 金曜日 12:10~13:00

場所: 本館4階 歯科理工学講座実習室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月10日	新谷 明一	ユニット1: 石膏の硬化膨張と硬化時間	1) 条件を変えて石膏を練和する。(D-1-①) 2) 硬化膨張, 硬化時間を測定する。(D-1-①) 3) 硬化膨張に影響する因子を列記する。(D-1-①) 4) 硬化時間に影響する因子を列記する。(D-1-①)
4月17日	新谷 明一	ユニット2: 印象材の弾性ひずみと永久ひずみ	1) 各種弾性印象材を操作する。(D-1-①) 2) 弾性ひずみ, 永久ひずみを測定する。(D-1-①) 3) 測定データから弾性印象材の優劣を比較する。(D-1-①)
4月24日	新谷 明一	ユニット3: 連合印象による模型の寸法精度	1) 連合印象による印象採得を実施する。(D-1-①) 2) 連合印象による石膏模型の寸法精度を測定する。(D-1-①) 3) 連合印象の種類による寸法精度を比較する。(D-1-①)
5月8日	石田 祥己	ユニット4: 加熱重合レジンの粉・液反応時間	1) 粉・液の反応時間を測定する。(D-2-②) 2) レジン混和時の温度の影響を調べる。(D-2-②) 3) 粉・液反応時間に影響する因子を列挙する。(D-2-②)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月15日	石田 祥己	ユニット5：加熱重合レジン重合時の温度上昇と気泡の発生状態の観察	1) 加熱重合レジンの温度上昇を測定する。(D-2-②) 2) 加熱重合レジンの気泡の発生状態を観察する。(D-2-②) 3) 内部気泡の発生原因と対策を説明する。(D-2-②)
5月22日	三浦 大輔	ユニット6：フルクラウンタイプ・ワックスパターンの変形	1) フルクラウンタイプのワックスパターンを作製する。(D-2-②) 2) 条件を変えたときのワックスパターンの変形を測定する。(D-2-②) 3) ワックスパターンの変形が起こる理由を列挙する。(D-2-②) 4) ワックスの種類と特徴を説明する。(D-2-②)
5月29日	三浦 大輔	ユニット7：埋没材の硬化膨張・没材の加熱膨張	1) 埋没材の取扱法を習熟する。(D-2-②) 2) 埋没材の硬化膨張，熱膨張を測定する。(D-2-②) 3) 硬化膨張に影響する因子を列挙する。(D-2-②) 4) 熱膨張に影響する因子を列挙する。(D-2-②)
6月5日	三浦 大輔	ユニット8：クラウンの寸法精度	1) クラウンを鋳造する。(D-2-②) 2) 鋳造体の寸法精度を測定する。(D-2-②) 3) 鋳造体を研磨する。(D-2-②) 4) 鋳造収縮の補償法を説明する。(D-2-②)
6月12日	石田 祥己	ユニット9：成形修復材の圧縮強さと間接引張強さ	1) 成形修復材の操作に習熟する。(D-2-①) 2) 成形修復材の試料を作製する。(D-2-①) 3) 成形修復材の取扱法を列挙する。(D-2-①) 4) 成形修復材の特徴を述べる。(D-2-①) 5) 成形修復材の圧縮強さと間接引張強さを測定する。(D-2-①) 6) 成形修復材の強さを比較する。(D-2-①) 7) 成形修復材の優劣を討議する。(D-2-①)
6月19日	石田 祥己	ユニット10：成形修復材の圧縮強さと間接引張強さ	1) 成形修復材の圧縮強さと間接引張強さを測定する。(D-2-①) 2) 成形修復材の強さを比較する。(D-2-①) 3) 成形修復材の優劣を討議する。(D-2-①)
6月26日	三浦 大輔	ユニット11：合着用セメントの操作と歯質接着の手順	1) 合着用セメントの練和法および基本的な取扱法を習熟する。(D-2-③) 2) 歯質のエッチング処理と被着面処理の操作を行う。(D-2-③) 3) 形成修復材の操作法に習熟し，歯質面に接着する。(D-2-③) 4) 材料の被着面処理と接着を行う。(D-2-③)
7月3日	堀田 康弘	ユニット12：歯質との接着	1) 歯質とコンポジットレジンおよびグラスアイオノマーセメントの接着強さを測定する。(D-2-③)
7月10日	堀田 康弘	ユニット13：修復材との接着	1) 歯冠修復材と接着性レジンセメントの接着強さを測定する。(D-2-③)

本学期的学習目標 (GIO)

歯科臨床における薬物療法の基本概念ならびにその応用と実際面についての知識を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
筒井健夫 著	歯科薬物療法学	第8版	一世出版
戸荏彰史, 他編	現代歯科薬理学	第7版	医歯薬出版

担当者一覧

筒井健夫, 神 唯, 鳥居大祐

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [60%] ☒ 論述試験 [30%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☒ その他 (中間試験 [10%])
 ※ 定期試験と中間試験はともに前年度における学習内容を含む
 ※ 定期試験は中間試験の出題範囲を含む

オフィスアワー

日時: 毎週金曜日 16:30~17:30
 場所: 本館5階 薬理学研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月4日	筒井 健夫	ユニット1: 呼吸器系薬物, 循環器系薬物 (1)	1) 気管支喘息治療薬の種類を列記する。 (C-6-1)-①, (C-6-2)-①, ② 2) 高血圧治療薬について説明する。 (C-6-1)-①, (C-6-2)-①, ②
4月11日	筒井 健夫	ユニット2: 循環器系薬物 (2)	1) 心不全治療薬の作用について述べる。 (C-6-2)-①, ② 2) 不整脈治療薬について説明する。(C-6-2)-①, ② 3) 狭心症治療薬の作用について述べる。 (C-6-2)-①, ②
4月18日	筒井 健夫	ユニット3: 止血薬, 抗凝固薬, 消化器系薬物	1) 止血薬の作用機序, 薬理作用について説明する。 (C-6-2)-①, ② 2) 抗凝固薬の薬理作用について述べる。 (C-6-2)-①, ② 3) 消化性潰瘍治療薬について説明する。 (C-6-2)-①, ②
4月25日	筒井 健夫	ユニット4: 代謝系薬物 (1)	1) 糖尿病治療薬の種類を列挙する。(C-6-1)-① 2) 糖尿病治療薬の作用について述べる。 (C-6-2)-①, ② 3) 脂質異常症治療薬の種類を列挙する。(C-6-1)-① 4) 脂質異常症治療薬の作用について述べる。 (C-6-2)-①, ②
5月9日	筒井 健夫	ユニット5: 代謝系薬物 (2), ビタミン	1) 骨粗鬆症治療薬の種類を列挙する。(C-6-1)-① 2) 痛風, 高尿酸血症治療薬の作用について述べる。 (C-6-2)-①, ② 3) ビタミンの種類とその作用について説明する。 (C-6-2)-①, ②

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月16日	筒井 健夫	ユニット6：抗炎症薬	1) 抗炎症薬を列挙する。(C-6-1)-① 2) 抗炎症薬の作用を記述する。(C-6-2)-①, ② 3) 抗炎症薬の副作用を列挙する。(C-6-4)-① 4) 抗リウマチ薬, 抗アレルギー薬について述べる。(C-6-2)-①, ②
5月30日	神 唯	ユニット7：鎮痛薬	1) 麻薬性, 非麻薬性鎮痛薬の種類を列挙する。(C-6-1)-①, (C-6-2)-①, ② 2) 麻薬性, 非麻薬性鎮痛薬の薬理作用を説明する。(C-6-2)-①, ②
6月6日	神 唯	ユニット8：感染症治療薬 (1)	1) 感染症治療の歴史を述べる。(C-6-1) 2) 抗菌薬の投与と血中濃度の関係を述べる。(C-6-2)-①, ②, ③, (C-6-3)-①, ② 3) 感染症治療薬の種類を説明する。(C-6-1)-①
6月13日	神 唯	ユニット9：感染症治療薬 (2)	1) 感染症治療薬の特徴を説明する。(C-6-1)-① 2) 感染症治療薬の作用を説明する。(C-6-2)-①, ② 3) 感染症治療薬の有害事象を説明する。(C-6-4)-①, ②
6月20日	鳥居 大祐	ユニット10：歯内療法に使用する薬物, オータコイド, う蝕予防薬, 歯周病に使用する薬物	1) 歯内療法薬を列記する。(C-6-1)-①, (C-6-2)-①, ②, (C-6-3)-① 2) ヒスタミン, セロトニン, その他のオータコイドについて説明する。(C-6-2)-①, ② 3) う蝕の発症過程を説明する。(C-6-2)-①, ② 4) フッ化物によるう蝕予防法を述べる。(C-6-3)-① 5) 喫煙や生活習慣等, 歯周病の危険因子を説明する。(C-6-2)-①, ② 6) 歯周病治療薬を具体的に述べる。(C-6-2)-①, ②, (C-6-3)-①
6月27日	神 唯	ユニット11：悪性腫瘍治療薬, 中間試験	1) 悪性腫瘍治療薬を分類する。(C-6-1)-① 2) 悪性腫瘍治療薬について述べる。(C-6-2)-①, ② 3) これまでの学習内容を整理, 再確認する。
7月4日	筒井 健夫	ユニット12：全身麻酔薬, 局所麻酔薬	1) 全身麻酔薬と局所麻酔薬の種類と特徴を列記する。(C-6-1)-①, (C-6-2)-①, ②, (C-6-3)-①, ② 2) 前投薬の目的を説明する。(C-6-2)-①, ②, (C-6-3)-①, ②, (C-6-4)-① 3) 全身麻酔薬の副作用を述べる。(C-6-4)-① 4) 局所麻酔薬とpHの関係を説明する。(C-6-2)-①, ②, (C-6-3)-①, ② 5) 局所麻酔薬の合併症を述べる。(C-6-4)-①
7月11日	筒井 健夫	ユニット13：免疫抑制薬, 免疫調整薬	1) 免疫抑制薬と免疫調整薬を分類する。(C-6-1)-① 2) 免疫抑制薬と免疫調整薬について述べる。(C-6-2)-①, ②
7月18日		ユニット14：授業予備日	

本学期的学習目標 (GIO)

顎・顔面・口腔領域に発症する奇形・変形を主徴とする疾患，外傷，炎症性疾患について，その原因，病態，症状，処置ならびに予後を総括的に理解する。また，各病態の主な疾患の概要を知り，臨床における診断力を身につける。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
栗田賢一 代表編集	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療	第6版	永末書店
内山健志 近藤壽郎 代表監修	標準口腔外科学	第5版	医学書院

担当者一覧

里見貴史，田中 彰，澁井武夫，宮坂孝弘，田中惇平，稲田 諒，岡村武志，小柳昌央，宮坂彩子

学習方略

☒ 講義
 ☐ 示説（デモンストレーション）
 ☐ グループワーク（PBL，TBLを含む）
 ☐ 実習
☐ その他（ ）

成績評価（比率は概算であり若干の変更が行われます）

☒ 客観試験 [75%]
 ☒ 論述試験 [15%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度（授業態度，遅刻，欠席を含む）[減点式]
 ☒ その他（中間試験 [10%]）

オフィスアワー

日時：金曜日 12:10~12:40
 場所：100周年記念館5階 口腔外科学講座

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月4日	澁井 武夫	ユニット1：顎顔面の発生と口唇・口蓋裂および類似疾患	1) 先天異常と後天異常の違いを説明する。 (C-5-1)-①②) 2) 顎顔面組織の発生学的由来を説明する。 (C-3-2)-①) 3) 口腔・顎顔面の発生を説明する。(C-3-2)-①) 4) 口唇・口蓋裂および顔面裂の発生機序と要因，発生頻度を説明する。(E-2-4)-(1)-①) 5) 口唇・口蓋裂の障害を列挙する。 (E-2-4)-(1)-①②) 6) 鼻咽腔閉鎖機能不全を説明する。 (E-2-4)-(1)-①②)
4月11日	澁井 武夫	ユニット2：口唇・口蓋裂の治療	1) 口唇・口蓋裂の治療目的を述べる。 (E-2-4)-(1)-②) 2) 口唇・口蓋裂の治療計画を説明する。 (E-2-4)-(1)-②) 3) 口唇・口蓋裂の手術法を列記する。 (E-2-4)-(1)-②) 4) 鼻咽腔閉鎖機能不全への対応を説明する。 (E-2-4)-(1)-②)
4月18日	澁井 武夫	ユニット3：顎変形症とその治療	1) 顎変形症を分類する。(E-2-4)-(1)-③) 2) 外科的矯正治療の適応を説明する。 (E-2-4)-(1)-③) 3) 顎矯正手術の種類と適応症を説明する。 (E-2-4)-(1)-③)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月25日	岡村 武志	ユニット4：炎症総論	1) 炎症の概念を説明する。(C-5-5)-①) 2) 炎症の種類を列挙する。(C-5-5)-②) 3) 炎症の経過を説明する。(C-5-5)-③) 4) 炎症の症状を説明する。(E-2-4)-(3)-②) 5) 炎症に対する治療を説明する。(E-2-4)-(3)-⑥) 6) 診断に必要な検査法を説明する。 (E-2-4)-(3)-③)
5月9日	稲田 諒	ユニット5：歯槽骨・顎骨の炎症	1) 歯性感染症を説明する。(E-2-4)-(3)-①④) 2) 智歯周囲炎を説明する。(E-2-4)-(3)-⑤⑥) 3) 歯槽骨炎を説明する。(E-2-4)-(3)-⑤⑥) 4) 顎骨骨膜炎を説明する。(E-2-4)-(3)-⑤⑥) 5) 顎骨骨髓炎を説明する。(E-2-4)-(3)-⑤⑥) 6) 顎骨壊死を起こす原因を説明する。 (E-2-4)-(3)-⑤⑥) 7) 外歯瘻・内歯瘻について説明する。 (E-2-4)-(3)-⑤⑥)
5月16日	小柳 昌央	ユニット6：上顎洞、顎骨周囲軟組織の炎症	1) 歯性上顎洞炎を説明する。(E-2-4)-(3)-⑤⑥) 2) 口腔上顎洞瘻の病態と治療法を説明する。 (E-2-4)-(2)-④) 3) 歯性扁桃周囲炎を説明する。(E-2-4)-(3)-⑤⑥) 4) 所属リンパ節の炎症について説明する。 (E-2-4)-(3)-⑤⑥) 5) 顎骨周囲軟組織の炎症について説明する。 (E-2-4)-(3)-⑤⑥)
5月30日	田中 惇平	ユニット7：特異性炎、歯性全身感染症	1) 特異性炎の種類を列挙する。(E-2-4)-(3)-⑦) 2) 特異性炎の検査法、症状を説明する。 (E-2-4)-(3)-⑦) 3) 特異性炎に対する治療法を説明する。 (E-2-4)-(3)-⑦) 4) 菌血症の病態を説明する。(E-2-4)-(3)-④) 5) 敗血症を説明する。(E-2-4)-(3)-④) 6) 歯性病巣感染の病態を説明する。 (E-2-4)-(3)-④) 7) 全身性炎症反応症候群を説明する。 (E-2-4)-(3)-④)
6月6日	澁井 武夫	ユニット8：中間試験	1) 客観問題で正答を選択する。 2) 問題解説で理解度を知り、問題解決に必要な知識を習得する。 3) 記述式問題の解答を説明する。
6月13日	宮坂 彩子	ユニット9：顎骨・軟組織の異常	1) 骨隆起を説明する。(E-2-4)-(1)-④) 2) 歯肉・口蓋の異常を説明する。(E-2-4)-(1)-④) 3) 口唇・頬部の異常を説明する。(E-2-4)-(1)-④) 4) 舌・口底・小帯の異常を説明する。 (E-2-4)-(1)-④)
6月20日	小柳 昌央	ユニット10：損傷総論、歯・軟組織の損傷	1) 損傷の種類と定義を説明する。(E-2-4)-(2)-①) 2) 創傷治癒の形式を述べる。(C-5-3)-④) 3) 一般的な骨折の種類と定義を説明する。 (E-2-4)-(2)-④) 4) 骨折の治癒過程と治療原則を述べる。 (E-2-4)-(2)-②④) 5) 軟組織損傷の種類、症状と処置法を説明する。 (E-2-4)-(2))-⑤) 6) 歯の外傷の症状と検査法、診断と治療法を説明する。 (E-2-4)-(2))-③)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
6月27日	里見 貴史	ユニット11：下顎骨骨折	1) 歯槽骨骨折の診断と症状，および治療法を説明する。(E-2-4)-(2)-(3)) 2) 下顎骨骨折の種類を列挙する。(E-2-4)-(2)-(4)) 3) 下顎骨骨折の病態と症状を説明する。(E-2-4)-(2)-(4)) 4) 下顎骨骨折の診断と治療法を説明する。(E-2-4)-(2)-(4))
7月4日	里見 貴史	ユニット12：上顎骨骨折，頬骨・頬骨弓骨折	1) 上顎骨骨折，頬骨・頬骨弓骨折を分類する。(E-2-4)-(2)-(4)) 2) 上顎骨骨折，頬骨・頬骨弓骨折の病態と症状を説明する。(E-2-4)-(2)-(4)) 3) 上顎骨骨折，頬骨・頬骨弓骨折の診断と治療法を説明する。(E-2-4)-(2)-(4))
7月11日	田中 彰	ユニット13：大規模災害時の健康危機管理	1) 災害による健康の影響を述べる。(B-2-2)-(9)) 2) 災害時における歯科保健医療支援の必要性について説明する。(B-2-2)-(9)) 3) 災害時における歯科保健医療支援の内容を説明する。(A-7-1)-(6)) 4) 災害発生から歯科保健医療支援を行う期間について述べる。(A-7-1)-(6)) 5) トリアージの概要について説明する。(A-7-1)-(6))

本学期的学習目標 (G10)

歯科硬組織修復学における総論分野を理解するために、基礎科目で履修した知識を基盤に、保存的歯科医学である修復学の概念ならびに基礎的事項を身につけ、臨床において求められる知識や施術法の基本を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
田上順次 他	保存修復学21	第6版	永末書店

担当者一覧

柵木寿男, 前野雅彦, 河本 芽, 林 孝太郎, 河合貴俊, 新田俊彦, 江黒 徹

学習方略

☒ 講義	☐ 示説(デモンストレーション)	☐ グループワーク(PBL, TBLを含む)	☐ 実習
☐ その他()			

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [80%]	☒ 論述試験 [20%]	☐ 口頭試験 [--%]	☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%]	☐ シミュレーションテスト [--%]	☐ 実地試験 [--%]	☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]		☐ その他([--%])	

オフィスアワー

日時: 毎月第1・第3火曜日 12:00~13:00
場所: 100周年記念館 6階 接着歯科学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月4日	柵木 寿男	ユニット1: 保存修復学の目的と変遷/歯の構造	1) 硬組織修復学の目的を記述する。(E-3-3-(1)-①) 2) 修復材や切削器械を列記する。(E-3-3-(1)-③) 3) 歯の構造を説明する。(E-3-1)-④) 4) 歯の物理的性状を述べる。(E-3-1)-④) 5) 歯の化学成分を記述する。(E-3-1)-④)
4月11日	河本 芽	ユニット2: 歯の疾患	1) 歯の疾患の分類・特徴を列記する。(E-3-2)-①) 2) 歯の疾患の病因を述べる。(E-3-2)-①) 3) 歯の疾患の病態を記述する。(E-3-2)-①) 4) 歯の疾患の処置を列挙する。(E-3-3-(1)-①)
4月18日	河本 芽	ユニット3: 保存修復の適応症・禁忌症と種類/患者の診かた	1) 修復の適応症と禁忌症を列記する。(E-3-3-(1)-③) 2) 修復法を分類する。(E-3-3-(1)-①) 3) 修復材料の性質とその選択基準を述べる。(E-3-3-(1)-③) 4) 処置ならびに診療のステップを説明する。(E-3-3-(1)-①) 5) 診療設備・診療姿勢を述べる。(D-1-①) 6) 歯面の表示法と歯式を説明する。(E-1-1)-①) 7) 医療面接の目的・主要事項を列挙する。(A-3-①)
4月25日	林 孝太郎	ユニット4: 歯の検査	1) 歯の検査法を類別する。(E-1-1)-⑥) 2) 検査に用いる器材・応用方法を説明する。(E-1-1)-②) 3) 検査の対象・目的を述べる。(E-1-1)-①)
5月9日	前野 雅彦	ユニット5: 齲蝕の病因と病態	1) 齲蝕の病因論・予知を述べる。(E-3-2)-①) 2) リスクファクターの改善を説明する。(B-3-2)-①) 3) 齲蝕の各種分類と特徴について説明する。(E-3-2)-①) 4) エナメル質齲蝕と象牙質齲蝕を解説する。(E-3-2)-①) 5) 急性齲蝕と慢性齲蝕を類別する。(E-3-2)-①)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SB0s)
5月16日	新田 俊彦	ユニット6：治療計画と齲蝕の処置	1) 治療計画に必要な事項を説明する。(A-3-③) 2) エナメル質齲蝕の特徴を列記する。(E-3-2)-①) 3) 象牙質齲蝕の特徴を列記する。(E-3-2)-①) 4) エナメル質齲蝕の処置について記述する。 (E-3-3-(1)-①) 5) 象牙質齲蝕の処置について記述する。 (E-3-3-(1)-①)
5月30日	柵木 寿男	ユニット7：硬組織の切削	1) 歯の切削器具・器械を分類する。(D-1-③) 2) 手用切削器具とその特徴を列記する。(D-1-③) 3) 回転切削器具とその用途を列記する。(D-1-③) 4) その他の歯質除去方法の特徴を述べる。(D-1-③) 5) 既存修復物の除去方法を説明する。(D-1-③)
6月6日	江黒 徹	ユニット8：歯科用レーザーの臨床応用	1) 歯科用レーザーを分類する。(D-1-③) 2) 歯科用レーザーを用いた歯質除去方法の特徴を述べる。(D-1-③)
6月13日	前野 雅彦	ユニット9：窩洞(1)	1) 窩洞を分類する。(E-3-3-(1)-⑥) 2) 窩壁と隅角から構成される窩洞を説明する。 (E-3-3-(1)-⑥) 3) 窩洞各部の名称を述べる。(E-3-3-(1)-⑥) 4) 疾患の位置・範囲と窩洞外形の関連を述べる。 (E-3-3-(1)-⑥) 5) 窩洞外形を遊離エナメル質・予防拡大・審美性など と関係づける。(E-3-3-(1)-⑥)
6月20日	前野 雅彦	ユニット10：窩洞(2)	1) 修復物脱落の因子と保持の原理を述べる。 (E-3-3-(1)-⑥) 2) 保持形態を類別する。(E-3-3-(1)-⑥) 3) 歯質と修復物のための抵抗形態を説明する。 (E-3-3-(1)-⑥) 4) 技術的要求から付与される便宜形態を述べる。 (E-3-3-(1)-⑥) 5) 窩縁形態の目的と名称を記述する。 (E-3-3-(1)-⑥) 6) 窩洞の清掃の理由を説明する。(E-3-3-(1)-⑥)
6月27日	河合 貴俊	ユニット11：歯髄傷害とその対策	1) 歯髄保護の重要性と歯髄刺激を述べる。 (E-3-3-(1)-⑤) 2) 切削傷害を類別する。(E-3-3-(1)-⑤) 3) 修復中の歯髄刺激を列挙する。(E-3-3-(1)-⑤) 4) 歯髄保護の目的・種類・術式を説明する。 (E-3-3-(1)-⑤) 5) 修復法と歯髄保護を関係づける。(E-3-3-(1)-⑤)
7月4日	河本 芽	ユニット12：修復時の留意点	1) 滅菌法と消毒法を類別する。(C-4-1)-④) 2) 感染予防対策を列挙する。(C-4-1)-④) 3) イニシャルプレパレーションを述べる。 (E-3-3-(1)-④) 4) 防湿法を具体的に述べる。(E-3-3-(1)-④) 5) 歯間分離法・歯肉排除法・隔壁法を述べる。 (E-3-3-(1)-④) 6) 歯冠・隣接面形態および修復面の性状と仕上げ研磨 を述べる。(E-3-3-(1)-⑧)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SB0s)
7 月 11 日	柵木 寿男	ユニット13：問題演習および解説	1) 歯の検査法を類別する。(E-1-1)-⑥) 2) 検査に用いる器材・応用方法・対象・目的を述べる。(E-1-1)-②) 3) 齲蝕の病因論・予知・リスクファクターの改善を説明する。(E-3-2)-①) 4) 齲蝕の分類と特徴について説明する。(E-3-2)-①) 5) 歯の切削器具・器械・特徴・用途を列記する。(D-1-③) 6) 窩洞を分類する。(E-3-3-(1)-⑥) 7) 窩洞各部の名称を述べる。(E-3-3-(1)-⑥) 8) 窩洞が具備すべき6条件を説明する。(E-3-3-(1)-⑥) 9) 修復時の歯髄傷害と歯髄保護を述べる。(E-3-3-(1)-⑤)

解剖学

金曜日 14:50~16:20

本学期的学習目標 (GIO)

人体の正常構造と機能について系統的に学び、人体の正常構造を3次元的に理解する。
人体を構成する神経の正常構造と機能を理解するとともに発生学の基礎を理解する。
臨床科目の基盤となる解剖学的基礎知識を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
前田健康 他編	口腔解剖学	第2版	医歯薬出版
阿部伸一 他編	口腔顎顔面解剖ノート	第1版	学建書院
坂井建雄 他訳	プロメテウス解剖学アトラス 口腔・頭頸部	第2版	医学書院
伊藤 隆 著	解剖学講義	第3版	南山堂
竹内修二 著	解剖トレーニングノート	第7版	医学教育出版社

担当者一覧

春原正隆, 井出吉昭, 鈴木金吾, 前田祐貴, 阿部伸一, 天野 修, 伊藤正裕, 中村雅典

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [90%] ☒ 論述試験 [10%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☐ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 毎週金曜日 16:30~18:00
場所: 本館3階 解剖学第1講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月4日	井出 吉昭	ユニット1: 頭頸部の骨	1) 頭頸部の主要な骨を説明する。(E-2-1)-②)
4月11日	春原 正隆	ユニット2: 頭頸部の内臓1	1) 口腔・咽頭・喉頭の概要を説明する。(E-2-2)-⑪) 2) 咽頭の筋を説明する。(E-2-2)-⑪) 3) 喉頭の筋を説明する。(E-2-2)-⑪) 4) 口蓋の筋を説明する。(E-2-2)-⑪)
4月18日	伊藤 正裕	ユニット3: 医科臨床解剖学	1) 解剖学と医科臨床との関連を説明する。(C-3-4))
4月25日	鈴木 金吾	ユニット4: 頭頸部発生学1	1) 頭頸部発生の概要を説明する。(C-3-2)-①)
5月9日	中村 雅典	ユニット5: 頭頸部発生学2	1) 鰓弓の構造とその形成器官について説明する。(C-3-2)-①) 2) 咽頭嚢の構造とその形成器官について説明する。(C-3-2)-①) 3) 顔面の発生過程について説明する。(C-3-2)-①) 4) 口蓋の発生過程について説明する。(C-3-2)-①)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月16日	阿部 伸一	ユニット6：顎関節，歯科臨床解剖学	1) 顎関節の構造を説明する。(E-2-1)-⑥) 2) 解剖学と歯科臨床との関連を説明する。(E-2-2))
5月30日	春原 正隆	ユニット7：頭頸部の脈管	1) 頭頸部の主要な動脈を説明する。(E-2-1)-④) 2) 頭頸部の主要な静脈を説明する。(E-2-1)-④) 3) 頭頸部のリンパ系を説明する。(E-2-1)-④)
6月6日	阿部 伸一	ユニット8：頭頸部の内臓2	1) 摂食・嚥下の概要を説明する。 (E-2-1)-⑧，E-2-1)-⑨) 2) 摂食・嚥下に関与する筋の名称と作用を説明する。 (E-2-1)-⑧，E-2-1)-⑨，E-2-1)-⑪) 3) 咽頭・喉頭の構造を理解する。(E-2-1)-⑪)
6月13日	天野 修	ユニット9：頭頸部の内臓3	1) 口腔の区分を説明する。(E-2-2)-①) 2) 唾液腺の形態学的特徴と支配神経を説明する。 (E-2-2)-⑤，E-2-2)-⑥) 3) 舌の形態学的特徴と支配神経を説明する。 (E-2-1)-⑪，E-2-2)-⑩) 4) 扁桃の構造と意義を説明する。(E-2-2)-⑪)
6月20日	春原 正隆	ユニット10：頭頸部の骨・筋の総括	1) 頭頸部の主要な骨を説明する。(E-2-1)-②) 2) 頭頸部の主要な筋を説明する。 (C-3-4)-(3)-③，E-2-1)-⑥)
6月27日	前田 祐貴	ユニット11：全身の解剖学総括	1) 泌尿器系・生殖器系の概要を説明する。 (C-3-4)-(10)-①，C-3-4)-(11)-①) 2) 感覚器系を説明する。 (C-3-4)-(6)-①) 3) 消化器系の概要を説明する。 (C-3-4)-(7)-①，C-3-4)-(7)-②，C-3-4)-(7)-③) 4) 呼吸器系の概要を説明する。 (C-3-4)-(8)-①，C-3-4)-(8)-②) 5) 内分泌系の概要を説明する。(C-3-4)-(9)-①) 6) 全身（頭部を除く）の骨の名称と形態学的特徴を説明する。(C-3-4)-(2)-①) 7) 全身（頭部を除く）を構成する筋の名称と形態学的特徴を説明する。(C-3-4)-(3)-③) 8) 神経系の概要を説明する。(C-3-4)-(5)-①)
7月4日	井出 吉昭	ユニット12：頭頸部の筋	1) 頭頸部の主要な筋を説明する。 (C-3-4)-(3)-③，E-2-1)-⑥)
7月11日	井出 吉昭	ユニット13：頭頸部の神経	1) 頭頸部の主要な神経を説明する。(E-2-1)-⑤)

後学期授業科目

口腔外科学	80
全部床義歯補綴学	84
歯科矯正学	86
歯科放射線学	88
歯科硬組織修復学実習	90
歯科硬組織修復学	94
歯周病学	98
歯冠補綴学	102
歯内療法学	104
小児歯科学	108
外科学	110
高齢者歯科学	114
口腔保健学	118
衛生学・口腔衛生学実習	120
内科学	122
病理学	124
病理学実習	126
(計 17科目)	

Oral Surgery	80
Complete Denture Prosthodontics	84
Orthodontics	86
Oral Radiology	88
Operative Dentistry Practice	90
Operative Dentistry	94
Periodontics	98
Crown and Bridges	102
Endodontics	104
Pediatric Dentistry	108
Surgery	110
Geriatric Dentistry	114
Oral Health	118
Oral Health Practice	120
Medicine	122
Pathology	124
Practice of Pathology	126
(計 17科目)	

令和7年度（第3学年 後学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00)	10:40)	13:10)	14:50)	16:30)
	10:30	12:10	14:40	16:20	18:00
月	口腔外科学 (里 見)	全部床義歯補綴学 (隅 田)	歯科矯正学 (新 井)	歯科放射線学 (河 合)	※
火	歯科硬組織修復学 (実習：講座代表者)		歯科硬組織修復学 (講座代表者)	歯周病学 (沼 部)	※
水	歯冠補綴学 (五 味)	歯内療法学 (講座代表者)	小児歯科学 (荏 部)	外 科 学 (櫻 井)	※
木	高齢者歯科学 (菊 谷)	口腔保健学 (田 中)	衛生学・口腔衛生学 (実習：講座代表者)		※
金	内 科 学 (谷)	病 理 学 (添 野)	病 理 学 (実習：添 野)		※

- 1) 授 業 期 間 令和 7年 9月22日(月)～令和 7年12月23日(火)
 令和 8年 1月 5日(月)～令和 8年 1月 9日(金)
 (令和 8年1月 7日(水)～令和 8年 1月 9日(金)は授業予備日)
 (令和 7年12月24日(水)～令和 8年 1月 4日(日)は冬期休業)

- 2) 講 堂 151講堂

- 3) そ の 他 ①「※」は補講，特別授業，相互学習（ピア・サポート）等。
 ②12月23日（火）は，月曜日時間割を実施する。

- 4) 年間総合単位数 50.0単位

準備学習 課題一覧

使い方

授業内容を確実に理解・修得できるよう、事前に各自で取り組んでおく課題を掲載します。各授業ユニットの受講前に確認・実施してください。単位科目の修得には、受講のみならず予習・復習を含めた十分な学習時間が必要です。

口腔外科学

月曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P127, 標準口腔外科学(第5版)P224を読む。	
ユニット2	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P130～146, 標準口腔外科学(第5版)P225～233を読む。	
ユニット3	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P140, P147～151, 標準口腔外科学(第5版)P237を読む。	
ユニット4	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P153～156, 標準口腔外科学(第5版)P243～259を読む。	
ユニット5	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P158～176, 標準口腔外科学(第5版)P261～271を読む。	
ユニット6	ユニット5と同様	
ユニット7	試験範囲 ユニット1～6を復習する。	
ユニット8	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P178～179, 188, 標準口腔外科学(第5版)P272～278を読む。	
ユニット9	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P110～115, 標準口腔外科学(第5版)P318～325を読む。	
ユニット10	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P177～178, P188～207標準口腔外科学(第5版)P279～314を読む。	
ユニット11	ユニット10と同様	
ユニット12	ユニット10と同様	
ユニット13	ユニット10と同様	

全部床義歯補綴学

月曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	無歯顎補綴治療学 180～196頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット2	無歯顎補綴治療学 180～196頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット3	無歯顎補綴治療学 197～203, 209～216頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット4	無歯顎補綴治療学 203～209頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット5	ユニット1～4の講義内容の資料と教科書を読み, 要点を確認する。	
ユニット6	無歯顎補綴治療学 216～227頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット7	無歯顎補綴治療学 216～230頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット8	無歯顎補綴治療学 172～179, 230～248頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット9	無歯顎補綴治療学 248～251頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット10	無歯顎補綴治療学 252～271頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット11	無歯顎補綴治療学 100～104, 272～282頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット12	後期の講義内容の資料と教科書を読み, 要点を確認する。	
ユニット13	後期の講義内容の資料と教科書を読み, 要点を確認する。	

歯科矯正学

月曜日 3 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.1～P.14を読み, 要点を確認する。	
ユニット2	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.15～P.65を読み, 要点を確認する。	
ユニット3	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.66～P.100を読み, 要点を確認する。	
ユニット4	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.101～P.110を読み, 要点を確認する。	
ユニット5	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.110～P.122を読み, 要点を確認する。	
ユニット6	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.123～P.135を読み, 要点を確認する。	
ユニット7	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.136～P.154を読み, 要点を確認する。	
ユニット8	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.154～P.166を読み, 要点を確認する。	
ユニット9	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.166～P.176を読み, 要点を確認する。	
ユニット10	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.182～P.189を読み, 要点を確認する。	
ユニット11	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.177～P.181を読み, 要点を確認する。	
ユニット12	ユニット1～11の内容を復習しておく。	
ユニット13	ユニット1～11の内容を復習しておく。	

歯科放射線学

月曜日 4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	教科書(歯科放射線学第7版)・第4章p163-170で講義内容の確認を行う。	
ユニット2	教科書・第4章p134-147で講義内容の確認を行う。	
ユニット3	教科書・第4章p171-184で講義内容の確認を行う。	
ユニット4	教科書・第4章p193-202で講義内容の確認を行う。	
ユニット5	教科書・第4章p160-162, p203-215で講義内容の確認を行う。	
ユニット6	教科書・第4章p185-192で講義内容の確認を行う。	
ユニット7	教科書・第4章p216-227で講義内容の確認を行う。	
ユニット8	教科書・第5章p280-312の該当項目で講義内容の確認を行う。	
ユニット9	教科書・第5章p280-312の該当項目で講義内容の確認を行う。	
ユニット10	教科書・第5章p280-312の該当項目で講義内容の確認を行う。	
ユニット11	教科書・第5章p280-312の該当項目で講義内容の確認を行う。	
ユニット12	教科書・第5章p280-312の該当項目で講義内容の確認を行う。	
ユニット13	教科書・第5章p335-352の該当項目で講義内容の確認を行う。	

歯科硬組織修復学実習

火曜日 1・2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	シラバス内容を確認する。	
ユニット2	実習書P5～24の要点を確認する。	
ユニット3	実習書P5～24の要点を確認する。	
ユニット4	実習書P138～144の要点を確認する。	
ユニット5	実習書P48～56, P144～145の要点を確認する。	
ユニット6	実習書P57～65の要点を確認する。	
ユニット7	実習書P66～70, P116～118の要点を確認する。	
ユニット8	実習書P71～83の要点を確認する。	
ユニット9	実習書P83～85の要点を確認する。	
ユニット10	実習書P88～94の要点を確認する。	
ユニット11	実習書P95～98の要点を確認する。	
ユニット12	実習書P105～108の要点を確認する。	
ユニット13	今期の総履修範囲の要点を再確認する。	

歯科硬組織修復学

火曜日 3 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	教科書P157～162の要点を確認する。	
ユニット2	教科書P162～167の要点を確認する。	
ユニット3	教科書P170～174の要点を確認する。	
ユニット4	教科書P168～170, P174～179の要点を確認する。	
ユニット5	教科書P192～194の要点を確認する。	
ユニット6	教科書P186～192の要点を確認する。	
ユニット7	教科書P180～186の要点を確認する。	
ユニット8	教科書P225～240の要点を確認する。	
ユニット9	これまでの履修範囲の要点を再確認する。	
ユニット10	教科書P209～214の要点を確認する。	
ユニット11	教科書P214～220の要点を確認する。	
ユニット12	教科書P61～67の要点を確認する。	
ユニット13	今期の総履修範囲の要点を再確認する。	

歯周病学

火曜日 4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	教科書 ザ・ペリオドントロジー第4版 第1章p1-4を予習する。	
ユニット2	教科書 ザ・ペリオドントロジー第1章p8-11を予習する。	
ユニット3	教科書 ザ・ペリオドントロジー第1章p14-19を予習する。	
ユニット4	教科書 ザ・ペリオドントロジー第1章p11-13,p19-35を予習する。	
ユニット5	教科書 ザ・ペリオドントロジー第4章p90-99を予習する。	
ユニット6	教科書 ザ・ペリオドントロジー第4章p90-99を予習する。	
ユニット7	教科書 ザ・ペリオドントロジー第2章p36-53を予習する。	
ユニット8	教科書 ザ・ペリオドントロジー第2章p36-53を予習する。	
ユニット9	教科書 ザ・ペリオドントロジー第9章p254-276を予習する。	
ユニット10	教科書 ザ・ペリオドントロジー第5章p100-103を予習する。	
ユニット11	教科書 ザ・ペリオドントロジー第4章p76-90を予習する。	
ユニット12	教科書 ザ・ペリオドントロジー第4章p76-90を予習する。	
ユニット13	教科書 ザ・ペリオドントロジー第7章p237-244を予習する。	

歯冠補綴学

水曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.19-23を予習する。	
ユニット2	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.23-27を予習する。	
ユニット3	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.27-31を予習する。	
ユニット4	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.314-326を予習する。	
ユニット5	講義資料をダウンロードし、予習する。	
ユニット6	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.83-90を予習する。	
ユニット7	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.91-98, 101を予習する。	
ユニット8	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.98-100を予習する。	
ユニット9	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.296-301を予習する。	
ユニット10	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.303-313を予習する。	
ユニット11	講義資料をダウンロードし、予習する。	
ユニット12	講義資料をダウンロードし、予習する。	
ユニット13	後期の講義内容を復習する。	

歯内療法学

水曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「歯内治療学」p.1～4を確認する。	
ユニット2	「歯内治療学」p.5～21を確認する。	
ユニット3	「歯内治療学」p.5～21, 51～84, 85～114を確認する。	
ユニット4	「歯内治療学」p.27～39, 62～67, 100～107を確認する。	
ユニット5	「歯内治療学」p.27～39, 62～67, 100～107を確認する。	
ユニット6	「歯内治療学」p.22～23を確認する。	
ユニット7	「歯内治療学」p.21～26を確認する。	
ユニット8	「歯内治療学」p.51～67を確認する。	
ユニット9	「歯内治療学」p.51～67を確認する。	
ユニット10	「歯内治療学」p.51～67を確認する。	
ユニット11	「歯内治療学」p.85～88, 145～146を確認する。	
ユニット12	「歯内治療学」p.89～96を確認する。	
ユニット13	「歯内治療学」p.96～107を確認する。	

小児歯科学

水曜日 3 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	小児歯科学第6版 第1章p.1-8 を読む。	
ユニット2	小児歯科学第6版 第2章p.5-18 を読む。	
ユニット3	小児歯科学第6版 第2章p.18-32 を読む。	
ユニット4	小児歯科学第6版 第3章p.33-44 および 第4章p.45-61を読む。	
ユニット5	小児歯科学第6版 第5章p.62-88 および 第7章p.104-115を読む。	
ユニット6	小児歯科学第6版 第6章p.89-95 を読む。	
ユニット7	小児歯科学第6版 第6章p.96-103 を読む。	
ユニット8	小児歯科学第6版 第8章p.118-124および 第10章p.143-150 を読む。	
ユニット9	小児歯科学第6版 第8章p.125-132 を読む。	
ユニット10	小児歯科学第6版 第9章p.135-142 を読む。	
ユニット11	小児歯科学第6版 第11章p.151-162 を読む。	
ユニット12	小児歯科学第6版 第7章p.115-117 および 第12章p.232-246を読む。	
ユニット13	小児歯科学第6版 第14章p.258-277を読む。	

外科学

水曜日 4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	指定図書「歯科医師のための外科学 第3版」(医歯薬出版株式会社)のシラバス該当箇所を熟読しておく。	
ユニット2	指定図書「歯科医師のための外科学 第3版」(医歯薬出版株式会社)のシラバス該当箇所を熟読しておく。	
ユニット3	指定図書「歯科医師のための外科学 第3版」(医歯薬出版株式会社)のシラバス該当箇所を熟読しておく。	
ユニット4	指定図書「歯科医師のための外科学 第3版」(医歯薬出版株式会社)のシラバス該当箇所を熟読しておく。	
ユニット5	指定図書「歯科医師のための外科学 第3版」(医歯薬出版株式会社)のシラバス該当箇所を熟読しておく。	
ユニット6	指定図書「歯科医師のための外科学 第3版」(医歯薬出版株式会社)のシラバス該当箇所を熟読しておく。	
ユニット7	指定図書「歯科医師のための外科学 第3版」(医歯薬出版株式会社)のシラバス該当箇所を熟読しておく。	
ユニット8	指定図書「歯科医師のための外科学 第3版」(医歯薬出版株式会社)のシラバス該当箇所を熟読しておく。	
ユニット9	指定図書「歯科医師のための外科学 第3版」(医歯薬出版株式会社)のシラバス該当箇所を熟読しておく。	
ユニット10	指定図書「歯科医師のための外科学 第3版」(医歯薬出版株式会社)のシラバス該当箇所を熟読しておく。	
ユニット11	指定図書「歯科医師のための外科学 第3版」(医歯薬出版株式会社)のシラバス該当箇所を熟読しておく。	
ユニット12	指定図書「歯科医師のための外科学 第3版」(医歯薬出版株式会社)のシラバス該当箇所を熟読しておく。	
ユニット13	指定図書「歯科医師のための外科学 第3版」(医歯薬出版株式会社)のシラバス該当箇所を熟読しておく。	

高齢者歯科学

木曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	よくわかる高齢者歯科学p5-7を読んで要点を確認する。	
ユニット2	老年歯科医学第2版p54-67を読んで要点を確認する。	
ユニット3	老年歯科医学第2版p215-220を読んで要点を確認する。	
ユニット4	よくわかる高齢者歯科学p128-142を読んで要点を確認する。	
ユニット5	よくわかる高齢者歯科学p81-86を読んで要点を確認する。	
ユニット6	歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学p20-36を読んで要点を確認する。	
ユニット7	歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学p124-156を読んで要点を確認する。	
ユニット8	よくわかる高齢者歯科学p195-201を読んで要点を確認する。	
ユニット9	老年歯科医学第2版p245-250を読んで要点を確認する。	
ユニット10	歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学p196-202を読んで要点を確認する。	
ユニット11	老年歯科医学第2版p167-179を読んで要点を確認する。	
ユニット12	よくわかる高齢者歯科学p160-165を読んで要点を確認する。	
ユニット13	老年歯科医学第2版p462-476を読んで要点を確認する。	

口腔保健学

木曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット2	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット3	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット4	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット5	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット6	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット7	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット8	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット9	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット10	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット11	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット12	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット13	「保健計画」について調べる。	

衛生学・口腔衛生学実習

木曜日 3・4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット2	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット3	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット4	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット5	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット6	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット7	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット8	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット9	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット10	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット11	「個人口腔保健管理」について調べる。	
ユニット12	「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット13	「歯科保健計画」について調べる。	

内科学

金曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	歯科医のための内科学 第7章の要点を確認する。	
ユニット2	歯科医のための内科学 第12章の要点を確認する。	
ユニット3	歯科医のための内科学 第10章の要点を確認する。	
ユニット4	歯科医のための内科学 第10章の要点を確認する。	
ユニット5	歯科医のための内科学 第9章の要点を確認する。	
ユニット6	歯科医のための内科学 第4章の要点を確認する。	
ユニット7	歯科医のための内科学 第8章の要点を確認する。	
ユニット8	歯科医のための内科学 第11章の要点を確認する。	
ユニット9	歯科医のための内科学 第3章の要点を確認する。	
ユニット10	歯科医のための内科学 第3章の要点を確認する。	
ユニット11	歯科医のための内科学 第3章の要点を確認する。	
ユニット12	歯科医のための内科学 第3章の要点を確認する。	
ユニット13	歯科医のための内科学 第4章G1の要点を確認する。	

病理学

金曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「新口腔病理学 第3版」p109, p272—275 p278—282, p323—330を読み, 要点を確認する。	
ユニット2	「新口腔病理学 第3版」p48—66, p229—234を読み, 要点を確認する。	
ユニット3	教科書および参考書でユニット1・2の範囲について学習する。	
ユニット4	「新口腔病理学 第3版」p96, p97, p143—155, p169—172, p212—223を読み, 要点を確認する。	
ユニット5	「新口腔病理学 第3版」p169—181, p239—251を読み, 要点を確認する。	
ユニット6	教科書および参考書でユニット4・5の範囲について学習する。	
ユニット7	「新口腔病理学 第3版」p196—211を読み, 要点を確認する。	
ユニット8	「新口腔病理学 第3版」p257—270を読み, 要点を確認する。	
ユニット9	教科書および参考書でユニット7・8の範囲について学習する。	
ユニット10	「新口腔病理学 第3版」p182—195, p276—278を読み, 要点を確認する。	
ユニット11	教科書および参考書でこれまでの範囲について学習する。	
ユニット12	教科書および参考書でこれまでの範囲について学習する。	
ユニット13	教科書および参考書でこれまでの範囲について学習する。	

病理学実習

金曜日 3・4限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	教科書および参考書で変性・壊死, 退行性変化, 炎症細胞の種類, 炎症の種類, 肉芽組織を構成する細胞, 組織損傷～治癒の過程について学習する。	
ユニット2	教科書および参考書で歯髄炎と骨髄炎について学習する。	
ユニット3	教科書および参考書でユニット1・2の範囲について学習する。	
ユニット4	教科書および参考書でエプーリス, 口腔粘膜疾患, 上皮性異形成について学習する。	
ユニット5	教科書および参考書で乳頭腫, 扁平上皮癌, 非上皮性腫瘍について学習する。	
ユニット6	教科書および参考書でユニット4・5の範囲について学習する。	
ユニット7	教科書および参考書で歯原性腫瘍について学習する。	
ユニット8	教科書および参考書で唾液腺腫瘍について学習する。	
ユニット9	教科書および参考書でユニット7・8の範囲について学習する。	
ユニット10	教科書および参考書で歯原性嚢胞, 非歯原性嚢胞について学習する。	
ユニット11	教科書および参考書でこれまでの範囲について学習する。	
ユニット12	教科書および参考書でこれまでの範囲について学習する。	
ユニット13	教科書および参考書でこれまでの範囲について学習する。	

本学期的学習目標 (GIO)

顎・顔面・口腔領域に発症する嚢胞，良性腫瘍と腫瘍類似疾患，悪性腫瘍について，その原因，病態，症状，処置ならびに予後を総括的に理解し，各病態の主な疾患の概要を知り，臨床における診断力を身につける。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

栗田賢一 代表編集	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療	第6版	永末書店
内山健志 近藤壽郎 代表監修	標準口腔外科学	第5版	医学書院

担当者一覧

里見貴史，田中 彰，澁井武夫，宮坂孝弘，田中惇平，稲田 諒，岡村武志，小柳昌央，宮坂彩子

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [75%] ☒ 論述試験 [15%] ☐ 口頭試験 [1%] ☐ レポート [1%]
☐ ポートフォリオ [1%] ☐ シミュレーションテスト [1%] ☐ 実地試験 [1%] ☐ 観察記録 [1%]
☒ 態度 (授業態度，遅刻，欠席を含む) [減点式] ☒ その他 (中間試験 [10%])

オフィスアワー

日時：月曜日 12:10~12:40

場所：100周年記念館5階 口腔外科学講座

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SB0s)
9月22日	宮坂 孝弘	ユニット1：嚢胞総論	1) 嚢胞の構造および病理像を説明する。(E-2-4)-(5)-①) 2) 嚢胞を分類する。(E-2-4)-(5)-①) 3) 嚢胞の一般的症状を具体的に述べる。(E-2-4)-(5)-②) 4) 嚢胞の診断法を列記する。(E-2-4)-(5)-②) 5) 嚢胞の治療法を説明する。(E-2-4)-(5)-②)
9月29日	岡村 武志	ユニット2：顎骨に生じる嚢胞	1) 歯根嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-②) 2) 歯周嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-②) 3) 含歯性嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-②) 4) 歯原性角化嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-②) 5) 鼻口蓋管嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-②) 6) 石灰化歯原性嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-②) 7) 腺性歯原性嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-②) 8) 術後性上顎嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-②) 9) 単純性骨嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-②) 10) 動脈瘤様骨嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-②) 11) 静止性骨空洞を説明する。(E-2-4)-(5)-②)
10月6日	小柳 昌央	ユニット3：軟組織に生じる嚢胞	1) 萌出嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-②) 2) 歯肉嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-②) 3) 粘液 (貯留) 嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-②) 4) 類皮嚢胞と類表皮嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-②) 5) 鼻歯槽嚢胞 (鼻唇嚢胞) を説明する。(E-2-4)-(5)-②) 6) 鰓嚢胞 (側頸嚢胞・リンパ上皮性嚢胞) を説明する。(E-2-4)-(5)-②) 7) 甲状舌管嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-②)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月20日	稲田 諒	ユニット4：腫瘍総論	1) 腫瘍の定義と病態を述べる。(C-5-6)-①②) 2) 腫瘍の組織発生を説明する。(C-5-6)-③④) 3) 良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明する。 (C-5-6)-⑤) 4) 腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明する。 (C-5-6)-⑥) 5) 腫瘍に対する一般的な治療法を説明する。 (E-2-4)-(6)-②)
10月27日	稲田 諒	ユニット5：歯原性良性腫瘍（1）	1) 口腔顎顔面領域の良性腫瘍を分類する。 (E-2-4)-(6)-①) 2) エナメル上皮腫の特徴と治療法を述べる。 (E-2-4)-(6)-②) 3) 石灰化上皮性歯原性腫瘍の特徴と治療法を述べる。 (E-2-4)-(6)-②) 4) 腺腫様歯原性腫瘍の特徴と治療法を述べる。 (E-2-4)-(6)-②)
11月10日	稲田 諒	ユニット6：歯原性良性腫瘍（2）	1) セメント芽細胞腫の特徴と治療法を述べる。 (E-2-4)-(6)-②) 2) 歯牙腫の特徴と治療法を述べる。 (E-2-4)-(6)-②) 3) 歯原性線維腫の特徴と治療法を述べる。 (E-2-4)-(6)-②) 4) 歯原性粘液腫の特徴と治療法を述べる。 (E-2-4)-(6)-②) 5) エナメル上皮癌の特徴と治療法を述べる。 (E-2-4)-(6)-③) 6) エナメル上皮線維腫の特徴と治療法を述べる。 (E-2-4)-(6)-②)
11月17日	澁井 武夫	ユニット7：中間試験	1) 客観問題で正答を選択する。 2) 問題解説で理解度を知り、問題解決に必要な知識を習得する。 3) 記述式問題の解答を説明する。
12月1日	岡村 武志	ユニット8：非歯原性良性腫瘍	1) 上皮性腫瘍の特徴と治療法を述べる。 (E-2-4)-(6)-②) 2) 軟部組織腫瘍の特徴と治療法を述べる。 (E-2-4)-(6)-②) 3) 骨・軟骨腫瘍の特徴と治療法を述べる。 (E-2-4)-(6)-②)
12月8日	宮坂 彩子	ユニット9：腫瘍類似疾患	1) 腫瘍類似疾患の特徴と治療法を述べる。 (E-2-4)-(6)-④)
12月15日	里見 貴史	ユニット10：悪性腫瘍（1）	1) 悪性腫瘍の臨床像を説明する。(E-2-4)-(6)-③) 2) 良性・悪性腫瘍の差異を説明する。 (E-2-4)-(6)-③) 3) TNM分類について説明する。(E-2-4)-(6)-③) 4) Stage分類について説明する。(E-2-4)-(6)-③)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
12 月 22 日	里見 貴史	ユニット11：悪性腫瘍（2）	1）扁平上皮癌の臨床像を説明する。 （E-2-4）-（6）-③） 2）扁平上皮癌のエックス線像を説明する。 （E-2-4）-（6）-③） 3）扁平上皮癌の病理像を説明する。 （E-2-4）-（6）-③） 4）扁平上皮癌の診断法を説明する。 （E-2-4）-（6）-③） 5）扁平上皮癌の治療法を説明する。 （E-2-4）-（6）-③） 6）前癌病変と前癌状態（口腔潜在的悪性疾患）を説明する。 （E-2-4）-（6）-⑤⑥）
12 月 23 日	岡村 武志	ユニット12：悪性腫瘍（3）	1）上皮性悪性腫瘍との差異について説明する。 （E-2-4）-（6）-③） 2）非上皮性悪性腫瘍の種類を列举する。 （E-2-4）-（6）-③） 3）非上皮性悪性腫瘍の病態と特徴を説明する。 （E-2-4）-（6）-③） 4）非上皮性悪性腫瘍のエックス線像・病理像・診断法・治療法・予後を説明する。 （E-2-4）-（6）-③） 5）悪性腫瘍の治療前後の患者管理について説明する。 （E-2-4）-（6）-③）
1 月 5 日	岡村 武志	ユニット13：悪性腫瘍（4）	1）各種がんを列記する。 （E-2-4）-（6）-③） 2）各がんの治療方法を説明する。 （E-2-4）-（6）-③） 3）わが国におけるがんの現状を述べる。 （E-2-4）-（6）-③）

全部床義歯補綴学

月曜日 10:40~12:10

本学期的学習目標 (GIO)

咀嚼系の形態と機能を理解するために、基礎学科で履修した知識を整理するとともに、歯科補綴学の概念および基礎的知識を修得する。また、無歯顎における形態と機能の変化に対する全部床義歯補綴の考え方を理解する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

市川哲雄・大川周治・平井敏博・細井紀雄編

無歯顎補綴治療学

第4版

医歯薬出版

担当者一覧

隅田由香, 横山正起, 上杉華子, 小見野真梨恵

学習方略

- ☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- ☒ 客観試験 [50%] ☒ 論述試験 [30%] ☐ 口頭試験 [10%] ☐ レポート [10%]
☐ ポートフォリオ [10%] ☐ シミュレーションテスト [10%] ☐ 実地試験 [10%] ☐ 観察記録 [10%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☒ その他 (中間テスト [20%])

オフィスアワー

日時: 第1, 第3月曜日 16:30~17:30

場所: 100周年記念館4階 歯科補綴学第1講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月22日	小見野真梨恵	ユニット1: 咬合器	1) 下顎運動の測定法について説明する。(E-3-4)-(2)-⑦) 2) 咬合器の使用目的を列記する。(E-3-4)-(2)-⑧) 3) 咬合器の構造を説明する。(E-3-4)-(2)-⑧) 4) 咬合器の種類とその特徴を列記する。(E-3-4)-(2)-⑧) 5) フェイスボウトランスファーの意義を述べる。(E-3-4)-(2)-⑧)
9月29日	小見野真梨恵	ユニット2: 咬合器の付着・調節	1) 咬合採得後に上下顎間関係を咬合器上に再現するための手順を具体的に述べる。(E-3-4)-(2)-⑧) 2) Christensen現象を説明する。(E-3-4)-(2)-⑧) 3) チェックバイト記録を用いた半調節性咬合器の調節法を説明する。(E-3-4)-(2)-⑧)
10月6日	上杉 華子	ユニット3: 人工歯選択	1) 前歯部人工歯の選択 (材質・大きさ・形態・色調) に対する考え方を説明する。(E-3-4)-(2)-⑨) 2) 臼歯部人工歯の選択 (材質・大きさ・咬頭傾斜) に対する考え方を説明する。(E-3-4)-(2)-⑨)
10月20日	上杉 華子	ユニット4: 前歯部人工歯の排列	1) 前歯部人工歯の排列 (被蓋度, 発音, 審美性, 歯頸線の位置・形態, スマイルライン) に対する考え方を説明する。(E-3-4)-(2)-⑪) 2) 審美性に重点がおかれる前歯部人工歯の排列方法を具体的に述べる。(E-3-4)-(2)-⑪) 3) 排列状態の確認法について述べる。(E-3-4)-(2)-⑪)
10月27日	上杉 華子	ユニット5: 中間テスト	1) 中間テストにより学習内容の理解度を評価する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11月10日	横山 正起	ユニット6：臼歯部人工歯排列①	1) 臼歯部人工歯の排列（歯槽頂間線法則，調節彎曲）に対する考え方を説明する。(E-3-4)-(2)-(10) 2) 咀嚼機能に重点がおかれる臼歯部人工歯の排列方法を具体的に述べる。(E-3-4)-(2)-(10) 3) 排列状態の確認法について述べる。(E-3-4)-(2)-(10)
11月17日	横山 正起	ユニット7：臼歯部人工歯排列②	1) Hanauの咬交理論を説明する。(E-3-4)-(2)-(10) 2) パウンドラインを説明する。(E-3-4)-(2)-(10) 3) 平衡咬合を説明する。(E-3-4)-(2)-(10) 4) 全部床義歯の咬合様式を説明する。(E-3-4)-(2)-(10) 5) 審美的形態（歯頸線・歯間乳頭・歯根豊隆・スティップリング）を説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 6) 機能的形態（床翼形態・S字状隆起・口蓋ヒダ）を説明する。(E-3-4)-(2)-(11)
12月1日	隅田 由香	ユニット8：蠟義歯試適・埋没・重合	1) 蠟義歯試適時の診査事項を列挙する。(E-3-4)-(2)-(11) 2) 審美性，咬合関係，発音，床形態の各診査事項を説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 3) 発音を評価する方法について説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 4) 埋没前の前準備について述べる。(E-3-4)-(2)-(11) 5) 各種フラスコ埋没法の違いを述べる。(E-3-4)-(2)-(11) 6) 流蠟の術式とレジン重合法（加熱重合法・流し込み法・射出成型法）を述べる。(E-3-4)-(2)-(11)
12月8日	隅田 由香	ユニット9：削合・研磨・完成	1) 選択削合，自動削合，形態修正，通路形成について，目的，意義，術式を説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 2) 研磨の目的と方法を述べる。(E-3-4)-(2)-(11)
12月15日	上杉 華子	ユニット10：装着・患者指導	1) 装着時の点検事項を列挙する。(E-3-4)-(2)-(14) 2) 装着後の床下粘膜の疼痛や維持不十分に対する処置法を述べる。(E-3-4)-(2)-(14) 3) 患者に対する術後の教育・指導法を述べる。(E-3-4)-(2)-(14) 4) 経過観察と定期診査の意義を説明する。(E-3-4)-(2)-(14) 5) 義歯破損の原因について列挙する。(E-3-4)-(2)-(14) 6) 義歯修理の方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(14)
12月22日	小見野真梨恵	ユニット11：リライン・リベース，複製義歯	1) リライン・リベースについて，その意義と方法について説明する。(E-3-4)-(2)-(14) 2) 咬合面再構成の意義と手順について説明する。(E-3-4)-(2)-(14) 3) 複製義歯による治療の特徴を理解し，製作法・利用法について説明する。(E-3-4)-(2)-(14)
12月23日	小見野真梨恵	ユニット12：後期授業まとめ	1) 後期学習内容を整理・再確認し，学習内容の習熟度を評価する。
1月5日	小見野真梨恵	ユニット13：問題演習	1) 学習内容を再確認し，問題に解答できるようにするために，今まで学んだ知識を応用する。

歯科矯正学

月曜日 13:10~14:40

本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師として適切な矯正歯科医療を提供するために必要となる歯科矯正学の基本的知識と不正咬合の診断における検査と分析法に関する知識を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
後藤滋巳 他 編	歯科矯正学	第7版	医歯薬出版
西井 康 他 著	歯科矯正学エッセンシャルテキスト	初 版	永末書店

担当者一覧

新井一仁, 土持 宇, 鈴木章弘, 栃木啓佑, 柴崎絢香, 舘 晶彦, 中村俊弘

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [80%] ☒ 論述試験 [20%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 毎週 月曜日 17:00~18:00
 場所: 100周年記念館 3階 歯科矯正学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月22日	新井 一仁	ユニット1: 歯科矯正学の歩みと定義, および矯正歯科医療の意義と目的	1) 歯科矯正学の歴史の概要を述べる。(E-4-1)-①) 2) 歯科矯正学の意義と定義を述べる。(E-4-1)-①) 3) 不正咬合による口腔機能障害を述べる。(E-4-1)-①) 4) 矯正歯科医療の流れを説明する。(E-4-1)-①) 5) 矯正歯科治療の種類を説明する。(E-4-1)-①)
9月29日	柴崎 絢香	ユニット2: 成長発育概論	1) 成長発育の概要を説明する。(E-2-3)-②) 2) 生理的年齢を説明する。(E-2-3)-②) 3) 顎顔面頭蓋の成長発育を説明する。(E-2-3)-②) 4) 歯の形成, 萌出, 交換について説明する。(E-2-3)-②) 5) 歯列弓の大きさの変化について説明する。(E-2-3)-②) 6) 口腔機能の発達について説明する。(E-2-3)-②)
10月6日	土持 宇	ユニット3: 正常咬合と不正咬合	1) 咬合の定義について説明する。(E-4-1)-①) 2) 正常咬合の概念について説明する。(E-4-1)-①) 3) 正常咬合の種類を列記する。(E-4-1)-①) 4) 不正咬合の概念について説明する。(E-4-1)-②) 5) 不正咬合の種類と分類を説明する。(E-4-1)-②)
10月20日	柴崎 絢香	ユニット4: 不正咬合の先天的原因	1) 不正咬合の原因を先天的和後天的に分類する。(E-4-1)-③) 2) 先天的原因の種類を列記する。(E-2-4)-(1)-①) 3) 先天的原因の特徴を説明する。(E-2-4)-(1)-①) 4) 先天的原因と不正咬合の関係を説明する。(E-2-4)-(1)-①)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月27日	栃木 啓佑	ユニット5：不正咬合の後天的原因と予防	1) 後天的原因の種類を列記する。(E-4-1)-③ 2) 後天的原因の特徴を説明する。(E-4-1)-③ 3) 後天的原因と不正咬合の関係を説明する。(E-4-1)-③ 4) 不正咬合の予防を説明する。(E-4-1)-③
11月10日	柴崎 絢香	ユニット6：矯正歯科治療に伴う生体反応	1) 矯正歯科治療に伴う生体反応を分類する。(E-4-1)-⑥ 2) 矯正力に伴う歯周組織の反応について説明する。(E-4-1)-⑥ 3) 顎整形力に伴う顎骨の反応について説明する。(E-4-1)-⑥ 4) 適切な矯正力について説明する。(E-4-1)-⑥ 5) 過大な矯正力による反応について説明する。(E-4-1)-⑥
11月17日	鈴木 章弘	ユニット7：診断と検査①	1) 不正咬合の診断の意義を説明する。(E-4-1)-③ 2) 医療面接と診察について説明する。(E-4-1)-③ (F-3-6)-④ 3) 形態的検査の種類を列記する。(E-4-1)-③ (F-3-6)-④ 4) 口腔模型分析について説明する。(E-4-1)-③ (F-3-6)-④ 5) セットアップモデルについて説明する。(E-4-1)-③ (F-3-6)-④
12月1日	鈴木 章弘	ユニット8：診断と検査②	1) 不正咬合の画像検査を列記する。(F-3-6)-④ 2) セファログラムの特徴を説明する。(F-3-6)-④ 3) セファログラムの計測点を説明する。(F-3-6)-④ 4) セファログラムの基準平面を説明する。(F-3-6)-④ 5) Downs法とNorthwestern法を説明する。(F-3-6)-④
12月8日	栃木 啓佑	ユニット9：診断と検査③	1) 不正咬合とセファロ分析の結果を説明する。(F-3-6)-④ 2) セファロの重ね合わせ法について説明する。(F-3-6)-④ 3) 機能検査を列記する。(F-3-6)-④
12月15日	新井 一仁	ユニット10：矯正歯科治療における抜歯	1) 不正咬合の治療における抜歯の歴史的背景について説明する。(E-4-1)-③ 2) 抜歯の意義と目的を列記する。(E-4-1)-③ 3) Tweedの三角と抜歯基準を説明する。(E-4-1)-③ 4) 連続抜去法について説明する。(E-4-1)-③
12月22日	舘 晶彦	ユニット11：治療目標・治療方針・治療計画の立案	1) 分析結果による問題リストの作成について説明する。(F-3-6)-④ 2) 治療目標の設定について説明する。(F-3-6)-④ 3) 治療計画の立案について説明する。(F-3-6)-④
12月23日	中村 俊弘	ユニット12：矯正歯科における診断の臨床	1) 不正咬合の口腔模型分析結果を評価する。(E-4-1)-③ 2) 不正咬合のセファロ分析結果を評価する。(E-4-1)-③ 3) 不正咬合の診断について説明する。(E-4-1)-③ 4) 治療目標を列記する。(E-4-1)-③ 5) 治療方針を説明する。(E-4-1)-③
1月5日	柴崎 絢香	ユニット13：診断学演習	1) 不正咬合について説明する。(F-3-6)-④ 2) 検査について説明する。(F-3-6)-④ 3) 診断について説明する。(F-3-6)-④

本学期的学習目標 (GIO)

多様化する歯科医業に対応できる歯顎顔面領域の画像診断に必要な知識を理解するために、特殊画像検査法、各種疾患の画像診断法の基礎知識を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
岡野友宏 他 編	歯科放射線学	第7版	医歯薬出版
日本歯科放射線学会 編	歯科臨床における画像診断アトラス	第2版	医歯薬出版
S. Mallya & E. W. N. Lam	White & Pharoah's Oral Radiology	8th Ed.	Mosby
有地榮一郎 他 監修	わかりやすい歯科放射線学	第3版	学建書院

担当者一覧

河合泰輔, 浅海利恵子, 神尾 崇, 永浦まどか

学習方略

☒ 講義	☐ 示説 (デモンストレーション)	☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)	☐ 実習
☐ その他 ()			

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [70%]	☒ 論述試験 [30%]	☐ 口頭試験 [--%]	☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%]	☐ シミュレーションテスト [--%]	☐ 実地試験 [--%]	☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])			

オフィスアワー

日時 : 月曜日, 17 : 00 ~ 18 : 30

場所 : 100周年記念館 3 F 歯科放射線学講座 (この他の時間は必ずアポイントを取ること)

授業日	担当者	ユニット番号 : テーマ	行動目標 (SB0s)
9月22日	永浦まどか	ユニット1 : CT	1) CT検査の方法を述べる。(E-1-2)-⑨) 2) CT検査の特徴を列記する。(E-1-2)-⑨)
9月29日	永浦まどか	ユニット2 : 歯科用コーンビームCT	1) 歯科用コーンビームCT検査の方法を述べる。(E-1-2)-⑨) 2) 歯科用コーンビームCT検査の特徴を列記する。(E-1-2)-⑨) 3) CTと歯科用コーンビームCTの特徴を比較する。(E-1-2)-⑨)
10月6日	浅海利恵子	ユニット3 : MRI	1) MRI検査の方法を説明する。(E-1-2)-⑨) 2) MRI検査の特徴を列記する。(E-1-2)-⑨) 3) MRIの各種シーケンスについて説明する。(E-1-2)-⑨) 4) MR画像の特徴を説明する。(E-1-2)-⑨)
10月20日	浅海利恵子	ユニット4 : 超音波検査	1) 超音波検査の原理を説明する。(E-1-2)-⑨) 2) 超音波検査の特徴を説明する。(E-1-2)-⑨) 3) 超音波検査の適応を説明する。(E-1-2)-⑨) 4) 超音波画像の観察法を説明する。(E-1-2)-⑨)
10月27日	浅海利恵子	ユニット5 : 造影検査, 核医学検査, IVR	1) 造影検査, 核医学検査, IVRの検査方法を述べる。(E-1-2)-⑨) 2) 造影検査, 核医学検査, IVRの特徴を列記する。(E-1-2)-⑨)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11月10日	永浦まどか	ユニット6：三次元画像観察方法の基本	1) CTの画像の特徴と観察方法を述べる。 (E-1-2)-⑨) 2) 歯科用コーンビーム CTの画像の特徴と観察方法を述べる。(E-1-2)-⑨) 3) MRIの画像の特徴と観察方法を述べる。 (E-1-2)-⑨)
11月17日	神尾 崇	ユニット7：画像検査における感染予防	1) 画像検査時の感染リスクを説明する。 (A-6-1)-⑥) 2) 画像検査時の感染予防策を説明する。 (A-6-3)-②③④)
12月1日	河合 泰輔	ユニット8：読影の基本、歯および歯周疾患の画像診断	1) 読影の必須事項・手順を述べる。 (E-1-2)-⑦⑧) 2) 典型的な疾患の画像所見を述べる。 (E-1-2)-⑦⑧, E-3-3-(1)-①, E-3-3-(2)-①, E-3-3-(3)-②) 3) 歯および歯周疾患の特徴的なエックス線像を述べる。 (E-1-2)-⑦⑧, E-3-3-(1)-①, E-3-3-(2)-①, E-3-3-(3)-②)
12月8日	河合 泰輔	ユニット9：炎症の画像診断	1) 顎骨における炎症を分類し、画像所見を述べる。 (E-2-4)-(3)-③④) 2) 顎骨周囲軟組織の炎症を分類し、画像所見を述べる。 (E-2-4)-(3)-③④)
12月15日	河合 泰輔	ユニット10：嚢胞の画像診断	1) 歯源性嚢胞を分類し、画像所見を述べる。 (E-2-4)-(5)-②) 2) 非歯源性嚢胞を分類し、画像所見を述べる。 (E-2-4)-(5)-②) 3) 嚢胞類似疾患を列挙し、画像所見を述べる。 (E-2-4)-(5)-②)
12月22日	河合 泰輔	ユニット11：歯源性腫瘍の画像診断	1) 歯源性腫瘍を分類する。(E-2-4)-(6)-②③) 2) 歯源性腫瘍の画像所見を述べる。 (E-2-4)-(6)-②③)
12月23日	河合 泰輔 *火曜	ユニット12：非歯源性腫瘍と腫瘍類似疾患の画像診断	1) 非歯源性腫瘍を分類する。(E-2-4)-(6)-②③) 2) 非歯源性腫瘍の画像所見を述べる。 (E-2-4)-(6)-②③) 3) 腫瘍類似疾患を分類する。(E-2-4)-(6)-②③) 4) 腫瘍類似疾患の画像所見を述べる。 (E-2-4)-(6)-②③)
1月5日	神尾 崇	ユニット13：悪性腫瘍の画像診断	1) 悪性腫瘍を分類する。 (E-2-4)-(6)-②③) 2) 悪性腫瘍の画像所見を述べる。 (E-2-4)-(6)-②③)

歯科硬組織修復学実習

火曜日 9:00~12:10

本学期的学習目標 (GIO)

臨床の現場で求められる基本的な修復方法を体得するために、講義から得た知識に基づき、臨床において頻用される代表的な修復に際し求められる技法・取組みについて修得する。さらに、診療参加型臨床実習において求められる医療人として必須の態度・習慣や技能を身につける。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
接着歯科学講座 編	接着歯科学講座 編	2025年度版	日本歯科大学

担当者一覧

柵木寿男, 安部美紀, 石井通勇, 石川明子, 小川信太郎, 河合貴俊, 川本沙也華, 北 大樹, 河本 芽, 神山通孝, 古賀俊平, 越田清祐, 近藤健示, 代田あづさ, 辛 美輝, 杉山征三, 高橋彬文, 多村美希, 角掛 愛, 中西生美, 中原由絵, 中村彰一郎, 滑川初枝, 新田俊彦, 野上 勇, 林 孝太郎, 原 学, 前野雅彦, 松嶋千佳, 丸山沙絵子, 丸山智重, 光安廣記, 宮本相和子, 村田卓也, 矢野賢都, 義隆伸之, 杉山怜央

学習方略

☐ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☒ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☐ 客観試験 [--%]	☐ 論述試験 [--%]	☐ 口頭試験 [--%]	☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%]	☐ シミュレーションテスト [--%]	☒ 実地試験 [80%]	☒ 観察記録 [20%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])			

オフィスアワー

日時: 毎月第1・第3火曜日 12:00~13:00
場所: 100周年記念館 6階 接着歯科学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月30日	新田 俊彦	ユニット1: 窩洞外形の設定および切削の練習	1) 代表的な窩洞の外形線を模型に記入する。(F-3-3)-① 2) 回転切削器具を用いて模型に窩洞形成を行う。(F-3-3)-①
10月7日	柵木 寿男	ユニット2: 口腔内状態の記録/メタルインレー修復 (1)	1) 視診によって患者の現症を的確に捉える。(F-2-2)-⑫ 2) 得られた所見を適切に診療録に記載する。(F-2-2)-⑫ 3) メタルインレー修復の窩洞形成に必要な器材を準備する。(F-3-3)-① 4) 本修復の2級MO窩洞外形を設定する。(F-3-3)-①
10月14日	柵木 寿男	ユニット3: メタルインレー修復 (2)	1) メタルインレー修復の窩洞形成に必要な器材を準備する。(F-3-3)-① 2) 本修復の2級MO窩洞外形を設定する。(F-3-3)-① 3) 2級窩洞の形成を行う。(F-3-3)-① 4) 窩洞に求められる要件を具現化する。(F-3-3)-①

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月21日	前野 雅彦	ユニット4：グラスアイオノマーセメント5級修復（1）	1）5級グラスアイオノマーセメント修復について平易な言葉で患者へ説明する。（F-2-1）-① 2）本修復に必要な器材を準備する。（F-3-3）-① 3）窩洞外形設定・罹患歯質の除去を行う。（F-3-3）-① 4）窩洞形成を実施する。（F-3-3）-① 5）歯面処理を経て、充填操作を実施する。（F-3-3）-①
10月28日	前野 雅彦	ユニット5-①：グラスアイオノマーセメント5級修復（2） ユニット5-②コンポジットレジン5級修復	1）5級グラスアイオノマーセメント修復の仕上げ研磨を行う。（F-3-3）-① 2）5級コンポジットレジン修復について平易な言葉で患者へ説明する。（F-2-1）-① 3）本修復に必要な器材を準備する。（F-3-3）-① 4）窩洞外形設定・罹患歯質の除去を行う。（F-3-3）-① 5）窩洞形成を実施する。（F-3-3）-① 6）隔壁法の実施を経て、セレクトィブエッチングを含む歯面処理・充填操作を実施する。（F-3-3）-① 7）仕上げ研磨を行う。（F-3-3）-①
11月4日	河本 芽	ユニット6：コンポジットレジン3級修復	1）3級コンポジットレジン修復について平易な言葉で患者へ説明する。（F-2-1）-① 2）本修復に必要な器材を準備する。（F-3-3）-① 3）窩洞外形設定・罹患歯質の除去を行う。（F-3-3）-① 4）窩洞形成を実施する。（F-3-3）-① 5）隔壁法の実施を経て、セレクトィブエッチングを含む歯面処理・充填操作を実施する。（F-3-3）-① 6）仕上げ研磨を行う。（F-3-3）-①
11月11日	河合 貴俊	ユニット7：コンポジットレジン1級修復	1）1級コンポジットレジン修復について平易な言葉で患者へ説明する。（F-2-1）-① 2）ラバーダム防湿を実施する。（F-3-1）-③ 3）本修復に必要な器材を準備する。（F-3-3）-① 4）歯面処理・充填操作を実施する。（F-3-3）-① 5）仕上げ研磨を行う。（F-3-3）-①
11月18日	原 学	ユニット8：コンポジットレジン2級修復（1）	1）2級コンポジットレジン修復について平易な言葉で患者へ説明する。（F-2-1）-① 2）本修復に必要な器材を準備する。（F-3-3）-① 3）齶蝕検知液を用いて齶蝕象牙質を識別する。（F-3-3）-① 4）齶蝕象牙質を除去する。（F-3-3）-① 5）窩洞形成を実施する。（F-3-3）-① 6）リング状マトリックスリテーナーを用いた隔壁法を実施する。（F-3-3）-①
11月25日	新田 俊彦	ユニット9：コンポジットレジン2級修復（2）	1）2級コンポジットレジン修復について平易な言葉で患者へ説明する。（F-2-1）-① 2）リング状マトリックスリテーナーを用いた隔壁法を実施する。（F-3-3）-① 3）歯面処理・充填操作を実施する。（F-3-3）-① 4）仕上げ研磨に必要な器材を準備する。（F-3-3）-① 5）仕上げ研磨を行う。（F-3-3）-①

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
12月2日	北 大樹	ユニット10：コンポジットレジンインレー修復（1）	1）コンポジットレジンインレー修復について平易な言葉で患者へ説明する。（F-2-1）-① 2）本修復の窩洞形成とレジンコーティングとに必要な器材を準備する。（F-3-3）-① 3）2級MO窩洞を形成する。（F-3-3）-① 4）歯面処理を経てレジンコーティングを実施する。（F-3-3）-①
12月9日	越田 清祐	ユニット11：コンポジットレジンインレー修復（2）	1）コンポジットレジンインレー修復について平易な言葉で患者へ説明する。（F-2-1）-① 2）本修復に向けた印象採得・咬合採得に使用する器材を準備する。（F-3-4）-⑥ 3）インレー体の作製を見据え、印象採得・咬合採得を実施する。（F-3-4）-⑥
12月16日	前野 雅彦	ユニット12：コンポジットレジンインレー修復（3）	1）コンポジットレジンインレー修復について平易な言葉で患者へ説明する。（F-2-1）-① 2）インレー体の試適・調整・研磨・合着に使用する器材を準備する。（F-3-3）-① 3）インレー体の口腔内試適を経て、調整・研磨を実施する。（F-3-3）-① 4）インレー体の合着操作を実施する。（F-3-3）-①
1月6日	柵木 寿男	ユニット13：歯科硬組織修復に際しての態度・習慣および技能の確認	1）明示された修復法に必要な器材を準備する。（F-3-3）-① 2）当該修復法について臨床的な対応を図る。（F-3-3）-①

歯科硬組織修復学

火曜日 13:10~14:40

本学期的学習目標 (GIO)

歯科硬組織疾患に対する審美性を有する直接・間接修復法による接着修復を理解するために、応用するコンポジットレジンならびにグラスアイオノマーセメントの種類・組成を整理し、各修復法の特徴、適応症・禁忌症、窩洞の特徴、修復手順などについて修得する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

田上 順次 他

保存修復学21

第6版

永末書店

担当者一覧

柵木寿男, 前野雅彦, 河本 芽, 貴美島 哲, 林 孝太郎, 越田清祐, 原 学, 小川信太郎, 村田卓也

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [80%] ☒ 論述試験 [20%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 毎月第1・第3火曜日 12:00~13:00

場所: 100周年記念館 6階 接着歯科学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月30日	小川信太郎	ユニット1: コンポジットレジン修復の特徴とその組成	1) コンポジットレジン修復を説明する。(E-3-3-(1)-①) 2) 光重合型コンポジットレジン修復の長所・短所を列記する。(E-3-3-(1)-①) 3) コンポジットレジンの組成と役割を述べる。(D-2-①)
10月7日	原 学	ユニット2: コンポジットレジンの種類と光重合型コンポジットレジンの特徴	1) コンポジットレジンを類別する。(D-2-①) 2) 修復部位・フィラー・重合方式・稠度・供給形態による分類を述べる。(D-2-①) 3) 光重合型コンポジットレジンの特徴を列記する。(D-2-①) 4) 同レジンの物理化学的性質を対比する。(D-2-①)
10月14日	前野 雅彦	ユニット3: レジン接着システム	1) レジン接着システムの基本構成を列記する。(D-2-③) 2) エッチングを説明する。(D-2-③) 3) プライミングを述べる。(D-2-③) 4) ボンディングを説明する。(D-2-③) 5) 臨床応用されているシステムを類別する。(D-2-③)
10月21日	前野 雅彦	ユニット4: 接着メカニズムと光重合用器材の特徴	1) エナメル質との接着を説明する。(D-2-③) 2) 象牙質との接着を記述する。(D-2-③) 3) 修復材料との接着を述べる。(D-2-③) 4) 歯面処理のポイントを列挙する。(D-2-③) 5) 光重合型コンポジットレジン修復に用いる器材の特徴を説明する。(D-1-①)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月28日	河本 芽	ユニット5：光重合型コンポジットレジン修復の臨床的特徴	1) 光重合型コンポジットレジン修復の臨床的特徴を列挙する。(E-3-3-(1)-①) 2) 本修復の機械的・化学的性質・接着性・耐摩耗性・色調安定性・歯髄刺激性を述べる。(D-1-②) 3) コントラクションギャップならびにホワイトマージンを説明する。(E-3-3-(1)-①)
11月4日	村田 卓也	ユニット6：光重合型コンポジットレジン修復の適応症・窩洞の特徴・前準備	1) 光重合型コンポジットレジン修復の適応症を列記する。(E-3-3-(1)-③) 2) 本修復窩洞の特徴を述べる。(E-3-3-(1)-⑥) 3) 光重合型コンポジットレジン修復に先立つ前準備を説明する。(E-3-3-(1)-④)
11月11日	越田 清祐	ユニット7：光重合型コンポジットレジン修復手順	1) 光重合型コンポジットレジン修復の窩洞形成以降の治療手順を列記する。(E-3-3-(1)-①) 2) ステップごとの留意点を説明する。(E-3-3-(1)-①) 3) 各種症例に対応する形成法を述べる。(E-3-3-(1)-⑥) 4) コンボマーを説明する。(D-2-①)
11月18日	林 孝太郎	ユニット8：コンポジットレジンインレー修復	1) コンポジットレジンインレー修復の特徴を説明する。(E-3-3-(1)-①) 2) 本修復法における窩洞の特徴を述べる。(E-3-3-(1)-⑥) 3) 本修復法の適応症・禁忌症を列記する。(E-3-3-(1)-③) 4) 本修復法の種類と材料組成を説明する。(D-2-②) 5) 本修復手順を説明する。(E-3-3-(1)-①)
11月25日	河本 芽	ユニット9：問題演習および解説	1) コントラクションギャップならびにホワイトマージンを説明する。(E-3-3-(1)-①) 2) 本修復窩洞の特徴を述べる。(E-3-3-(1)-⑥) 3) 本修復ステップごとの留意点を説明する。(E-3-3-(1)-①) 4) コンポジットレジンインレー修復の特徴を説明する。(E-3-3-(1)-①)
12月2日	貴美島 哲	ユニット10：ガラスアイオノマーセメントの組成・硬化機序・特徴	1) ガラスアイオノマーセメントの組成を列記する。(D-2-①) 2) 本セメントの組成の効用を記述する。(D-2-①) 3) 本セメントの硬化機序を説明する。(D-2-①) 4) 本セメントの特徴を述べる。(D-2-①)
12月9日	河本 芽	ユニット11：ガラスアイオノマーセメントの比較・臨床応用	1) 従来型とレジン添加型とのガラスアイオノマーセメント修復を比較する。(E-3-3-(1)-①) 2) 本修復の適応症・禁忌症を列記する。(E-3-3-(1)-③) 3) 本修復窩洞の特徴を述べる。(E-3-3-(1)-⑥) 4) 本修復の特徴を記述する。(E-3-3-(1)-①) 5) 本修復の手順を説明する。(E-3-3-(1)-①) 6) 本セメントのその他の用法を説明する。(D-2-①)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
12 月 16 日	柵木 寿男	ユニット12：高齢者の保存修復	1) 歯の疾患の分類・特徴を列記する。(E-3-2)-①) 2) 歯の疾患の病因を述べる。(E-3-2)-①) 3) 歯の疾患の病態を記述する。(E-3-2)-①) 4) 歯の疾患の処置を列挙する。(E-3-3-(1)-①) 5) 加齢による顎顔面・歯と口腔の形態的・生理的变化について述べる。(E-2-3)-④)
1 月 6 日	柵木 寿男	ユニット13：問題演習および解説	1) コンポジットレジン修復の基礎的臨床的な要件を説明する。(E-3-3-(1)-①) 2) コンポジットレジンインレー修復に関する重要事項を列挙する。(E-3-3-(1)-①) 3) グラスアイオノマーセメント修復の必修事項を述べる。(E-3-3-(1)-①) 4) 高齢者の保存修復処置の特徴を説明する。(E-3-3-(1)-①)

本学期的学習目標 (GIO)

歯周病学における全体像（総論）を理解するために、関連の知識を修得し、その要諦と基本事項を学習しながら、臨床に必要な基本術式の知識を身につける。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

沼部幸博, 齋藤 淳, 梅田 誠, 山本松男, 岩田隆紀 編

ザ・ペリオドントロジー

第4版

永末書店

沼部幸博 編

歯周病学サイドリーダー

第6版

学建書院

担当者一覧

沼部幸博, 伊藤 弘, 関野 愉, 村樫悦子, 五十嵐寛子, 倉治竜太郎, 石黒一美

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説（デモンストレーション） ☐ グループワーク（PBL, TBLを含む） ☐ 実習
☐ その他（ ）

成績評価（比率は概算であり若干の変更が行われます）

☒ 客観試験 [60%] ☒ 論述試験 [40%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度（授業態度, 遅刻, 欠席を含む）[減点式] ☐ その他（ [--%] ）

オフィスアワー

日時：金曜日 17:00~18:00
場所：100周年記念館 5階 歯周病学講座

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
9月30日	沼部 幸博	ユニット1：歯周病の概念と分類	1) 歯周病の概念について説明する。(E-3-2)-③) 2) 歯周病の原因について説明する。(E-3-2)-③) 3) 歯肉病変と歯周炎を分類する。(E-3-2)-③) 4) 歯肉病変と歯周炎の原因を説明する。(E-3-2)-③) 5) 歯周治療の目的を述べる。(E-3-2)-③)
10月7日	沼部 幸博	ユニット2：歯周組織の解剖・組織	1) 歯周組織の構成要素を列記する。(E-3-1)-⑥) 2) 歯肉の分類を述べる。(E-3-1)-⑥) 3) 歯肉上皮の分類を述べる。(E-3-1)-⑥) 4) 歯肉上皮の組織学的構造を対比する。(E-3-1)-⑥) 5) 歯肉結合組織の特徴を述べる。(E-3-1)-⑥) 6) 歯根膜の特徴を述べる。(E-3-1)-⑥) 7) 歯根膜の細胞成分と線維成分を列記する。(E-3-1)-⑥) 8) 歯根膜の機能を述べる。(E-3-1)-⑥) 9) セメント質の組織学的特徴を述べる。(E-3-1)-⑥) 10) 無細胞セメント質と細胞セメント質を対比する。(E-3-1)-⑥) 11) 固有歯槽骨と支持歯槽骨を対比する。(E-3-1)-⑥) 12) 歯周組織の加齢変化を述べる。(E-3-1)-⑥) 13) 歯周組織の発生過程を述べる。(E-3-1)-⑥)
10月14日	関野 愉	ユニット3：歯周病の細菌学	1) プラークの病因論を説明する。(E-3-2)-③) 2) 歯周病原細菌を説明する。(C-4-1)-②) 3) 歯周病原因子について細菌学的に説明する。(E-3-2)-④)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月21日	五十嵐寛子	ユニット4：歯周病の病理組織学的変化と免疫応答	1) 抗原に対する免疫応答経路を説明し、その結果生じる組織変化を記述する。(C-4-2)-①～④) 2) 臨床症状の変化との関係を述べる。(C-4-2)-③) 3) 炎症について説明する。(C-5-5)-①) 4) 組織の生化学的反応について説明する。(C-5-5)-②) 5) 臨床症状の変化との関係を述べる。(E-3-2)-③)
10月28日	伊藤 弘	ユニット5：歯周病の分類	1) 歯肉病変と歯周炎を分類する。(E-3-2)-③) 2) 歯肉病変と歯周炎の原因を説明する。(E-3-2)-③) 3) 歯周病の新分類について説明する。(E-3-2)-③)
11月4日	伊藤 弘	ユニット6：歯周病の分類と臨床所見	1) 歯肉病変の臨床所見を述べる。(E-3-2)-③) 2) 歯周炎の臨床所見を述べる。(E-3-2)-③) 3) 歯周病の診断について説明する。(E-3-2)-③)
11月11日	村樫 悦子	ユニット7：歯周病のリスクファクター(1)	1) 歯周病は多因子性疾患であることを説明する。(E-3-2)-③) 2) 歯周病のリスクファクターを列記する。(E-3-2)-③) 3) 細菌因子を述べる。(E-3-2)-③) 4) 環境因子を述べる。(E-3-2)-③)
11月18日	村樫 悦子	ユニット8：歯周病のリスクファクター(2)	1) 宿主因子を述べる。(E-3-2)-③) 2) 全身的因子を述べる。(E-3-2)-③) 3) 遺伝的リスクファクターを説明する。(E-3-2)-③) 4) 歯周病が影響を及ぼす全身疾患について列記する。(E-3-3)-(3)-①) 5) 歯周病が全身に影響を与える理由について説明する。(E-3-3)-(3)-①)
11月25日	倉治竜太郎	ユニット9：特殊な歯周病	1) 特殊な歯周病について説明する。(E-3-2)-③) 2) 特殊な歯周病を列記する。(E-3-3)-(3)-①) 3) 妊娠性歯肉炎、白血病性歯肉炎、急性ヘルペス性歯肉口内炎、剥離性歯肉炎などの特殊な歯肉病変について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 4) 歯肉線維腫症と薬物性歯肉増殖症について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 5) 侵襲性歯周炎について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 6) 遺伝疾患に随伴する歯周炎（Down症候群，Papillon-Lefèvre症候群，Chediak-Higashi症候群，Ehlers-Danlos症候群，好中球減少症，低フォスファターゼ症）について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 7) 壊死性歯周疾患について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 8) 喫煙関連歯周炎について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 9) 糖尿病関連歯周炎について説明する。(E-3-3)-(3)-①)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
12月2日	石黒 一美	ユニット10：歯周治療の流れ	1) 歯周治療の一般的な流れを説明する。 (E-3-3-(3)-②) 2) 歯周病の診断に必要な検査を列記する。 (E-3-3-(3)-②) 3) 医療面接で聴取する事項を述べる。 (E-3-3-(3)-②) 4) 口腔内視診から得られる情報を述べる。 (E-3-3-(3)-②) 5) 口腔清掃状態を調べる検査法として、O'LearyのPCRの評価法を説明する。(E-3-3-(3)-②)
12月9日	五十嵐寛子	ユニット11：歯周病の検査（1）	1) プロービングの方法と方法を説明する。 (E-3-3-(3)-②) 2) プロービングから得られる情報を列記する。 (E-3-3-(3)-②) 3) プロービングから得られる情報とその変化について理解する。(E-3-3-(3)-②) 4) 歯周炎症表面積（PISA）について説明する。 (E-3-3-(3)-②) 5) 歯槽骨の欠損形態を説明する。(E-3-3-(3)-②) 6) 歯の動揺度の評価法を説明する。(E-3-3-(3)-②) 7) 根分岐部病変の評価法として、Lindheの分類とGlickmanの分類を述べる。(E-3-3-(3)-②)
12月16日	五十嵐寛子	ユニット12：歯周病の検査（2）	1) 歯周病の診断に必要な画像検査を列挙する。 (E-3-3-(3)-②) 2) 画像検査から得られる情報を説明する。 (E-3-3-(3)-②) 3) 咬合性外傷の所見を述べる。(E-3-3-(3)-②) 4) 歯周治療で行う細菌検査、生化学的検査を列挙する。(E-3-3-(3)-②) 5) 口腔内写真の所見を述べる。(E-3-3-(3)-②) 6) 歯周組織検査から得られる情報、その変化の意味を述べる。(E-3-3-(3)-②) 7) エックス線画像の所見を述べる。(E-3-3-(3)-②)
1月6日	関野 愉	ユニット13：歯周病の疫学と指標	1) 疫学調査の目的と調査手法を説明する。 (B-4-1)-①) 2) 歯周病の疫学調査に用いられる指標について説明する。(B-4-1)-③) 3) 歯周病罹患状況について説明する。(B-4-2)-②)

歯冠補綴学

水曜日 9:00~10:30

本学期的学習目標 (GIO)

歯冠補綴学の概要を理解するために、基礎科目で履修した知識を整理し、歯科補綴臨床で求められる知識を修得する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

矢谷博文 他編

クラウンブリッジ補綴学

第6版

医歯薬出版

担当者一覧

五味治徳, 片桐慎吾, 八田みのり, 黒田聡一, 秋山仁志, 柳井智恵, 鈴木貴規

学習方略

- ☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- ☒ 客観試験 [70%] ☒ 論述試験 [30%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 毎月第1, 第3火曜日 17:30~18:30

場所: 100周年記念館4階 歯科補綴学第2講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月24日	片桐 慎吾	ユニット1: クラウン・ブリッジの咬合 (1)	1) 顎関節の特徴を指摘する。(E-2-1)-(6) 2) 下顎位の種類と意義を対比する。(E-2-1)-(6) 3) 咬頭嵌合位における咬合接触を識別する。(E-2-2)-(4) 4) 適切な咬合面形態を判断する。(E-2-4)-(11)-(1))
10月1日	片桐 慎吾	ユニット2: クラウン・ブリッジの咬合 (2)	1) 下顎の前方滑走運動時の咬合接触を説明する。(E-2-2)-(4) 2) 矢状顎路角と上顎前歯舌面形態を関係づける。(E-2-2)-(4) 3) 下顎の側方滑走運動時の咬合接触を分類する。(E-2-2)-(4) 4) 咬合と調和した咬合面形態を判断する。(E-2-4)-(11)-(1))
10月8日	片桐 慎吾	ユニット3: クラウン・ブリッジの咬合 (3)	1) 下顎の可動領域を説明する。(E-2-2)-(4) 2) 下顎運動と顎関節の運動を関係づける。(E-2-2)-(4) 3) 下顎の可動領域と下顎位を関係づける。(E-2-2)-(4) 4) 顎関節の運動と咬合接触を関係づける。(E-2-2)-(4))
10月15日	八田みのり	ユニット4: インプラントによるクラウン・ブリッジ	1) インプラントの意義を述べる。(E-3-4)-(3)-(1)) 2) インプラントの補綴治療を説明する。(E-3-4)-(3)-(3)) 3) インプラントの補綴装置を説明する。(E-3-4)-(3)-(1)) 4) インプラントの成功基準を説明する。(E-3-4)-(3)-(2))

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月22日	鈴木 貴規	ユニット5：インプラント補綴に対する材料選択と臨床術式	1) インプラント補綴の臨床術式を述べる。 (E-3-4)-(3)-(4)) 2) インプラントに使用する生体材料を述べる。 (D-2-(5)) 3) インプラント補綴の咬合理論を述べる。 (E-3-4)-(3)-(1)) 4) インプラント補綴の予後管理を説明する。 (E-3-4)-(3)-(4))
10月29日	五味 治徳	ユニット6：ブリッジの意義	1) ブリッジの種類を列記する。(E-3-4)-(1)-(2)) 2) ブリッジの構成を具体的に述べる。 (E-3-4)-(1)-(2)) 3) ブリッジの意義を列記する。(E-3-4)-(1)-(1))
11月5日	黒田 聡一	ユニット7：ブリッジの設計 (1)	1) ブリッジの設計基準を列記する。(E-3-4)-(1)-(1)) 2) ポンティックの形態を具体的に述べる。 (E-3-4)-(1)-(1)) 3) ブリッジの製作に必要な材料を列記する。 (D-2-(2))
11月12日	黒田 聡一	ユニット8：ブリッジの設計 (2)	1) ブリッジ連結部の種類を列記する。 (E-3-4)-(1)-(1)) 2) ブリッジ連結部の要件を説明する。 (E-3-4)-(1)-(1)) 3) 支台歯の負担能力について説明する。 (E-3-4)-(1)-(1))
11月19日	黒田 聡一	ユニット9：ブリッジの設計 (3)	1) ブリッジの製作に必要なろう付け法の種類について説明する。(D-2-(2)) 2) 前ろう付け法について具体的に述べる。(D-2-(2)) 3) 後ろう付け法について具体的に述べる。(D-2-(2))
11月26日	八田みのり	ユニット10：接着ブリッジ	1) 接着ブリッジを説明する。(E-3-4)-(1)-(1)) 2) 接着ブリッジの支台歯形態を説明する。 (E-3-4)-(1)-(4)) 3) 接着理論を述べる。(E-3-4)-(1)-(1))
12月3日	柳井 智恵	ユニット11：顎顔面補綴と外科	1) 顎顔面補綴の意義を述べる。(E-2-4)-(11)-(1)) 2) 顎顔面補綴の種類を列記する。(E-2-4)-(11)-(1)) 3) 顎顔面インプラント治療について述べる。 (E-3-4)-(3)-(1)) 4) 骨移植による顎顔面外科再建を説明する。 (E-2-4)-(11)-(1)) 5) 仮骨延長法による顎顔面外科再建を説明する。 (E-2-4)-(11)-(1))
12月10日	秋山 仁志	ユニット12：義歯とクラウン・ブリッジの臨床	1) 義歯とクラウンの設計を述べる。(E-3-4)-(1)-(1)) 2) 鉤歯となるクラウンの選択基準を述べる。 (E-1-1)-(1)) 3) 部分床義歯とブリッジの違いを対比する。 (E-3-4)-(1)-(1)) 4) 長期観察の重要性を説明する。(E-3-4)-(1)-(1))
12月17日	五味 治徳	ユニット13：問題演習および解説	1) 問題演習により学習内容の習熟度を評価する。

歯内療法学

水曜日 10:40~12:10

本学期的学習目標 (GIO)

歯髄疾患および根尖性歯周疾患の病態、治療方針を理解するために、基礎学科で履修した内容を整理し、各疾患の種類・病因・病態、検査法、診断法などについて修得する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

勝海一郎, 興地隆史, 石井信之, 中田和彦 編	歯内治療学	第5版	医歯薬出版
興地隆史, 石井信之, 北村知昭, 林美加子 編集主幹	エンドドンティクス	第6版	永末書店
中原 泉, 藤井一維 編集代表	常用歯科辞典	第4版	医歯薬出版

担当者一覧

前田宗宏, 西田太郎, 関谷美貴, 三枝慶祐

学習方略

☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [60%]
 ☒ 論述試験 [40%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☐ レポート [--%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
 ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 毎週水曜日 12:10~13:10

場所: 100周年記念館4階 歯科保存学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月24日	前田 宗宏	ユニット1: 歯内療法学概論	1) 歯内療法の意義・目的を説明する。(E-3-2)-(2)) 2) 歯内療法学の歴史的経緯を説明する。(E-3-2)-(2)) 3) 歯内療法が対象となる疾患の概念を説明する。(E-3-2)-(2)) 4) 歯内療法における治療法の概念を説明する。(E-3-2)-(2))
10月1日	関谷 美貴	ユニット2: 歯内療法学総論 (1)	1) 歯や歯髄腔の形態, 根管の数を説明する。(E-3-1)-(2)) 2) 歯髄の構造と機能, 特殊性を説明する。(E-3-1)-(5)) 3) 根尖歯周組織の構造と機能を説明する。(E-3-1)-(6)) 4) 歯と歯髄の形成, 加齢現象を説明する。(E-3-1)-(1)) 5) 歯の形成不全や形態異常を説明する。(E-3-1)-(3))
10月8日	関谷 美貴	ユニット3: 歯内療法学総論 (2)	1) 歯と歯髄, 根尖歯周組織の主要症候を説明する。(E-3-3-(2)-(1)) 2) 歯と歯髄, 根尖歯周組織の検査法を説明する。(E-3-3-(2)-(1)) 3) 歯の硬組織疾患の治療方針を列記する。(E-3-3-(1)-(1)) 4) 歯髄疾患の治療方針を列記する。(E-3-3-(2)-(1)) 5) 根尖歯周組織疾患の治療方針を列記する。(E-3-3-(2)-(1))

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月15日	西田 太郎	ユニット4：歯髄・根尖性歯周疾患の診 査診断（1）	1）歯髄の診査法を列記する。（E-1-1）-①） 2）歯髄の各種診査法について説明する。（E-1-1）-④） 3）根尖性歯周疾患の診査法を列記する。（E-1-1）-①） 4）根尖病変に類似した解剖学的構造物，歯内類似病 変を説明する。（E-3-2）-②） 5）根尖性歯周疾患の各種診査法について説明する。 （E-1-1）-④）
10月22日	西田 太郎	ユニット5：歯髄・根尖性歯周疾患の診 査診断（2）	1）鑑別診断について説明する。（E-3-3-（2）-①） 2）歯痛錯誤について説明する。（E-3-3-（2）-①） 3）関連痛について説明する。（E-3-3-（2）-①） 4）待機的診断法について説明する。（E-3-3-（2）-①） 5）歯内療法において必要なエックス線撮影法を説明 する。（E-1-2）-⑥）
10月29日	三枝 慶祐	ユニット6：歯の硬組織疾患－齲蝕	1）齲蝕の病因・病態，好発部位を説明する。 （E-3-2）-①） 2）齲蝕の分類と特徴を説明する。（E-3-2）-①） 3）齲蝕に対する各種診査と診断法を説明する。 （E-1-1）-①） 4）健康歯質と感染歯質との違いを類別する。 （E-3-3-（1）-①） 5）齲蝕のリスクファクターを説明する。（E-3-2）-①） 6）齲蝕と咬合との関係を説明する。（E-3-2）-①） 7）齲蝕と歯髄・歯周組織との関係を説明する。 （E-3-2）-①）
11月5日	三枝 慶祐	ユニット7：歯の硬組織疾患－損耗と象 牙質知覚過敏	1）咬耗症の症状と診査・診断，治療法を説明する。 （E-3-3-（1）-①） 2）摩耗症の症状と診査・診断，治療法を説明する。 （E-3-3-（1）-①） 3）酸蝕症の症状と診査・診断，治療法を説明する。 （E-3-3-（1）-①） 4）象牙質知覚過敏症の症状と診査・診断，治療法を 説明する。（E-3-3-（1）-①）
11月12日	西田 太郎	ユニット8：歯髄疾患（1）	1）歯髄疾患の原因を列記する。（E-3-2）-②） 2）歯髄疾患の種類を列記し分類する。（E-3-2）-②）
11月19日	西田 太郎	ユニット9：歯髄疾患（2）	1）歯髄充血の所見と症状，診査・診断法を説明す る。（E-3-3-（2）-①） 2）急性単純性歯髄炎の所見と症状，診査・診断法を 説明する。（E-3-3-（2）-①） 3）急性化膿性歯髄炎の所見と症状，診査・診断法を 説明する。（E-3-3-（2）-①） 4）急性壊疽性歯髄炎の所見と症状，診査・診断法を 説明する。（E-3-3-（2）-①）
11月26日	西田 太郎	ユニット10：歯髄疾患（3）	1）慢性潰瘍性歯髄炎の所見と症状，診査・診断法を 説明する。（E-3-3-（2）-①） 2）慢性増殖性歯髄炎の所見と症状，診査・診断法を 説明する。（E-3-3-（2）-①） 3）上行性歯髄炎，特発性歯髄炎の症状と診査・診断 法を説明する。（E-3-3-（2）-①） 4）歯の内部吸収の所見と症状，診査・診断法を説明 する。（E-3-3-（2）-①） 5）歯髄変性の種類と所見，症状，診査・診断法を説 明する。（E-3-3-（2）-①） 6）歯髄壊死・壊疽の所見と症状，診査・診断法を説 明する。（E-3-3-（2）-①）

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
12月3日	三枝 慶祐	ユニット11：根尖性歯周疾患（1）	1）根尖性歯周疾患の概要を説明する。（E-3-2）-②） 2）感染根管の成因を説明する。（E-3-2）-②） 3）根管治療後経過不良の原因を列記する。（E-3-3-2）-④） 4）感染根管の病理を説明する。（E-3-2）-②） 5）感染根管の内容物を説明する。（E-3-2）-②）
12月10日	三枝 慶祐	ユニット12：根尖性歯周疾患（2）	1）根尖性歯周疾患の原因を列記する。（E-3-2）-②） 2）根尖性歯周疾患の種類を列記し分類する。（E-3-2）-②） 3）急性単純性根尖性歯周炎の所見と症状，診査・診断法を説明する。（E-3-3-（2）-①） 4）急性化膿性根尖性歯周炎の所見と症状，診査・診断法を説明する。（E-3-3-（2）-①）
12月17日	三枝 慶祐	ユニット13：根尖性歯周疾患（3）	1）慢性単純性根尖性歯周炎の所見と症状，診査・診断法を説明する。（E-3-3-（2）-①） 2）慢性化膿性根尖性歯周炎の所見と症状，診査・診断法を説明する。（E-3-3-（2）-①） 3）歯根肉芽腫の所見と症状，診査・診断法を説明する。（E-3-3-（2）-①） 4）歯根嚢胞の所見と症状，診査・診断法を説明する。（E-3-3-（2）-①）

小児歯科学

水曜日 13:10~14:40

本学期的学習目標 (GIO)

成長発達の過程にある小児の顎口腔系器官の形態と機能の成育を目的とし、それを阻害する口腔疾患の予防と治療を行うために、小児歯科診療に必要な精神発達、身体の成長、および全身と口腔の機能的な発達について理解し、さまざまな口腔疾患の予防と治療法の原則を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
白川哲夫 他編	小児歯科学	第6版	医歯薬出版

担当者一覧

荻部洋行, 河上智美, 田中聖至, 名生幸恵, 加藤雄一, 岡本亜祐子, 小口莉代, 鎌田弘明

学習方略

☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [70%]
 ☒ 論述試験 [30%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☐ レポート [--%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
 ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 木曜日 12:00~13:00
 場所: 100周年記念館3階 小児歯科学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月24日	荻部 洋行	ユニット1: 小児歯科学概論	1) 小児歯科学の目的を説明する。(B-1-①~③) 2) 小児期を分類する。(C-3-2)-③) 3) 成長・発達・発育の違いを記述する。(C-3-2)-③) 4) 各器官の発育パターンを分類する。(C-3-2)-④)
10月1日	田中 聖至	ユニット2: 小児の成長・発達の評価 (1)	1) 発育指数を説明する。(C-3-2)-④) 2) 生理的年齢を説明する。(C-3-2)-④) 3) 原始反射を列記する。(C-3-2)-③) 4) 言語の発達を説明する。(C-3-2)-④) 5) 運動機能の発達を説明する。(C-3-2)-③)
10月8日	河上 智美	ユニット3: 小児の成長・発達の評価 (2)	1) 情動の発達を説明する。(C-3-2)-④) 2) 生理的特徴を説明する。(C-3-2)-③) 3) 小児に必要な栄養を説明する。(B-1-③)
10月15日	岡本亜祐子	ユニット4: 顎顔面頭蓋の成長/口腔機能の発達	1) 脳頭蓋と顔面頭蓋の成長の関連を説明する。(E-2-1)-②) 2) 上顎骨と下顎骨の成長様式を説明する。(E-2-1)-②) 3) 吸啜から咀嚼への発達を説明する。(E-2-3)-②) 4) 発語・構音の発達を説明する。(E-2-3)-②)
10月22日	加藤 雄一	ユニット5: 乳歯と幼若永久歯の特徴/歯の形成異常	1) 乳歯・幼若永久歯の形態学的・物理的・化学的特徴を列記する。(E-3-1)-②④) 2) 歯質の萌出後成熟を説明する。(E-3-1)-④) 3) 歯の発育時期と形成障害を関連付ける。(E-3-1)-①) 4) 歯数の異常を分類する。(E-3-1)-③) 5) 歯の形態・色調・萌出の異常を列記する。(E-3-1)-③)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月29日	荻部 洋行	ユニット6：歯列と咬合の発育 乳歯列期	1) 無歯期の口腔の特徴を説明する。(E-2-3)-②) 2) 乳歯列期の歯列・咬合の発育変化を記述する。(E-2-3)-②) 3) 唇齢と咬合発育段階を関連付ける。(E-2-3)-②) 4) 生理的空隙について説明する。(E-2-3)-②) 5) ターミナルプレーンを分類する。(E-2-3)-②)
11月5日	荻部 洋行	ユニット7：歯列と咬合の発育 混合歯列期/永久歯列期	1) 第一大臼歯の咬合確立の機序を述べる。(E-3-1)-①) 2) 前歯部交換期の歯列の変化を説明する。(E-3-1)-①) 3) みにくいあひろの子の時期を説明する。(E-3-1)-①) 4) リーウェイスペースを説明する。(E-3-1)-①)
11月12日	田中 聖至	ユニット8：小児への歯科対応法 (1) / 小児の医療安全管理	1) 小児患者への歯科対応法を列記する。(E-4-2)-⑩) 2) 小児の医療上の事故などの発生要因を説明できる。(E-1-6)-①) 3) 小児の医療上の事故などに対する防止策を説明できる。(E-1-6)-①) 4) 小児歯科診療時の診療環境について説明する。(E-4-2)-⑩) 5) 歯科診療で起こる小児の情動変化を説明する。(E-4-2)-⑩)
11月19日	鎌田 弘明	ユニット9：小児への歯科対応法 (2)	1) 小児患者への歯科対応法を列記する。(E-4-2)-⑩) 2) 全身疾患のある小児患者への歯科対応法を列記する。(E-5-2)-②) 3) 不協力的小児および障害のある小児に対する対応法を選択する。(E-5-2)-②)
11月26日	岡本亜祐子	ユニット10：小児歯科における診療の進め方	1) 小児患者の医療面接法を説明する。(A-3-①～⑤) 2) 小児歯科診療に必要な診察項目を説明する。(A-4-1)-①, E-4-2)-②) 3) 小児歯科診療での診断に必要な検査項目を説明する。(A-3-③, E-4-2)-②) 4) 診療計画に関する保護者への説明法を述べる。(A-4-2)-②, E-4-2)-④)
12月3日	名生 幸恵	ユニット11：小児の齲蝕 乳歯・幼若永久歯の齲蝕の特徴	1) 乳歯・幼若永久歯齲蝕の特徴を記述する。(E-4-2)-①～②) 2) 乳歯齲蝕の罹患型を分類する。(E-4-2)-①～②) 3) 乳歯・幼若永久歯齲蝕の好発部位を記述する。(E-4-2)-①～②) 4) 齲蝕が心身の成長・発達におよぼす影響を記述する。(E-4-2)-①～②)
12月10日	名生 幸恵	ユニット12：小児の歯周組織の特徴と歯周疾患	1) 小児期の正常な歯周組織を説明する。(E-3-1)-⑥) 2) 小児期の歯周疾患の種類を列記する。(E-4-2)-⑥) 3) 小児期の歯周疾患の病因、症状、特徴、治療法および予防法を記述する。(E-3-2)-①) 4) 小児期の歯周疾患と全身疾患との関係について理解する。(E-3-2)-③)
12月17日	小口 莉代	ユニット13：小児の口腔軟組織疾患	1) 小児口腔軟組織疾患の発生部位を述べる。(E-2-4)-(4)-①) 2) 小児の軟組織疾患の原因を述べる。(E-2-4)-(4)-①) 3) 小児の軟組織疾患の処置法を説明する。(E-2-4)-(4)-②)

本学期的学習目標 (GIO)

日常診療で遭遇する医科的問題に対応ができる知識を修得するために、外科の基礎となる総論を理解する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

野本周嗣ら

歯科医師のための外科学

第3版

医師薬出版株式会社

担当者一覧

櫻井健一, 平野智寛, 鈴木周平, 小豆畑丈夫, 藤崎 滋, 山本範子, 河原弥生, 安達慶太, 窪田仁美

学習方略

- ☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- ☒ 客観試験 [80%] ☒ 論述試験 [20%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 授業終了後 各講義終了後
 場所: 第151講堂

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月24日	櫻井 健一	ユニット1: 外科学総論	1) 外科学が発展してきた要因を説明できる。(E-1-5) 2) 外科手術に用いる機器・器具を理解し, 切開縫合・止血法の基本を説明できる。(E-1-5)
10月1日	安達 慶太	ユニット2: 輸血と副作用	1) 血液製剤の種類と特徴を列記する。(E-1-6)-③ 2) 輸血に必要な検査法の種類と特徴を列記する。(E-1-6)-③ 3) 輸血の適応基準を列記する。(E-1-6)-③ 4) 輸血の副作用を列記する。(E-1-6)-③
10月8日	平野 智寛	ユニット3: 基本外科手術手技	1) 切開法の種類と特徴を列記する。(E-1-5)-④ 2) 止血法の種類と特徴を列記する。(E-1-5)-⑤ 3) 結紮法の種類と特徴を列記する。(E-1-5)-⑤ 4) 縫合法の種類と特徴を列記する。(E-1-5)-⑤ 5) 植皮法の種類と特徴を列記する。(E-1-5)-⑤ 6) 注射法の種類と特徴を列記する。(E-1-6)-② 7) 穿刺法の種類と特徴を列記する。 8) 輸液路確保の種類と特徴を列記する。(E-1-6)-② 9) 気道確保の種類と特徴を列記する。(E-1-6)-② 10) タンポナーデとドレナージの相違点を説明する。(E-1-6)-② 11) 生検法の種類と特徴を列記する。(E-1-6)-② 12) 包帯法の種類と特徴を列記する。(E-1-6)-② 13) 副子固定法の種類と特徴を列記する。(E-1-6)-②

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月15日	安達 慶太	ユニット4：腫瘍・悪性腫瘍の概念	1) 腫瘍の概念と疫学を説明する。(C-5-6)-① 2) 良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別点を列記する。(C-5-6)-⑮ 3) 悪性腫瘍の転移形式の種類と特徴を列記する。(C-5-6)-⑥ 4) 悪性腫瘍の診断に有益な腫瘍マーカーの種類と特徴を列記する。(C-5-6)-② 5) 手術療法の適応基準と種類を列記する。(E-1-5)-②
10月22日	河原 弥生	ユニット5：腫瘍・悪性腫瘍の治療	1) 放射線療法の適応基準と種類を列記する。(E-1-2)-② 7) 化学療法の適応基準と種類を列記する。(C-6-3)-① 8) ホルモン療法の適応基準と種類を列記する。(C-6-3)-① 9) 免疫療法の適応基準と種類を列記する。(C-4-2)-② 10) 遺伝子治療の適応基準と種類を列記する。(C-4-2)-② 11) quality of life (QOL), informed consent, terminal careを理解し説明する。(C-5-7)-⑳
10月29日	鈴木 周平	ユニット6：全身管理の基礎知識	1) 水・電解質バランス、血液ガス、酸塩基平衡の正常値を説明する。(E-1-5)-⑩ 2) 脱水の種類と特徴を列記する。(E-1-5)-⑩ 3) 輸液製剤の種類と特徴を列記する。(E-1-5)-⑩ 4) ショックの種類と特徴を列記する。(C-5-4)-⑥ 5) 栄養管理法の種類と特徴を列記する。(C-5-4)-⑥ 6) 正しい術前診断と手術適応基準を列記する。(C-5-4)-⑥ 7) 術後合併症の特徴と管理法を列記する。(C-5-4)-⑥
11月5日	小豆畑丈夫	ユニット7：救急医学・心肺蘇生法	1) 心肺蘇生法の定義を説明する。(E-1-6)-② 2) 観察・判断と対応を説明する。(E-1-6)-② 3) 体外式除細動器（AED）の使用法と注意点を説明する。(E-1-6)-② 4) 体位管理を説明する。(E-1-6)-② 5) 呼吸器系の蘇生法を説明する。(E-1-6)-② 6) 循環器系の蘇生法を説明する。(E-1-6)-②
11月12日	山本 範子	ユニット8：産婦人科学	1) 生殖器の解剖、機能を説明する。(C-3-4)-⑨ 2) 生殖器の構造とホルモンの種類、作用と異常を説明する。(C-3-4)-⑨ 3) 腫瘍の増殖、浸潤、転移を説明できる。(C-5-6)-⑥
11月19日	窪田 仁美	ユニット9：乳腺外科学	1) 乳腺の解剖、機能を説明する。(C-3-4)-⑨ 2) 乳腺の構造とホルモンの種類、作用と異常を説明する。(C-3-4)-⑨ 3) 腫瘍の増殖、浸潤、転移を説明する。(C-5-6)-
11月26日	鈴木 周平	ユニット10：癌治療と在宅医療	1) 在宅医療の理念を習得する。(A-5-1)-① 2) 多業職種との連携を習得する。(A-5-1)-② 3) 訪問歯科の必要性を習得する。(A-5-1)-③ 4) 介護保険サービスとの連携を習得する。(A-5-1)-④

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
12月3日	平野 智寛	ユニット11：頸部疾患・内分泌・甲状腺疾患	1) 頸部の解剖，機能を説明する。(C-3-4)-⑨ 2) 内分泌器官・組織の構造とホルモンの種類，作用と異常を説明する。(C-3-4)-⑨ 3) 腫瘍の増殖，浸潤，転移を説明する。(C-5-6)-⑥
12月10日	窪田 仁美	ユニット12：癌治療と歯科治療	1) X-P, CT, MRI, 核医学検査などの適応とその診断を正しく行うことができる。(C-3-4) 2) 腫瘍の増殖，浸潤，転移を説明できる。(C-5-6)-⑥ 3) quality of life (QOL), informed consent, terminal careを理解し説明する。(C-5-7)-⑩ 4) 癌治療中の歯科治療の必要性を説明できる。(C-6-3)-①
12月17日	藤崎 滋	ユニット13：消化器疾患・肝胆膵疾患	1) 嚥下困難を来す消化器疾患を説明する。(A-3)-② 2) 歯科異物の誤飲・誤嚥を説明する。(A-6-2)-⑥ 3) 口腔内所見で注意が必要な消化器疾患を説明する。(A-3)-② 4) 胃瘻造設の必要性を説明する。(A-3)-②

高齢者歯科学

木曜日 9:00~10:30

本学期的学習目標 (GIO)

高齢者に対する歯科における対応を理解するために、高齢者を取り巻く環境や身体、特性、心理、行動に関する事項を学習しながら、臨床で必要な知識を身につける。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
佐藤裕二、植田耕一郎、菊谷 武 編	よくわかる高齢者歯科学	第2版	永末書店
森戸光彦・山根源之・櫻井 薫・羽村 章・下山和弘・柿木保明 著編／日本老年歯科医学会 編集協力	老年歯科医学	第2版	医歯薬出版
向井美恵・山田好秋・井上 誠・弘中祥司 編著	新版 歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学	第1版	医歯薬出版
菊谷 武 監著／田村文誉、小野高裕、吉田光由 編著	歯科医師のための構音障害ガイドブック	第1版	医歯薬出版
佐藤裕二・水口俊介・櫻井 薫 編著／一般社団法人日本老年歯科医学会 監修	2020年度保険改定対応 かかりつけ歯科医のための口腔機能低下症入門	第1版	デンタルダイヤモンド社

担当者一覧

菊谷 武、児玉実穂、磯田友子、高橋賢晃、田村文誉、元開早絵、戸原 雄、西脇恵子（口腔リハビリテーション科）
筒井健夫（薬理学講座）

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説（デモンストレーション） ☐ グループワーク（PBL, TBLを含む） ☐ 実習
☐ その他（ ）

成績評価（比率は概算であり若干の変更が行われます）

☒ 客観試験 [80%] ☒ 論述試験 [20%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む） [減点式] ☐ その他（ [--%] ）

オフィスアワー

日時：毎週木曜日授業終了後 16:20~17:00
場所：教室

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
9月25日	児玉 実穂	ユニット1：高齢者の特性	1) 高齢者の特徴について説明する。(E-5-1)-①) 2) 老年症候群、フレイルについて述べる。(E-5-1)-②) 3) 高齢者の人口統計について述べる。(B-4-2)-②) 4) 高齢者の疫学について説明する。(B-4-2)-③)
10月2日	児玉 実穂	ユニット2：加齢と老化のメカニズム	1) 加齢と老化について説明する。(E-5-1)-①) 2) 身体的加齢変化を述べる。(E-5-1)-①) 3) 知的機能の加齢変化を述べる。(E-5-1)-①) 4) 加齢による顎顔面・歯と口腔の形態的・生理的变化について述べる。(E-2-3)-④) 5) 歯の喪失に伴う顎口腔系の変化を説明する。(E-2-3)-④) 6) 高齢者の咀嚼機能低下について説明する。(E-2-3)-④)
10月9日	戸原 雄	ユニット3：高齢者に特有の病態（1）	1) フレイルとサルコペニアについて説明する。(E-5-1)-③) 2) 口腔機能低下症について述べる。(E-5-1)-③) 3) 口腔機能低下症の検査法と管理方法を説明する。(E-5-1)-③) 4) 咀嚼機能検査法を列挙する。(E-5-1)-③)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月16日	磯田 友子	ユニット4：高齢者に特有な病態（2）	1) 高齢者に多い全身疾患を説明する。(E-5-1)-②) 2) 廃用症候群について説明する。(E-5-1)-②) 3) その他の疾患について説明する。(E-5-1)-②)
10月23日	田村 文誉	ユニット5：高齢者の歯科治療	1) 全身状態の評価について述べる。(E-5-1)-⑤) 2) 日常生活動作の評価について説明する。(E-5-1)-⑤) 3) QOLの評価について説明する。(E-5-1)-⑤) 4) 認知機能の評価について説明する。(E-5-1)-⑤) 5) 歯科医療における安全管理を説明する。(E-5-1)-⑤) 6) 介護技術(移乗や車椅子操作)について応用する。(E-5-1)-⑥)
10月30日	高橋 賢晃	ユニット6：摂食嚥下リハビリテーション（1）	1) 摂食嚥下に関連する解剖・生理を説明する。(E-2-1)-⑧)(E-2-1)-⑨) 2) 摂食嚥下機能のメカニズムを述べる。(E-5-1)-⑧) 3) 高齢者の摂食嚥下障害の原因を列挙する。(E-2-4)-11)-②)
11月6日	高橋 賢晃 筒井 健夫	ユニット7：摂食嚥下リハビリテーション（2）	1) 摂食嚥下機能のスクリーニング法を説明する。(E-5-1)-⑧) 2) 嚥下機能の精密検査法を説明する。(E-5-1)-⑧) 3) 誤嚥性肺炎について説明する。(E-5-1)-②) 4) 高齢者の服用薬剤と副作用について述べる。(E-5-1)-②) 5) 摂食嚥下機能に影響する薬剤について述べる。(E-2-4)-(10)-⑦)
11月13日	高橋 賢晃	ユニット8：摂食嚥下リハビリテーション（3）	1) 間接訓練（基礎的訓練）を説明する。(E-5-1)-⑨) 2) 直接訓練（摂食訓練）を説明する。(E-5-1)-⑨) 3) 摂食嚥下リハビリテーションのアプローチ法を説明する。(E-5-1)-⑨)
11月20日	西脇 恵子	ユニット9：構音機能のリハビリテーション	1) 知的機能の加齢変化を説明する。(E-5-1)-①) 2) 構音機能を述べる。(E-2-2)-⑧) 3) 構音機能のリハビリテーションを述べる。(E-2-4)-11)-③)
11月27日	戸原 雄	ユニット10：口腔内装置	1) 舌口蓋補助床（PAP）について説明する。(E-5-1)-⑨) 2) 軟口蓋挙上床（PLP）について説明する。(E-5-1)-⑨) 3) 発音補正装置を説明する。(E-5-1)-⑨) 4) その他の装置について説明する。(E-5-1)-⑨)
12月4日	元開 早絵	ユニット11：高齢者の栄養管理	1) 栄養評価の方法を説明する。(E-5-1)-⑩) 2) 咀嚼機能・嚥下障害と栄養状態の関連を述べる。(E-5-1)-⑩) 3) 高齢者の栄養管理や食形態の調整を説明できる。(E-5-1)-⑩)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
12月11日	菊谷 武	ユニット12：在宅医療，在宅支援	1) 訪問診療の概要を述べる。(E-5-1)-⑦) 2) 地域包括ケアシステムにおける歯科の役割を説明する。(A-7-1)-③) (B-2-2)-⑧) 3) 多職種連携を説明する。(G-4)-③) 4) 医科歯科連携・病診連携を説明する。(G-4)-②) 5) 医療チームの構成員と役割を列挙する。(G-4)-③) 6) 歯科訪問診療の器材を列挙する。(E-5-1)-④) (E-5-1)-⑦)
12月18日	菊谷 武	ユニット13：高齢者の医療倫理	1) 緩和ケアについて説明する。(E-5-1)-⑦) 2) ターミナルケアとホスピスについて知る。(E-5-1)-⑦) 3) 終末期医療における歯科医療の果たす役割を説明する。(E-5-1)-⑦) 4) リビングウィルとアドバンスディレクティブについて説明する。(E-5-1)-①) 5) アドバンスディレクティブとアドバンスケアプランニング（ACP）について説明する。(E-5-1)-①) 6) 高齢者虐待について述べる。(E-5-1)-⑪)

口腔保健学

木曜日 10:40~12:10

本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師法第1条が定める歯科医師最大の任務「公衆衛生の向上に寄与する歯科医師」に必須の公衆衛生を、一層深く洞察する能力修得のため、予防医学と歯科疫学の基本、そして歯科予防医学を学び、口腔健康管理のための方法論を修得する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

杉原直樹, 福田雅臣, 川戸貴行 編	口腔衛生学2024	第1版	一世出版
小松崎 明, 藤井一維, 浅沼直樹	歯学生のための健康科学	第4版	一世出版

担当者一覧

田中とも子, 一宮頼子, 佐藤勝弘, 堀江哲郎, 山下万美子, 林田尚斗, 鴨井初子, 大竹千生, 中曽根いづみ

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [60%] ☒ 論述試験 [40%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 毎週水曜 16:20~17:00
 場所: 本館5階 衛生学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月25日	山下万美子	ユニット1: 口腔保健学の概要・保健統計学概論	1) 口腔保健学の目的を説明する。(B-1-②) 2) 数量データのまとめ方を説明する。(B-4-2)-①) 3) 観察値の表現法を述べる。(B-4-2)-①) 4) 観察値の代表値を列記する。(B-4-2)-①)
10月2日	林田 尚斗	ユニット2: 保健統計学各論 (1)	1) 母集団と標本の概念を説明する。(B-4-2)-①) 2) 正規分布を説明する。(B-4-2)-①) 3) 仮説の統計的検定法を述べる。(B-4-2)-①) 4) 2群間の平均値の差の検定法を述べる。(B-4-2)-①) 5) 独立性の検定法を説明する。(B-4-2)-①)
10月9日	林田 尚斗	ユニット3: 保健統計学各論 (2)	1) 相関係数を説明する。(B-4-2)-①) 2) ノンパラメトリック検定を列記する。(B-4-2)-①) 3) 疫学の効果指標を説明する。(B-4-2)-①)
10月16日	堀江 哲郎	ユニット4: 生活環境概論 (1)	1) 水と健康との関わり合いを述べる。(B-2-4)-①) 2) 上水の水質基準を説明する。(B-2-4)-①) 3) 温熱環境による健康影響を説明する。(B-2-4)-①)
10月23日	田中とも子	ユニット5: 生活環境概論 (2)	1) 空気成分と健康障害との関連を説明する。(B-2-4)-①) 2) 放射線による生体影響について説明する。(B-2-4)-①) 3) 騒音と健康について述べる。(B-2-4)-①)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月30日	一宮 頼子	ユニット6：歯科疫学概論	1) 歯科疫学調査の考え方を説明する。(B-4-1)-③) 2) WHOの口腔診査法について説明する。(B-4-1)-③) 3) 齲蝕の診査基準と指標について述べる。(B-4-1)-③) 4) 齲蝕データを評価する。(B-4-1)-③)
11月6日	鴨井 初子	ユニット7：歯科疫学と歯・歯周組織の診査	1) 歯科疫学調査について説明する。(B-4-1)-③) 2) 口腔診査法を分類する。(B-4-1)-③) 3) 歯周疾患の診査基準と指数について述べる。(B-4-1)-③) 4) 歯口清掃状況評価法を説明する。(B-3-2)-③)
11月13日	佐藤 勝弘	ユニット8：齲蝕の予防	1) 齲蝕の発生要因を列記する。(B-3-2)-①) 2) 齲蝕の発生機序について述べる。(B-3-2)-①) 3) 齲蝕活動性試験を説明する。(B-3-2)-⑤) 4) 齲蝕予防発病論に基づく予防法を説明する。(B-3-2)-①)
11月20日	大竹 千生	ユニット9：歯口清掃法	1) 歯口清掃法を分類する。(B-3-2)-③) 2) 歯口清掃器材について説明する。(B-3-2)-③) 3) 歯磨剤について説明する。(B-3-2)-③) 4) 歯垢顕示法について述べる。(B-3-2)-③) 5) 歯口清掃状況評価法を述べる。(B-3-2)-③)
11月27日	山下万美子	ユニット10：フッ素の毒性・フッ化物による齲蝕予防	1) フッ素の急性毒性、慢性毒性について説明する。(B-3-2)-②) 2) フッ化物の齲蝕予防機序を説明する。(B-3-2)-②) 3) フッ化物の全身的・局所的応用法を説明する。(B-3-2)-②) 4) 家庭・地域・診療所でのフッ化物応用法について述べる。(B-3-2)-②)
12月4日	中曽根いずみ	ユニット11：口腔保健指導	1) 口腔保健指導の基本的考え方を説明する。(B-3-2)-②) 2) 口腔保健指導法を具体的に述べる。(B-3-2)-②)
12月11日	山下万美子	ユニット12：口腔保健学と歯科疫学の実際	1) 臨床・基礎を融合し、日常臨床の基本思想となる口腔保健学を述べる。(B-3-1)-③) 2) 自然界でのフッ素分布と人体での代謝について述べる。(B-3-2)-②) 3) 齲蝕予防にフッ化物が応用されるようになった経緯を述べる。(B-3-2)-②)
12月18日	一宮 頼子	ユニット13：保健計画	1) 保健計画策定のプロセスを説明する。(B-3-2)-⑦) 2) 保健計画策定の要素を列挙する。(B-3-2)-⑦) 3) 保健活動の展開法について述べる。(B-3-2)-⑧) 4) 保健活動の評価法について説明する。(B-3-2)-⑧) 5) 保健計画策定のためのプライマリーヘルスケア・ヘルスプロモーションの活用法を説明する。(B-3-1)-③)

衛生学・口腔衛生学実習

木曜日 13:10~16:20

本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師を始めとする医療関係者に必要な統計学の基礎知識や手技を、事例をもとに修得する。さらに、日常生活における環境因子を測定し健康との関わり合いを考察する。また口腔保健、地域歯科保健活動に必須な口腔診査法、保健指導法、齲蝕予防を目的としたフッ化物の応用法、ならびに歯科保健計画の作成法について修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
松久保 隆, 福田雅臣, 前野正夫	衛生学・口腔衛生学実習書	第1版	一世出版

担当者一覧

田中とも子, 堀江哲郎, 山下万美子, 林田尚斗, 坂口武洋, 坂口早苗, 西田良和, 小黒 章, 合地俊治, 佐藤勝弘, 一宮頼子, 松丸二郎, 加賀美毅樹, 鴨井初子, 本間篤子, 福井直人, 佐藤裕司, 岩上徳志, 中曽根いずみ, 大竹千生, 伊井久貴, 岡田実緒

学習方略

☐ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☒ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [20%]
 ☒ 論述試験 [10%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☒ レポート [60%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☒ 観察記録 [10%]
 ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 毎週水曜日 16:20~17:00
 場所: 本館5階 衛生学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月25日	堀江 哲郎	ユニット1: 保健統計 (1)	1) 比と率を説明する。(B-4-2)-① 2) 観察値を図あるいは表を類別する。(B-4-2)-① 3) 観察値から度数分布表とヒストグラムを作る。(B-4-2)-① 4) データの平均値と標準偏差を説明する。(B-4-2)-① 5) 観察値の集まりの中心を表す指標を説明する。(B-4-2)-① 6) 観察値のちらばりを表す指標を比較する。(B-4-2)-①
10月2日	田中とも子	ユニット2: 保健統計 (2)	1) 母集団と標本を説明する。(B-4-2)-④ 2) 正規分布を説明する。(B-4-2)-④ 3) 仮説の統計的検定法を説明する。(B-4-2)-④ 4) 2群間の平均値の差を検定する。(B-4-2)-④ 5) 対応のある2群間の平均値の差の検定を応用する。(B-4-2)-④ 6) χ^2 検定法を具体的に述べる。(B-4-2)-④
10月9日	田中とも子	ユニット3: 保健統計 (3)	1) 2変量の散布図を用いて回帰と相関の違いを説明する。(B-4-2)-④ 2) 相関係数を応用する。(B-4-2)-④ 3) 順位相関係数を適用する。(B-4-2)-④ 4) 相対危険と寄与危険を説明する。(B-4-2)-④
10月16日	合地 俊治	ユニット4: 環境保健 (1)	1) 水の特徴・性質を衛生学的に記述する。(B-2-4)-② 2) 各種溶液中フッ素濃度を種々の方法により測定する。(B-2-4)-② 3) 輻射熱, カタ冷却力, 感覚温度, 不快指数などの温熱指標について記述する。(B-2-4)-② 4) 環境要因によって生じる健康障害を具体的に述べる。(B-2-4)-②

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月23日	佐藤 勝弘	ユニット5：環境保健（2）	1）騒音，照度を測定する。（B-2-4）-②） 2）空气中ガスの測定に検知管を使用する。（B-2-4）-②） 3）環境要因によって生じる健康障害を具体的に述べる。（B-2-4）-②）
10月30日	一宮 頼子	ユニット6：齲蝕診査	1）齲蝕診査法を実施する。（B-4-1）-③） 2）齲蝕診査結果のデータ処理を実施する。（B-4-1）-③） 3）齲蝕診査データを評価する。（B-4-1）-③）
11月6日	鴨井 初子	ユニット7：歯周疾患・歯口清掃状況診査	1）歯周疾患診査法を実施する。（B-4-1）-③） 2）歯周疾患診査結果のデータ処理を実施する。（B-4-1）-③） 3）歯周疾患診査データを評価する。（B-4-1）-③） 4）歯口清掃状況診査を実施する。（B-3-2）-③） 5）歯口清掃状況診査結果のデータ処理を実施する。（B-3-2）-③） 6）歯口清掃状況診査データを評価する。（B-3-2）-③）
11月13日	佐藤 勝弘	ユニット8：齲蝕活動性試験	1）齲蝕活動性を説明する。（B-3-2）-⑤） 2）齲蝕リスクファクター検出法を説明する。（B-3-2）-⑤）
11月20日	大竹 千生	ユニット9：プラークコントロール	1）人工的清掃法を説明する。（B-3-2）-③） 2）各種歯口清掃法を説明する。（B-3-2）-③） 3）化学的清掃法説明する。（B-3-2）-③） 4）歯口清掃状況診査結果に対応したプラークコントロールの方法を選択する。（B-3-2）-③）
11月27日	加賀美毅樹	ユニット10：フッ化物応用	1）フッ化物による齲蝕予防効果を説明する。（B-3-2）-②） 2）フッ化物歯面塗布を実施する。（B-3-2）-②） 3）フッ化物洗口法を実施する。（B-3-2）-②） 4）各種齲蝕予防法におけるフッ化物の使用量を調べる。（B-3-2）-②）
12月4日	田中とも子	ユニット11：個人口腔保健管理	1）歯科保健データの分析を実施する。（B-3-2）-⑦） 2）口腔保健指導案を具体的に述べる。（B-3-2）-⑧）
12月11日	田中とも子	ユニット12：実習総合試験	1）実習で理解した内容を記述する。
12月18日	合地 俊治	ユニット13：歯科保健計画	1）我が国の公衆保健活動の法的根拠を説明する。（B-3-2）-⑥） 2）PDCAサイクルを説明する。（B-3-2）-⑧） 3）歯科保健計画の立案法を述べる。（B-3-2）-⑧） 4）実際の歯科保健活動を説明する。（B-3-2）-⑥）

本学期的学習目標 (GIO)

歯科学を修めるにあたり、内科学の基礎知識と内科学疾患の留意すべき点を理解する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

西田次郎・小島孝雄 編

歯科のための内科学

第4版

南江堂

担当者一覧

谷 樹昌, 渡辺尚彦, 古畑 升, 権 寧博

学習方略

- ☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- ☒ 客観試験 [70%]
 ☒ 論述試験 [30%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☐ レポート [--%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
 ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 授業終了後 (10:30~10:40)

場所: 151講堂

授業日	担当者	ユニット番号: 名	行動目標 (SB0s)
9月26日	谷 樹昌	ユニット1: 内分泌疾患	1) 内分泌疾患の特徴を述べる。(E-6-8)
10月3日	谷 樹昌	ユニット2: アレルギー疾患 自己免疫疾患	1) アレルギーのcoombs分類を述べる。(E-6-9) 2) 主な自己免疫疾患について述べる。(E-6-9)
10月10日	谷 樹昌	ユニット3: 血液疾患 (1)	1) 貧血の概略を述べる。(E-6-7) 2) 鉄欠乏性貧血について述べる。(E-6-7) 3) ビタミンB12 欠乏による貧血について述べる。(E-6-7)
10月17日	谷 樹昌	ユニット4: 血液疾患 (2)	1) 白血球疾患の概略を述べる。(E-6-7) 2) 止血機序について述べる。(E-6-7)
10月24日	谷 樹昌	ユニット5: 神経・筋肉疾患	1) 神経, 筋肉疾患について述べる。(E-6-10)

授業日	担当者	ユニット番号：名	行動目標（SB0s）
10月31日	権 寧博	ユニット6：呼吸器疾患の総論，呼吸器感染症（1）	1）肺を中心に呼吸器の構造と機能の概略を述べる。（E-6-4） 2）呼吸器の病態生理を列記する。（E-6-4） 3）主なる呼吸器感染症を列記する。（E-6-4） 4）肺結核症の概要を述べる。（E-6-4）
11月7日	谷 樹昌	ユニット7：代謝疾患	1）インスリンの生理作用を説明する。（E-6-8） 2）糖尿病の分類と診断基準を述べる。（E-6-8） 3）糖尿病の治療を説明する。（E-6-8） 4）糖尿病の急性および慢性合併症を説明する。（E-6-8） 5）糖尿病における喫煙の有害性を説明する。（E-6-8） 6）血中脂質の存在様式を説明する。（E-6-8） 7）脂質異常症を分類する。（E-6-8） 8）脂質異常症の治療を説明する。（E-6-8）
11月14日	谷 樹昌	ユニット8：腎疾患	1）腎臓の構造と機能について説明する。（E-6-12） 2）代表的疾患（特に慢性腎不全，ネフローゼ症候群，全身性疾患による腎障害）について説明する。（E-6-12） 3）腎疾患における喫煙の有害性を説明する。（E-6-12）
11月21日	谷 樹昌	ユニット9：循環器疾患1（1）	1）心臓及び血管系の構造と機能を説明する。（E-6-5） 2）循環器疾患における喫煙の有害性を説明する。（E-6-5）
11月28日	谷 樹昌	ユニット10：循環器疾患1（2）	1）心臓および血管系の構造と機能を説明する。（E-6-5） 2）高血圧症，低血圧症について説明する。（E-6-5） 3）不整脈について説明する。（E-6-5）
12月5日	谷 樹昌	ユニット11：循環器疾患1（3）	1）心臓及び血管系の構造と機能を説明する。（E-6-5） 2）血圧異常について説明する。（E-6-5） 3）循環器疾患における喫煙の有害性を説明する。（E-6-5）
12月12日	渡辺 尚彦	ユニット12：循環器疾患1（4）	1）心臓及び血管系の構造と機能を説明する。（E-6-5） 2）狭心症について説明する。（E-6-5） 3）心筋梗塞について説明する。（E-6-5）
12月19日	古畑 升	ユニット13：循環器疾患2（1）	1）睡眠時無呼吸症候群の主要症状と病態生理を述べる。（E-2-4）-11）⑥ 2）睡眠時無呼吸症候群と循環器疾患の関連を述べる。（E-2-4）-11）⑥ 3）睡眠時無呼吸症候群の治療について説明する。（E-2-4）-11）⑥

病理学

金曜日 10:40~12:10

本学期的学習目標 (GIO)

これまでの座学で得た知識を整理し、併行する病理学実習で実際の組織所見を判定（バーチャルスライド観察）しながら、病変の組織構造や病態の理解に必要な思考過程を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
下野正基, 高田 隆 編	新口腔病理学	改訂第3版	医歯薬出版
槻木恵一, 岡田康男 編	新スタンダード口腔病理学	第1版	学建書院
井上 孝, 岡田康男, 長谷川博雅, 前田初彦 編	病理学総論にもとづく口腔病理学	第3版	永末書店
日本歯科大学病理学講座 編 (青葉孝昭監修)	歯学生のための最新・病態病理学入門 (冊子版)	第1版	キタ・メディア出版
日本歯科大学病理学講座 編 (青葉孝昭監修)	歯学生のための最新・病態病理学入門 (epub版)	第1版	杏林舎
日本歯科大学病理学講座 編 (青葉孝昭監修)	講義ノート 歯と歯周組織の病理学 (epub版)	第1版	杏林舎
Webサイト http://www.ndu.ac.jp/~pathhome/patho06.html			

担当者一覧

添野雄一, 工藤朝雄

学習方略

☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [50%]
 ☒ 論述試験 [30%]
 ☐ 口頭試験
 ☐ レポート
 ☐ ポートフォリオ
 ☐ シミュレーションテスト
 ☐ 実地試験
 ☐ 観察記録
 ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☒ その他 (小テスト [20%])

オフィスアワー

日時: 毎週金曜日 16:30~20:30
 場所: 本館6階 病理学講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月26日	添野 雄一	ユニット1: 病理組織診断の基礎	1) 病理組織診断の進め方を理解する。(E-1-1)-① 2) 変性・萎縮・壊死・細胞死を説明する。(C-5-2)-①, ②, ③, ④ 3) 病理診断に用いる染色法を列記する。(E-1-1)-①
10月3日	添野 雄一	ユニット2: 口腔の炎症性病変	1) 炎症性細胞を列挙する。(C-5-5)-② 2) 炎症の種類とその特徴を説明する。(C-5-5)-③, ④, E-2-4-(3)-⑦, E-3-2)-② 3) 急性炎症と慢性炎症を対比する。(E-2-4)-(3)-②
10月10日	添野 雄一	ユニット3: 組織損傷と修復	1) 組織の修復・再生を説明する。(C-5-3)-① 2) 異物処理と創傷治癒を説明する。(C-5-3)-④ 3) 肉芽組織の特徴を説明する。(C-5-3)-⑤
10月17日	工藤 朝雄	ユニット4: 口腔粘膜の病変	1) 粘膜病変の鑑別診断根拠を列記する。(E-2-4)-(4)-① 2) 粘膜での水疱, 紅斑, 白斑, 潰瘍, 色素沈着の成立機序を説明する。(E-2-4)-(4)-② 3) エプーリスの組織成分を識別する。(E-2-4)-(6)-④

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月24日	工藤 朝雄	ユニット5：上皮性腫瘍・非上皮性腫瘍	1) 上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍の特徴を説明する。 (E-2-4)-(6)-①, ⑤, ⑥) 2) 細胞異型と構造異型を説明する。(C-5-6)-④) 3) 腫瘍実質と間質を識別する。(C-5-6)-①)
10月31日	工藤 朝雄	ユニット6：口腔腫瘍の鑑別 (1)	1) 口腔上皮性異形成と口腔癌の違いを識別する。 (E-2-4)-(6)-④, ⑥) 2) 口腔内腫瘍と非腫瘍性病変の特徴を対比する。 (E-2-4)-(6)-①, ⑤, ⑥)
11月7日	工藤 朝雄	ユニット7：歯源性腫瘍	1) 歯の形成過程における上皮-間葉間相互作用を説明する。(E-3-1)-①) 2) 歯源性腫瘍の特徴を説明する。(E-2-4)-(6)-①)
11月14日	工藤 朝雄	ユニット8：唾液腺腫瘍	1) 腺組織由来の多様な病態を対比する。 (E-2-4)-(8)-②, ③) 2) 唾液腺腫瘍を分類する。(E-2-4)-(8)-④) 3) 腫瘍と非腫瘍性病変を識別する。(E-2-4)-(6)-⑤)
11月21日	工藤 朝雄	ユニット9：口腔腫瘍の鑑別 (2)	1) 由来組織に類似した腫瘍の特徴を列挙する。 (E-2-4)-(6)-①, ⑤, ⑥) 2) 腫瘍の進展機序を識別する。(C-5-6)-①) 3) 歯源性腫瘍と唾液腺腫瘍を鑑別する。 (E-2-4)-(6)-①), (E-2-4)-(8)-④)
11月28日	工藤 朝雄	ユニット10：口腔領域の嚢胞	1) 嚢胞壁の構造を説明する。(E-2-4)-(5)-①) 2) 発育性嚢胞と炎症性嚢胞の特徴を対比する。 (E-2-4)-(5)-①) 3) 顎顔面の組織発生と関連した嚢胞の好発部位を整理する。(E-2-4)-(5)-①)
12月5日	工藤 朝雄	ユニット11：病態の総合的な理解	1) 初見症例を診断する。(A-2-1)-①) 2) 病変全体の特徴を列挙する。(C-5-3)-②, ③)
12月12日	添野 雄一	ユニット12：診断発表会	1) 病変の特徴を列挙する。(C-5-3)-②, ③) 2) 初見症例の特徴を抽出する。(A-2-1)-①) 3) 診断結果を発表する。(A-2-2)-③) 4) 討議に参加する。(A-2-1)-④)
12月19日	添野 雄一	ユニット13：診断発表会・解説	1) 診断内容を見直す。(A-2-1)-②) 2) 病変の特徴・鑑別点を整理する。(A-2-1)-③)

病理学実習

金曜日 13:10～16:20

本学期的学習目標 (GIO)

病態を正確に理解するために、病変の組織染色画像（バーチャルスライド）に埋め込まれている情報を抽出し、関連する知識を集約して最終診断に至る思考過程を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
下野正基, 高田 隆 編	新口腔病理学	改訂第3版	医歯薬出版
槻木恵一, 岡田康男 編	新スタンダード口腔病理学	第1版	学建書院
井上 孝, 岡田康男, 長谷川博雅, 前田初彦 編	病理学総論にもとづく口腔病理学	第3版	永末書店
日本歯科大学病理学講座 編 (青葉孝昭監修)	歯学生のための最新・病態病理学入門 (冊子版)	第1版	キタ・メディア出版
日本歯科大学病理学講座 編 (青葉孝昭監修)	歯学生のための最新・病態病理学入門 (epub版)	第1版	杏林舎
日本歯科大学病理学講座 編 (青葉孝昭監修)	講義ノート 歯と歯周組織の病理学 (epub版)	第1版	杏林舎
	Webサイト http://www.ndu.ac.jp/~pathhome/patho06.html		

担当者一覧

添野雄一, 田谷雄二, 佐藤かおり, 工藤朝雄, 埴 太宥, 飯高輝久, 大久保 悟, 須藤豊哉, 田中克法, 西村一郎, 三枝奈津季

学習方略

☐ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☒ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☐ 客観試験
 ☐ 論述試験
 ☐ 口頭試験
 ☒ レポート [30%]
☒ ポートフォリオ [30%]
 ☐ シミュレーションテスト
 ☐ 実地試験
 ☒ 観察記録 [30%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☒ その他 (小テスト [10%])

オフィスアワー

日時: 毎週金曜日 16:30～20:30
 場所: 本館6階 病理学講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月26日	添野 雄一	ユニット1: 病理標本観察の基礎	1) 病理組織診断の進め方を整理する。 2) 組織画像の所見を記述する。 3) 細胞・組織の病的変化を説明する。 (C-5-2)-①, ②, ③, ④
10月3日	添野 雄一	ユニット2: 炎症・組織損傷と修復 (1)	1) 炎症性細胞を識別する。(C-5-5)-②) 2) 滲出性炎を図示する。 (C-5-5)-③, E-3-2)-②) 3) 急性炎症と慢性炎症を識別する。 (E-2-4)-(3)-②)
10月10日	添野 雄一	ユニット3: 炎症・組織損傷と修復 (2)	1) 肉芽腫性炎を図示する。 (C-5-5)-④, E-2-4)-(3)-⑦) 2) 異物処理と創傷治癒を図示する。(C-5-3)-④) 3) 肉芽組織を図示する。(C-5-3)-⑤)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月17日	添野 雄一	ユニット4：口腔粘膜病変	1) 粘膜病変の鑑別診断根拠を列記する。 (E-2-4)-(4)-①) 2) エプーリスの構成を識別する。(E-2-4)-(6)-④) 3) 粘膜上皮の異型を識別する。(C-5-6)-③, ④)
10月24日	添野 雄一	ユニット5：上皮性腫瘍・非上皮性腫瘍	1) 上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍を列記する。 (E-2-4)-(6)-①) 2) 細胞・組織構造の異型性を判定する。(C-5-6)-④) 3) 良性と悪性の所見を鑑別する。(C-5-6)-⑤, ⑥) 4) 腫瘍実質と間質を図示する。(C-5-6)-①)
10月31日	添野 雄一	ユニット6：口腔腫瘍の鑑別 (1)	1) 口腔上皮性異形成と口腔癌の違いを識別する。 (E-2-4)-(6)-④, ⑥) 2) 口腔内腫瘍と非腫瘍性病変の特徴を対比する。 (E-2-4)-(6)-①, ⑤, ⑥)
11月7日	添野 雄一	ユニット7：歯源性腫瘍	1) 歯源性腫瘍を分類する。(E-2-4)-(6)-①) 2) 歯源性組織由来の腫瘍要素を識別する。 (E-2-4)-(6)-①) 3) 腫瘍と非腫瘍性病変の特徴を対比する。 (E-2-4)-(6)-④)
11月14日	添野 雄一	ユニット8：唾液腺腫瘍	1) 腺組織由来の多様な病態を識別する。 (E-2-4)-(8)-①, ②) 2) 唾液腺腫瘍を分類する。(E-2-4)-(8)-④) 3) 腫瘍類似病変を説明する。(E-2-4)-(8)-③, ⑤)
11月21日	添野 雄一	ユニット9：口腔腫瘍の鑑別 (2)	1) 由来組織に類似した腫瘍の特徴を列挙する。 (E-2-4)-(6)-①, ⑤, ⑥) 2) 腫瘍の進展機序を識別する。(C-5-6)-①) 3) 歯源性腫瘍と唾液腺腫瘍を鑑別する。 (E-2-4)-(6)-①), (E-2-4)-(8)-④)
11月28日	添野 雄一	ユニット10：口腔領域の嚢胞	1) 嚢胞壁の構造を説明する。(E-2-4)-(5)-①) 2) 発育性嚢胞と炎症性嚢胞の特徴を対比する。 (E-2-4)-(5)-①) 3) 歯源性嚢胞と非歯源性嚢胞を鑑別する。 (E-2-4)-(5)-①)
12月5日	添野 雄一	ユニット11：口腔病変の鑑別・診断	1) 病変の特徴を列挙する。(C-5-3)-②, ③) 2) 病変全体の特徴を総合して病態を説明する。 (A-2-1)-③) 3) 初見症例の特徴を抽出する。(A-2-1)-①)
12月12日	添野 雄一	ユニット12：診断発表会	1) 病変の特徴を列挙する。(C-5-3)-②, ③) 2) 診断結果を発表する。(A-2-2)-③) 3) 討議に参加する。(A-2-1)-④) 4) 診断内容を見直す。(A-2-1)-②) 5) 病変の特徴・鑑別点を整理する。(A-2-1)-③)
12月19日	添野 雄一	ユニット13：病理診断のまとめ	1) 病理組織所見を図示する。 2) 特徴となる病変を的確な用語で説明する。 3) 講義・実習内容を整理・再確認する。

